

ANABUKI COLLEGE

▶ 専門的な知識やスキルを学ぶことができる環境が整っています

専門学校生は忙しいという話を耳にすることがありますが、即戦力を身につけるための授業を限られた期間に行っているため、実際は、中学・高等学校までの生活スタイルとさほど変わりません。自分の裁量で講義を選べる大学と比べ多忙な一面もありますが、将来の目標をはっきりとしている人にとっては、最も効率的に知識やスキルを学ぶことができる環境です。

クラス担任制



クラス担任が授業でわからないことや、悩みの解決方法と一緒に考え、学生1人ひとりの夢の実現をサポートします。

シラバス・コマシラバス



学習効果の向上を目的として、各科目は学習目的に沿うよう、シラバス（授業計画）化し、公表しています。

遠隔授業システム



双方向遠隔授業の教育環境を整えており、学生は各分野ごとに統一化された最良の教育を受けられます。

▶ 保護者のみなさまと連携を取りながらサポートを行います

穴吹カレッジでは、学校・家庭・地域における環境との相互作用の中で学び、生活する学習者であり生活者である学生を、保護者のみなさまとの共通認識の上で連携をとり、お子さまを共に育てるパートナーとして多方面からサポートしたいと考えています。

保護者説明会



穴吹カレッジ各校において、教育の取り組みや学生生活、就職実績・サポートに関して、在校生の保護者を対象に説明会を行っています。

穴吹学園保護者会



学生諸活動への積極支援や保護者相互の活発な交流を図ることで、学生生活をさらに有意義で充実したものにしていくことを目的として設立されています。

三者懇談



主に就職活動を控えた学生とその保護者、担任の教員と面談を行っています。学習・就職についての相談を行い、お子さまのよりよい将来を考えていきます。

学校法人 穴吹学園
anabuki 穴吹カレッジグループ 高松
〒760-0020 香川県高松市錦町1-3-5

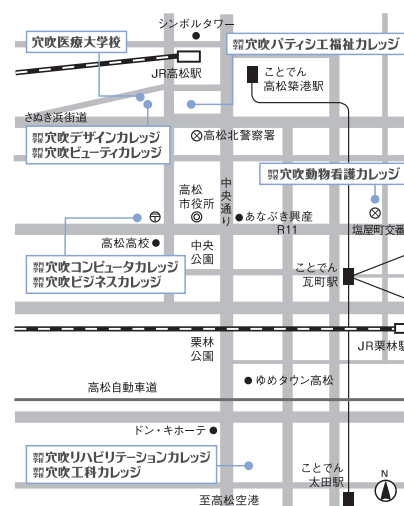
しんろ さがしはGO!
☎ 0120-46-3485
[E-mail] happy@anabuki.ac.jp

SNS

f anabuki.college
@ ID:@ana_tora
@ ID:anabukicollege
AnabukiCollege
ID:@anatora
ID:@anabuki9



穴吹カレッジ
公式YouTube
チャンネル



2022年3月発行

ANABUKI COLLEGE 2023

カリキュラムブック



好きを極めて、プロになる。

LOVE+



web.anabuki-college.net

学校法人 穴吹学園
anabuki 穴吹カレッジグループ 高松

穴吹カレッジの**改革**が始まります。

時代を捉えたスペシャリストを育むための進化したカリキュラム

穴吹カレッジが目指す就職は、

内定＝ゴールではなく、就職先で活躍し続けることです。

長年の専門教育の実績とノウハウを積み上げてきた穴吹カレッジの教育を明確にし、

「社会で生き抜く力」を育成するため、就職先・業界の声を取り入れ、

全学科の目指す人材像、カリキュラムを見直しました。

教育理念

職業教育を通して
地域社会に貢献する
人材を育成する

建学の精神

地域の学生を地域で育て
高い専門性と豊かな人間性を育み
地域社会から信頼され
貢献できる人材を育成する

就職後も

活躍し続ける
人材に！

入学前から卒業・就職まで一貫した教育体制の構築

学科の人材像の見直しと、AP・CP・DPといった3Pの策定を行い、明確にすることで教育の一貫さらに入学前から就職までのサポート体制によって、社会で活躍できる人材を育成する仕組みが、

性を向上しました。
より徹底されています。

入学前

卒業

AP

アドミッションポリシー
「入学者の受け入れ方針」

CP

カリキュラムポリシー
「教育課程編成・実施の方針」

DP

ディプロマポリシー
「目指す人材像」

全学科で入学前教育を実施

専門教育へスムーズに移行し、
学びに対するモチベーションも向上。

- 1** 入学予定者と在校生、
教員による三者入学前相談会



穴吹コンピュータカレッジ、穴吹ビジネスカレッジでは、入学予定者と在校生、教員の三者を交えて相談会を行っています。入学前から学校で学ぶ内容・目的を理解することで、学習内容に沿った知識を自ら学ぼうとする意識が身につきます。

- 2** 学問系統別教材
入学前教育プログラム導入



穴吹医療大学校では、「総合テキスト」と「提出課題」で継続的に学ぶことにより、入学後の「学び」をより確かなものにしていきます。

- 3** 入学前職業探求プログラム
骨のスケッチ



穴吹リハビリテーションカレッジでは、入学直後から学ぶ「骨の名前」をスケッチしながら覚えていく「先取り授業」を行います。探求プログラムを通して、不安解消の鍵となる「医療系での勉強の仕方」を学んでいきます。

広報・キャリアセンターによるサポート

入学相談から就職フォローまで一人ひとりをサポートし、就職先の声を学生サポートや教育にフィードバックします。

教育の質の向上のため、
穴吹総合教育研究所は

・指導力向上のための
教員研修・面談の実施

・学生全員による授業評価
アンケートの実施

・企業意見を反映した
カリキュラムの構築

につとめています

穴吹コンピュータカレッジ

情報システム学科/3年制/男女……………P03
AIテクノロジー学科/3年制/男女……………P05
ネットワークセキュリティ学科/2年制/男女……………P07
情報ビジネス学科/2年制/男女……………P09

穴吹ビジネスカレッジ

外語ビジネス学科/2年制/男女……………P11
企業ビジネス学科
企業ビジネス専攻/2年制/男女……………P13
不動産ビジネス専攻/2年制/男女……………P15
ビジネス速修学科/1年制/男女……………P17
公務員ビジネス学科/2年制/男女……………P19
公務員学科 / 1年制/男女……………P19

穴吹デザインカレッジ

グラフィックデザイン学科
グラフィックデザイン専攻/2年制/男女……………P21
Webデザイン専攻/2年制/男女……………P23
マンガ・コミックイラスト学科
マンガ専攻/2年制/男女……………P25
コミックイラスト専攻/2年制/男女……………P27
トータルインテリア学科
住宅・ショップデザイン専攻/2年制/男女……………P29
家具・ディスプレイ専攻/2年制/男女……………P31
建築設計専攻/2年制/男女……………P33
ネット動画クリエイター学科/2年制/男女……………P35
ゲームクリエイター学科
ゲーム専攻/3年制/男女……………P37
XR専攻/3年制/男女……………P37

穴吹ビューティカレッジ

美容学科
ヘアー・メイク専攻/2年制/男女……………P39
ブライダル専攻/2年制/女子……………P39
ビューティコーディネーター学科/2年制/女子……………P41
トータルエステティック学科/2年制/女子……………P43
ブライダル学科/2年制/男女……………P45

穴吹工科カレッジ

自動車整備学科(2年制)・(3年制)/2・3年制/男女……………P47

穴吹リハビリテーションカレッジ

理学療法学科/3年制/男女……………P49
作業療法学科/3年制/男女……………P51

穴吹パティシエ福祉カレッジ

こども保育学科/2年制/男女……………P53
介護福祉学科/2年制/男女……………P55
パティシエ・ベーカリー学科/2年制/男女……………P57

穴吹動物看護カレッジ

動物看護総合学科/3年制/男女……………P59
動物健康管理学科
ペット美容・グルーマー専攻/2年制/男女……………P61
しつけインストラクター専攻/2年制/男女……………P63

穴吹医療大学校

看護学科/4年制/男女……………P65
歯科衛生学科/3年制/女子……………P67
医療事務・ドクター秘書学科/2年制/男女……………P69

就職サポート……………P71
就職先一覧……………P72～

※記載のカリキュラム・スケジュールは変更になる場合があります。

情報システム学科 [3年制／男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

情報システム学科では、卒業認定・専門士授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1

穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人

2

地元香川県を中心に、目指すIT業界の専門職業人として、発展に貢献する意欲の高い人

3

モノづくりに興味があり、世の中の暮らしをIT技術を活用してさらに便利にしたい人

4

業界で評価されるIT技術や高資格、高検定を取得し、即戦力として活躍したい人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

情報システム学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1

IT業界で必要な知識・技術を体系的に学び、国家資格が取得できる授業構成とする

2

他者理解・コミュニケーション能力を習得するため、アクティブラーニング形態の授業を実施する

3

ITに関する最新の知識・技術を実感できる、業界で活躍中のプロ講師による授業を実施する

4

チーム内での役割や他人との関わり方を学ぶため、グループワークや外部企業へのインターンシップの機会を設定する

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

情報システム学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

1

地域社会・国際社会に貢献できるコンピュータ全般の知識を有し、システム開発技術を身につけている

2

システム設計・プログラミング・サーバー構築に関わる専門知識・技能を習得し、なおかつそれを社会で発揮できる力を身につけている

3

常に新しいことに挑戦することで、課題解決に必要な柔軟な発想力を有し、様々なニーズに応える企画提案力を身につけている

4

多様性を理解し、自ら積極的に信頼関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている

1 年 次		2 年 次		3 年 次		
<前期>		<前期>		<前期>		
<後期>		<後期>		<後期>		
到達目標	国家試験である基本情報技術者試験の午前免除試験の合格を目標に、IT（情報技術）に関する基礎的な知識（コンピュータ概論、ネットワーク概論、システム開発概論）を学ぶ。またプログラミングに必要なアルゴリズムの基礎を理解し、Java言語で実装し理解を深める。	国家試験である基本情報技術者試験の午後試験の合格を目標に、前期に学んだIT（情報技術）の基礎から一歩進んだ知識（SQL演習、ネットワーク演習、表計算）を学ぶ。また前期より継続して学んでいるJava言語を用いてテーマに基づくプログラムを実装することができる。	システム開発でよく利用されているツール（サーバー、データベース）を使ってアプリケーション開発の演習を行い基本的な実装力をつけ、個人レベルで課題制作を行う。また引き続き国家試験の合格を目指す。	前期に引き続きシステム開発でよく利用されているツール（AWSクラウド環境、サーバー、データベース）を使ってアプリケーション開発の演習を行い実装力を高め、チームでの課題制作を行う。また引き続き国家試験の合格を目指す。	卒業年次としてこれまで学んだことをベースにチームで卒業制作に取り組む。前期はそのスタートとしてチーム制作手法を詳しく学ぶ（アジャイル開発演習）。また新しい技術（AI、AWSクラウド環境）を学び、実装の幅を広げる。	卒業制作のチームでの制作を通じてシステムの実装力を高めるとともに、チーム内でのコミュニケーションを通じて社会性を高める。また新しい技術（ビッグデータ活用演習）を学び、実装の幅を広げる。
カリキュラム	専門分野	データベース設計演習 情報処理講座Ⅰ ネットワーク演習 JavaⅡ インターネット実習基礎	データベース開発演習 サーバー構築演習Ⅰ 情報処理講座Ⅱ UML Webアプリケーション JavaScript&AjaxⅠ	サーバー構築演習Ⅱ 情報処理講座Ⅲ IoT演習 モバイルアプリケーション JavaScript&AjaxⅡ	AIプログラミング言語 RPA演習 アジャイル開発演習 卒業研究（企画・設計） AWSクラウド演習	ビッグデータ活用演習 AIプログラミング演習 卒業研究
	教養分野			社会人基礎講座Ⅰ	ビジネス文書 ビジネスプレゼン演習 社会人基礎講座Ⅱ	社会人基礎講座Ⅲ
スケジュール	入学前学習 入学式 穴吹祭 新入生オリエンテーション 夏休み スポーツ大会 冬休み 春休み		入学前学習 入学式 穴吹祭 新入生オリエンテーション 夏休み スポーツ大会 冬休み 春休み		入学前学習 入学式 穴吹祭 新入生オリエンテーション 夏休み スポーツ大会 冬休み 春休み	

目指す資格	
● 基本情報技術者試験 [国家資格] ● 応用情報技術者試験 [国家資格] ● Oracle認定 ORACLE MASTER ● Linux技術者認定試験 (LPIC) ● サーティファイ主催 Javaプログラミング能力認定試験	
主な科目内容	
コンピュータ概論	基本情報技術者試験合格に必要な、情報技術の基本的な知識を習得する。
ネットワーク概論	基本情報技術者試験合格に必要な情報技術、特にネットワーク分野の基本的な知識を習得する。
システム開発概論	基本情報技術者試験合格に必要な、コンピュータシステムの開発技術やマネジメント知識を習得する。
アルゴリズム	プログラミングに必要な手順や計算法であるアルゴリズムについて学習し、基本情報技術者試験の科目（フローチャート・擬似言語）の理解度を高める。
Java I・II	現在広く利用されているJava言語を習得する。アルゴリズムの基本（順次、分岐、繰り返し）を踏まえたプログラミングを習得する。本格的なプログラミングに必須となるオブジェクト指向を理解し、例外処理等も考慮した開発技術まで習得する。
表計算	基本情報技術者試験の表計算分野を理解する。特に重要なマクロ（擬似言語）を中心に学ぶ。
インターネット実習基礎	Webサイトを構築するために必須となる言語を学び、静的なWebサイトの構築技術を習得する。
データベース設計開発演習	システムの構築・開発に必ずと言っていいほど必要となるデータベースの設計の考えを基本から学ぶ。また実際に構築し運用技術を学ぶ。
ネットワーク演習	システムエンジニアとして必要なネットワーク技術の基本を習得する。
情報処理講座 I・II・III	基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策を行う。
サーバー構築演習 I・II	LinuxOSのインストールと各種サーバーの構築手法を学ぶ。
UML	オブジェクト指向の基本概念を理解する。UMLダイアグラムを理解する。プログラムを設計するための指標とする。
JavaScript&Ajax I・II	Webアプリケーションを作成するために利用されているJavaScript言語を学習する。特にWebブラウザとWebサーバ間のデータ連携によく利用されているAjax通信技術を中心に学ぶ。また、各種フレームワークを利用した効率の良い制作技術も習得する。
アプリケーション演習	PHPを使ったWebアプリケーションを作成するスキルを養う。MySQLを使ってSQLを学習する。HTTPの基本的な仕組みについて理解する。
IoT演習	Arduinoを用いて電気回路の基礎を学習する。ESP32を使用し、発展した電子回路を組み立てインターネットへの情報発信を学習する。
モバイルアプリケーション	ハイブリッドアプリ開発環境であるMonacaを利用し、スマートフォンが持つカメラ、GPS API、各種センサーを利用したアプリケーションの作成技術を学習する。
アジャイル開発演習	スパイラルモデル、アジャイル、スクラムでの開発手法に基づいたシステム開発を行う。開発手法を通じて、開発チームで必須のコミュニケーション能力を養う。
AIプログラミング言語	Python言語を学ぶ。他言語との違いや得意分野を学ぶ。
AIプログラミング演習	IBM WATSONをはじめとするクラウドを利用したAIプログラミングを学習する。
ビッグデータ活用演習	マーケティングの基本、データ分析・整理手法の基礎を学習し、グループごとにオープンデータを収集、分析する。分析後、得た問題点や改善点を発表する。
卒業研究	前期に企画した内容を元に製品を完成する。プロジェクトチームの一員として、協調してより良いシステム開発を目指す。
社会人基礎講座 I・II・III	就職活動に臨むにあたり必要な常識、マナー、ルールを理解する。自己分析を行うとともに、自分の考えを他人に理解してもらうために必要な表現力を高める。

AIテクノロジー学科 [3年制／男女]

AP

入学者の受け入れ方針
アドミッションポリシー

AIテクノロジー学科では、卒業認定・専門士授与の方針（DP）および教育課程編成・実施の方針（CP）に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1

穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人

2

地元香川県を中心に、目指すIT業界の専門職業人として、発展に貢献する意欲の高い人

3

モノづくりに興味があり、世の中の暮らしをIT技術を活用してさらに便利にしたい人

4

業界で評価されるIT技術や高資格、高検定を取得し、即戦力として活躍したい人

CP

教育課程編成・実施の方針
カリキュラムポリシー

AIテクノロジー学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1

IT業界で必要な知識・技術を体系的に学び、国家資格が取得できる授業構成とする

2

他者理解・コミュニケーション能力を習得するため、アクティブラーニング形態の授業を実施する

3

ITに関する最新の知識・技術を実感できる、業界で活躍中のプロ講師による授業を実施する

4

チーム内での役割や他人との関わり方を学ぶため、グループワークや外部企業へのインターンシップの機会を設定する

DP

目指す人材像
ディプロマポリシー

AIテクノロジー学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

1

地域社会・国際社会に貢献できるコンピュータ全般の知識を有し、システム開発技術を身につけている

2

システム設計・プログラミング・AIに関わる専門知識・技能を習得し、なおかつそれを社会で発揮できる力を身につけている

3

常に新しいことに挑戦することで、課題解決に必要な柔軟な発想力を有し、様々なニーズに応える企画提案力を身につけている

4

多様性を理解し、自ら積極的に信頼関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている

目指す資格

- 基本情報技術者試験 [国家資格]
- 応用情報技術者試験 [国家資格]
- Javaプログラミング能力認定試験
- Pythonエンジニア認定基礎試験
- Pythonエンジニア認定データ分析試験
- G（ジェネラリスト）検定
- AWS認定クラウドプラクティショナー
- AWS認定ソリューションアーキテクト-アソシエイト

1 年 次		2 年 次		3 年 次	
< 前期 >		< 前期 >		< 前期 >	
< 後期 >		< 後期 >		< 後期 >	
到達目標	基本情報技術者試験（国家試験）の午前免除試験の合格を目標に、ITに関する基礎的な知識（コンピュータ概論、ネットワーク概論、システム開発概論）を学ぶ。またプログラミングに必要なアルゴリズムの知識を理解し、Java言語で実装し理解を深める。	基本情報技術者試験（国家試験）の午後試験の合格を目標に、前期に学んだITの基礎から一歩進んだ知識（ネットワーク演習、データベース設計演習）を学ぶ。また前期より継続して学んでいるJava言語を用いてテーマに基づくプログラムを実装することができる。	AIを学ぶ上で必要となる基礎理論を学習する。システム開発でよく利用されているツール（サーバー、データベース）を使ってWebアプリケーション開発の演習を行い基本的な実装力を身につける。	前期に引き続きAIの基礎理論、機械学習の基礎を学ぶ。また、IoT技術を学び機器から得られたデータを用いて機械学習の実践を行いAIの理解を深めていく。	2年次から引き続き、IoT技術と機械学習について学ぶ。また、システム開発でよく利用されているAWSクラウド環境を使って、アプリケーション開発の演習を行い実装力を高める。
カリキュラム	専門分野	講義 ネットワーク概論	演習 ネットワーク演習	演習 AIと社会	演習 AI概論
		演習 アルゴリズム	演習 インターネット実習基礎	演習 統計学	演習 機械学習Ⅰ
		演習 JavaⅠ	演習 JavaⅡ	演習 Webアプリケーション演習	演習 IoT演習
		演習 表計算	演習 情報処理講座Ⅰ	演習 JavaScript&AjaxⅠ	演習 JavaScript&AjaxⅡ
		演習 システム開発概論	演習 データベース設計演習	演習 AIプログラミング言語	演習 AIプログラミング演習Ⅰ
		講義 コンピュータ概論	演習 データベース開発演習	講義 情報処理講座Ⅱ	講義 情報処理講座Ⅲ
	教養分野			講義 UML	演習 卒業研究（企画・設計）
				講義 社会人基礎講座Ⅰ	講義 社会人基礎講座Ⅱ
					講義 ビジネス文書
					講義 ビジネスプレゼン演習
					講義 社会人基礎講座Ⅲ
スケジュール	サーティファイ情報処理能力認定試験3級 基本情報技術者試験午前免除試験		応用情報技術者試験 基本情報技術者試験		応用情報技術者試験 基本情報技術者試験
	入学前学習 入学式 新入生オリエンテーション		校内プログラミングハッカソン② 穴吹祭		校内プログラミングハッカソン④ 穴吹祭
	穴吹祭 夏休み スポーツ大会		夏休み スポーツ大会		夏休み スポーツ大会
	9月		10月		10月
	10～11月		10～11月		10～11月
	12月		12月		12月
	2月		2月		2月
	3月		3月		3月
	4月		4月		4月
	5月		5月		5月

主な科目内容	
コンピュータ概論	基本情報技術者試験合格に必要な、情報技術の基本的な知識を習得する。
ネットワーク概論	基本情報技術者試験合格に必要な情報技術、特にネットワーク分野の基本的な知識を習得する。
システム開発概論	基本情報技術者試験合格に必要な、コンピュータシステムの開発技術やマネジメント知識を習得する。
表計算	基本情報技術者試験の表計算分野を理解する。特に重要なマクロ(擬似言語)を中心に学ぶ。
アルゴリズム	プログラミングに必要な手順や計算法であるアルゴリズムについて学習し、基本情報技術者試験の科目(フローチャート・擬似言語)の理解度を高める。
情報処理講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	国家試験対策を中心とした対策講座。
JavaⅠ・Ⅱ	世界中の基幹システムで使われているJAVA言語を習得する。基本プログラミングからオブジェクト指向プログラミングを実践しながら学ぶ。
ネットワーク演習	システムエンジニアとして必要なネットワーク技術の基本を習得する。
インターネット実習基礎	Webサイトを構築するための必須となる言語を学び、静的なWebサイトの構築技術を学習する。
データベース設計演習	システムの構築・開発に必ずと言っていいほど必要となるデータベースの設計の考えを基本から学ぶ。
データベース開発演習	MySQLやPostgreなどのデータベースの構築方法を習得する。また、SQL言語のDDLとDMLについてマスターする。
ビッグデータ活用演習	世の中にあるビッグデータやオープンデータ等の解析から活用方法を学ぶ。また、ビッグデータから法則性や相関関係を見つけ、新しい知見を導き出す。
AIと社会	AI概念の理解だけでなく、AIを活用した戦略、AIが社会にどのような変化をもたらすかについて学習する。また、機械学習やディープラーニングの仕組みや、人工知能ビジネスが必ずぶつかる「法律の壁」についても学習する。
AI概論	AIエンジニアに必須となるAIに関する基礎知識を習得する。機械学習、深層学習とは何かを理解する。
AIプログラミング言語・演習Ⅰ・Ⅱ	AI分野で広く利用されているPython言語を習得する。アルゴリズムの基本(順次・分岐、繰り返し)を踏まえたプログラミングを習得する。また、データ分析に利用される標準ライブラリの利用についても学習する。
統計学	IoTやビッグデータをAIを用いて解析した結果データについて、分析する上で必要な統計理論を習得する。
Webアプリケーション演習	Webアプリ開発言語のPHPを基本プログラミングからフレームワークを活用したプログラミング技術を習得する。
JavaScript&AjaxⅠ・Ⅱ	Webアプリケーションを作成するために利用されているJavaScript言語を学習する。特にWebブラウザとWebサーバ間のデータ連携によく利用されているAjax通信技術を中心に学ぶ。また、各種フレームワークを利用した効率の良い制作技術も習得する。
機械学習Ⅰ・Ⅱ	様々なアルゴリズムを用いてデータから反復的に学習させることにより、コンピュータが自律的にデータから洞察を導き出せる方法論を実習を通して学ぶ。
IoT演習	電気回路の基礎を学習する。Arduinoのプログラム基礎を学習する。
UML	オブジェクト指向分析や設計するための記法を学ぶ。
G検定対策	JDLA Deep Learning for GENERAL (G検定) の対策を行う。
RPA演習	コンピュータ上で行われる業務プロセスや作業を人に変わりに自動化する技術を習得する。
深層学習演習	コンピュータが自動的にデータから特徴を抽出してくれるディープニューラルネットワークを用いた機械学習について実習を通して学ぶ。
AWSクラウド演習	AIをはじめ様々なサービスをクラウド上で提供しているAWSを利用したAIサービスの構築技術を習得し、その技術認定資格であるAWSクラウドプラクティショナー、AWSソリューションアーキテクトを取得する。
情報セキュリティ	ITエンジニアとして必須となる情報セキュリティ全般に関わる知識を習得する。
卒業研究	チームでAIを使ったシステムの開発を行う。プロジェクトチームの一員として、協調してより良いシステム開発を目指す。
社会人基礎講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	就職活動に臨むにあたり必要な常識、マナー、ルールを理解する。自己分析を行うとともに、自分の考えを他人に理解してもらうために必要な表現力を高める。
ビジネスプレゼン演習	様々な演習に取り組み、資料の作成や実演を行うことで、プレゼンターとしてのトレーニングをくり返すとともに、聴き手が様々なプレゼンテーションをどのように受け取るかを体感しながら、伝わり、動きがプレゼンテーションを身につける。
ビジネス文書	社内や取引先との間で交わされる報告書、礼状など、様々なビジネスシーンで使われるビジネス文書作成時に必要な知識や技能を養う。

ネットワークセキュリティ学科 [2年制／男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

ネットワークセキュリティ学科では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人

2 情報知識・技術を修得するために、高等学校の教育内容を幅広く学修している人

3 ネットワーク・セキュリティに興味があり、安心安全なネットワーク環境を構築し、さらに便利にしたい人

4 情報インフラとしてのネットワーク・セキュリティ業界の専門職業人として、発展に貢献する意欲のある人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

ネットワークセキュリティ学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1 ネットワーク・セキュリティ業界に必要な知識・技術を体系的に学び、国家資格が取得できる授業構成とする

2 他者理解・コミュニケーション能力を習得するため、アクティブラーニング形態の授業を実施する

3 ネットワーク・セキュリティに関する最新の知識・技術を実感できる、業界で活躍中のプロ講師による授業を実施する

4 チーム内での役割や他人との関わり方を学ぶため、グループワークや外部企業へのインターンシップの機会を設定する

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

ネットワークセキュリティ学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

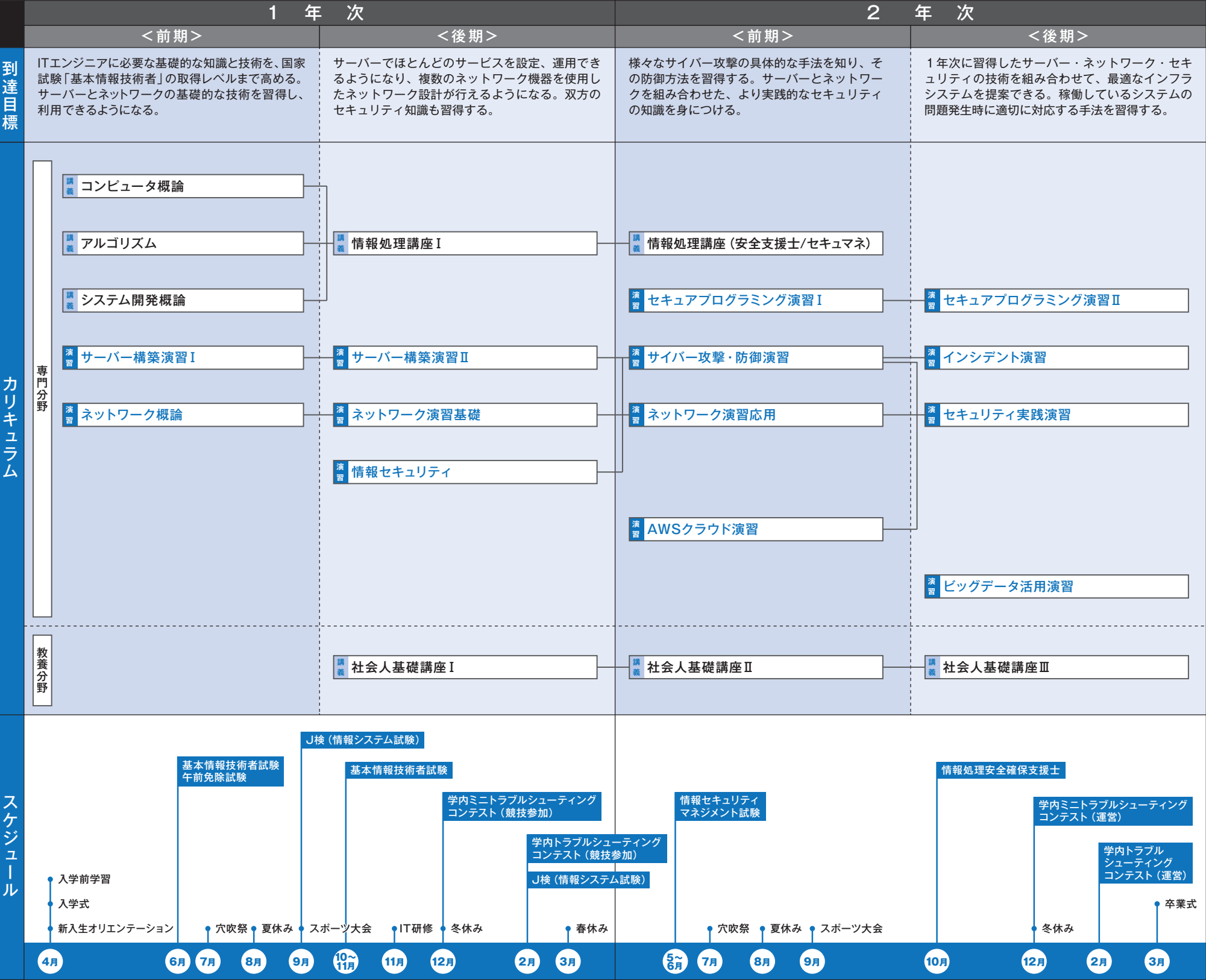
1 地域社会・国際社会に貢献できるコンピュータ全般の知識を有し、ネットワーク・セキュリティ技術を身につけている

2 ネットワーク設計、サーバー構築、情報セキュリティに関わる専門知識・技能を習得し、なおかつそれを社会で発揮できる力を身につけている

3 常に新しいことに挑戦することで、情報インフラを支えるために必要な柔軟な発想力を有し、想定されるあらゆる事態に応える企画提案力を身につけている

4 多様性を理解し、自ら積極的に信頼関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている

目指す資格
● 基本情報技術者試験 [国家資格]
● 情報セキュリティマネジメント試験 [国家資格]
● 情報処理安全確保支援士試験 [国家資格]
● CompTIA Security+
● CCNA
● J検 (情報システム試験)



主な科目内容	
コンピュータ概論	基本情報技術者試験合格に必要な、情報技術の基本的な知識を習得する。
アルゴリズム	プログラミングに必要な手順や計算法であるアルゴリズムについて学習し、基本情報技術者試験の科目 (フローチャート・擬似言語) の理解度を高める。
システム開発概論	基本情報技術者試験合格に必要な、コンピュータシステムの開発技術やマネジメント知識を習得する。
サーバー構築演習Ⅰ・Ⅱ	代表的なサーバーOS [Linux] の操作方法を学び、内部サーバー、外部サーバーそれぞれに適したサービス・セキュリティ対策の構築・設定方法を習得する。
ネットワーク演習基礎・応用	国家試験のネットワーク分野やCCNAの取得を目指すだけでなく、実際にネットワーク機器を用いて高度なネットワーク技術を習得し、設計・トラブルシュートを的確に行う力を身につける。
情報処理講座Ⅰ	国家資格 (基本情報技術者、情報セキュリティマネジメント) の分野別対策を行い、問題解答を通じて、応用力を習得する。
情報処理講座 (安全支援士/セキユマネ)	国家資格 (情報処理安全確保支援士、情報セキュリティマネジメント) の分野別対策を行い、問題解答を通じて、応用力を習得する。
情報セキュリティ	基本的なネットワークやセキュリティに関する知識や技術を学び、国家資格 (基本情報技術者) やCompTIA Security+の取得ができるレベルを目指す。
セキュアプログラミング演習Ⅰ・Ⅱ	PHPを使ったWebアプリケーションの作成手法を学び、様々な既知の脆弱性に対応できるセキュリティの高いプログラミング技術を習得する。
サイバー攻撃・防御演習	仮想環境を使って、安全な環境下でXSSやSQLインジェクションなど、様々な攻撃手法とその防御方法を実践的に習得する。
インシデント演習	ネットワークとサーバーの構築技術を組み合わせ、総合的なシステムを構築し、システム運用時に起こる様々なインシデントを発見し、現象を把握して報告する流れを習得する。
ビッグデータ活用演習	マーケティングの基本、データ分析・整理手法の基礎を学習し、グループごとにオープンデータを収集、分析する。分析後、得た問題点や改善点を発表する。
AWSクラウド演習	AIをはじめ様々なサービスをクラウド上で提供しているAWSを利用したAIサービスの構築技術を習得し、その技術認定資格であるAWSクラウドプラクティショナー、AWSソリューションアーキテクトを取得する。
セキュリティ実践演習	習得したネットワーク・サーバー構築・セキュリティの技術を活かし、様々な問題を設問し、学内トラブルシューティングコンテストの企画・環境構築・準備・開催までを行う。
社会人基礎講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	就職活動に臨むにあたり必要な常識、マナー、ルールを理解する。自己分析を行うとともに、自分の考えを他人に理解してもらうために必要な表現力を高める。

入学者の受け入れ方針

4 各業界の専門職業人として、発展に貢献する意欲のある人

教育課程
編成

4 チーム内での役割や他人との関わり方を学ぶため、グループワークや外部企業へのインターンシップの機会を設定する

目指す
人材像

4 多様性を理解し、積極的に信頼関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている

- MOS Expert
- ITパスポート試験 [国家資格]
- サーティファイ主催 Webクリエイター能力認定試験
- サーティファイ主催 Photoshop®クリエイター能力認定試験
- サーティファイ主催 Illustrator®クリエイター能力認定試験
- ビジネス文書技能検定

主な科目内容	
パソコン演習 (Word・Excel・PowerPoint・Expert)	一般的に最もよく使われるOffice系ソフト(Word、Excel、PowerPoint)の基礎から応用までの機能を学習し、MOS試験の試験対策をする。 基礎のMOS Associateから応用のMOS Expertを目指す。
Webサイト演習Ⅰ・Ⅱ	Webページを制作するための基礎知識(構成、HTML/CSSコーディング、画面デザイン)について学習し、Webクリエイター試験の合格を目指すとともに身につけた知識や技術を活用し、自分以外の人に見せるためのオリジナルWebページを作成する。
PC演習	パソコンの構造やインターネットの仕組み、ソフトウェアのインストールなどを学び、日常生活の中でパソコンを活用するために必要な基礎知識や技術を身につける。 Google Classroomを使用して、必要事項の連絡や情報のやり取りなどをクラウド上で体験しながら現場での活用方法を身につける。
コンピュータリテラシ	職業人となり機器およびシステムの把握や、担当業務の遂行およびシステム化を推進するために必要な基礎知識を学習し、国家試験のITパスポート試験合格を目指す。
メディアデザイン演習	PhotoshopとIllustratorの基本操作を習得し、実務に則した技能を養い、検定取得を目指す。
メディアデザイン実習	丸亀町商店街とのコラボイベントの準備、運営を行い、実務技能を養う。
データ分析活用演習	マーケティングの基本、データ分析・整理手法の基礎を学習し、「地域経済分析システム(RESAS)」を利用して、ビッグデータの活用・分析方法を学ぶ。
コミュニケーション体育Ⅰ・Ⅱ	学科全体での体育授業とし、学生間で担当班をつくり各2コマを分担し運営する。 上年生と下年生がコミュニケーションを図り、目的とした策を盛り込み、事前に企画提案する。
商業簿記	簿記を基礎から学習することにより、計数感覚を身につけ、総務・経理・営業と幅広い分野で活かせる経理実務を学ぶ。日商簿記検定3級レベルの問題をこなすことで、知識を定着させ確実に問題を解く力を身につける。
動画制作演習	動画編集ソフト「PowerDirector」の基本操作を理解し、実務に即した技能を学習するとともに、魅力的なビデオを作るためのアイデア手法を理解する。
Word・Excel活用演習/プレゼンテーション	MOS資格で身につけた操作スキルをさらに活用するために、Word、Excel、PowerPointの演習を通し、実務に直結する効果的なビジネススキルを学習する。
インストラクター演習	コミュニケーション力養成とパソコンスキル定着のため、また、指導実施における計画書作成→リハーサル→指導の流れを実習し、第三者(後輩)に対して操作指導を行う。
Webデザイン演習	CMS(コンテンツ・マネジメント・システム)を利用したWebサイト制作としてWordPressを使い、Webサイトを構築する手法を学習する。
SNSビジネス演習	SNSとは何か、ソーシャルメディアの特徴、注意点、ソーシャルメディア販促が注目される理由を理解し、SNSを活かしたマーケティング知識を学習する。
Webサイト実践演習	パソコン操作技術やコミュニケーション力を活かし、丸亀町商店街協力店舗の要求を聞き出し、WordPressを使った応援Webサイトを構築する。
パソコン教育演習	今まで培ってきたパソコン操作の知識、技術やコミュニケーション力を活かし、地域教育現場(高校)の生徒達や後輩達にパソコン操作の正しい理解を得られるよう指導する。
ビッグデータ	マーケティングの基本、データ分析・整理手法の基礎を学習し、グループごとにオープンデータを収集、分析する。分析後、得た問題点や改善点を発表する。
ビジネス文書	社内や取引先との間で交わされる報告書、礼状など、様々なビジネスシーンで使われるビジネス文書作成時に必要な知識や技能を養う。
インターンシップ	業界における専門知識と様々なセクションでの作業を体験し、仕事の内容を知る。 学内で学んだ知識・行動・倫理(マナー)を会社で体験実習し、仕事の現場を知る。
社会人基礎講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	就職活動に臨むにあたり必要な常識、マナー、ルールを理解する。 自己分析を行うとともに、自分の考えを他人に理解してもらうために必要な表現力を高める。

外語ビジネス学科 [2年制／男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

外語ビジネス学科では、卒業認定・専門士授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)に定める教育を受けるために必要な、各学校各学科で掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1

穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協議し、学び続ける意欲がある人

2

実践的な英語力を身につけ、将来その語学力を生かして活躍したい人

3

自らが希望する言語領域はもちろん、その他の領域に関しても主体的に学ぶ意欲のある人

4

地元の香川県のみならず、日本全体のグローバル化に貢献しようとする人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

外語ビジネス学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、各学科において必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1

ネイティブ教師による指導や海外語学研修を通じて、実践的な語学力の定着を図る

2

「ビジネス知識」や「サービス知識」といったビジネス・スキルが習得できる授業を構成する

3

自分の進むべき進路の決定や実践力を身につけるためのインターンシップを充実させる

4

授業内外での外国人との交流を通し、異文化理解、異文化コミュニケーション能力の向上を図る

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

外語ビジネス学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

1

地域社会・国際社会に貢献できる国際感覚を身につけている

2

グローバル社会での活躍に不可欠な専門的な外国語運用能力(英語系検定取得)を身につけている

3

国際性や異文化理解力を養い、多様な文化背景を持つ人々とともに生きる力を身につけている

4

予測不可能な様々な社会問題の解決に導くことのできるビジネス知識を身につけている

目指す資格

●英語検定準1級

●TOEIC700点

●ビジネス実務マナー検定

●ビジネス文書技能検定

●簿記能力検定3級(全国経理教育協会主催)

●サーティファイ認定(Word・Excel)

●ハングル能力検定試験

●HSK中国語検定

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	日常英会話や接客英会話を学ぶとともに、第二外国語中国語・韓国語の基礎を学習する。また、国際ビジネスで必須のマナーや観光インバウンド業界について学ぶ。	日常・接客英会話、中国語・韓国語の基礎を学習するとともに、プレゼンテーションスキルを養う。また、海外語学研修で、英語力はもちろん、国際感覚を身につける。	ビジネス英会話、中国語・韓国語の応用を学習するとともに、サービス系資格/ビジネス系資格の取得を目指す。	ビジネス英会話、中国語・韓国語の応用を学習するとともに、就職後に必要な知識を学び、職場で即戦力になれる人物を目指す。
カリキュラム	演習 検定対策Ⅰ(英検)	演習 検定対策Ⅰ(英検)	演習 検定対策Ⅱ(TOEIC)	演習 検定対策Ⅱ(TOEIC)
	演習 Listening & SpeakingⅠ	演習 Listening & SpeakingⅠ	演習 Listening & SpeakingⅡ	演習 Listening & SpeakingⅡ
	演習 Around the worldⅠ	演習 Around the worldⅠ	演習 Around the worldⅡ	演習 Around the worldⅡ
	演習 総合英語Ⅰ(接客英会話)	演習 総合英語Ⅰ(接客英会話)	演習 総合英語Ⅱ(ビジネス英会話)	演習 総合英語Ⅱ(ビジネス英会話)
	選択講義 第二外国語Ⅰ・中国語 ・韓国語	選択講義 第二外国語Ⅰ・中国語 ・韓国語	選択講義 第二外国語Ⅱ・中国語 ・韓国語	選択講義 第二外国語Ⅱ・中国語 ・韓国語
	講義 観光インバウンド概論	演習 ビジネス教養Ⅰ	講義 ビジネス教養Ⅱ	講義 サービスマナーホスピタリティ概論
	演習 パソコン演習Ⅰ(Word)	演習 パソコン演習Ⅰ(PowerPoint)	演習 パソコン演習Ⅱ(Excel)	演習 パソコン演習Ⅱ(総合)
	演習 Speech & PresentationⅠ		演習 Speech & PresentationⅡ	
		演習 海外語学研修		演習 貿易実務概論
スケジュール	英語検定 入学前学習 入学式 新入生オリエンテーション PC検定 暗唱大会 穴吹祭 夏休み 県外研修 スポーツ大会 インターンシップ 海外語学研修 冬休み 英語検定 TOEIC 春休み		TOEIC ビジネス文書検定 PC検定 スピーチ大会 穴吹祭 夏休み スポーツ大会 TOEIC 中国語検定 TOEIC 韓国語検定 ビジネス実務マナー検定 英語検定 簿記検定 卒業式	

主な科目内容	
Listening & SpeakingⅠ・Ⅱ	ネイティブ英語講師から日常～ビジネスレベルの英会話を学ぶ。
総合英語Ⅰ・Ⅱ	接客英会話、ビジネス英会話を学ぶ。
検定対策Ⅰ・Ⅱ(英検、TOEIC)	英検上位級、TOEICハイスコア取得のためのテクニックを学ぶ。
Speech & PresentationⅠ・Ⅱ	1年次の英語暗唱大会、2年次の英語プレゼンテーション大会のために必要な能力を養う。
Around the worldⅠ・Ⅱ	海外ニュースを読み、世界の時事問題について討論(ディベート)を行う。
第二外国語Ⅰ・Ⅱ([選択]中国語/韓国語)	第二外国語として、中国語か韓国語を選択し、会話力を養い資格取得を目指す。
観光インバウンド概論	航空、旅行、ホテル業界のスペシャリストによる各業界に関する講義。
海外語学研修	海外の語学学校で約3週間の短期語学留学。
ビジネス教養Ⅰ・Ⅱ	ビジネスの基本知識を学ぶと共に、就職活動に不可欠なSPIの対策を行う。
パソコン演習Ⅰ・Ⅱ	Word、Excel、PowerPointの基礎から応用までを学び、資格取得を目指す。
貿易実務概論	貿易の基礎用語、英文書類作成など、輸出入取引の流れに沿って体系的に習得する。
サービスマナーホスピタリティ概論	サービス系スタッフとして必要なサービス、ホスピタリティの知識について学び、資格を取得する。

企業ビジネス学科 企業ビジネス専攻〔2年制〕／男女

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

企業ビジネス学科では、卒業認定・専門士授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)に定める教育を受けるために必要な、各学校各学科で掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人

2 各業界で高資格、高検定を取得し、即戦力として活躍したい人

3 自らが希望する分野の専門知識の習得はもちろん、他の領域に関しても主体的に学びたい人

4 地元の香川県を中心に、目指す業界の発展に貢献しようとする人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

企業ビジネス学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、各学科において必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1 各業界で必要な国家資格、検定を数多く取得でできる授業を構成する

2 関連業界の第一線で活躍しているプロの方による指導で最新の知識・情報を提供する

3 グループワークを取り入れ、企業が求める新しい企画、アイデアを提案できる力の育成を図る

4 社会人基礎講座で一般常識・ビジネスマナーを学び、ビジネススキルを身につける

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

企業ビジネス学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

1 地域社会・国際社会に貢献できるビジネススキルを身につけている

2 経理、不動産、コンピュータ、営業についての専門知識(国家資格、国家検定取得含む)を確実に身につけている

3 ニーズが多様化する社会において、問題解決能力を身につけ、社会ニーズに対応できる力を身につけている

4 豊かな人間性を持ち、顧客と信頼関係を築けるコミュニケーション能力を身につけている

目指す資格
●簿記検定2級(日本商工会議所主催)
●簿記能力検定1級(全国経理教育協会主催)
●3級ファイナンシャル・プランニング技能士〔国家資格〕
●ITパスポート〔国家資格〕
●サーティファイ認定(Word・Excel・PowerPoint)
●ビジネス文書技能検定2級
●メンタルヘルスマネジメント検定Ⅲ種

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	簿記・パソコンなど、事務職・営業職に必要な基礎知識を学ぶとともに、ビジネスマナーを身につけ職業意識の向上を図る。	前期に取得した資格の上位級合格を目指す。就職活動に向けて準備を行い、希望する企業への内定を勝ち取るため、自己分析・企業研究を行う。	企業と連携(産学連携)し、フィールドワークを実施し主体的な活動を通して課題を発見する能力を身につけ解決できる実務的能力を習得する。	企業と連携(産学連携)し、より実践的な能力を身につけ、就職先で実践できるプレゼンテーション能力、社会人基礎力を習得する。
カリキュラム	演習 商業簿記 演習 簿記演習 講義 計算実務 演習 パソコン演習(Word・Excel)	演習 工業簿記 演習 簿記演習 演習 ファイナンシャル・プランニング(FP) 演習 パソコン演習(Word・Excel)	演習 パソコン会計 演習 検定対策 演習 パソコン演習(PowerPoint)・応用 演習 営業実践演習 講義 マーケティングⅠ 演習 ビジネスプランニング	演習 ITパスポート 演習 パソコン演習(PowerPoint)・応用 演習 マーケティングⅡ 演習 ビジネス文書 演習 ビジネススキル 演習 社会人基礎講座Ⅱ
	講義 ビジネス教養	講義 社会人基礎講座Ⅰ		
スケジュール	4月 入学前学習 入学式 新入生オリエンテーション 6月 日商簿記検定 7月 全経簿記検定 電卓検定 サーティファイ(Word) 穴吹祭 夏休み 8月 スポーツ大会 11月 日商簿記検定 全経簿記検定 12月 県外企業見学研修 冬休み 1月 ファイナンシャル・プランニング技能検定(国家資格) サーティファイ(Excel) 2月 就職キックオフ研修 就職面接研修 春休み		6月 日商簿記検定 ビジネス文書検定 7月 サーティファイ(PowerPoint) 穴吹祭 夏休み 8月 スポーツ大会 9月 産学連携 11月 ITパスポート メンタルヘルスマネジメント検定 12月 冬休み 1月 卒業式 3月	

主な科目内容	
商業簿記	簿記を基礎から学習することにより、計数感覚を身につけ、総務・経理・営業と幅広い分野で活かせる経理実務を学ぶ。
簿記演習	日商簿記検定3級・2級レベルの問題をこなすことで、知識を定着させ確実に問題を解く力を身につける。
パソコン演習(Word・Excel)	Word・Excelの基本操作を習得し、実務に即した文書・表計算、グラフ作成技術等を身につけるとともに、サーティファイ認定試験に合格する。
計算実務	電卓の機能を学習することにより、一定時間により速く、正確に答えを求める速算術を身につける。タッチタイピングの習得で実際の経理で使用できる応用力も併せて学ぶ。
工業簿記	製造業における原価計算の過程を理解し、原価計算能力を身につける。日商簿記検定2級レベルの工業簿記知識を身につける。
ファイナンシャル・プランニング(FP)	お金に関する基礎知識の6分野(ライフプラン・リスク管理・タックスプランニング・相続事業継承・金融資産運用・不動産)を中心に身につける。
ビジネス教養	就職試験のうち、主に筆記試験対策をくり返し行い、就職試験に合格する力を養う。さらに、基礎的なビジネスマナーの知識を身につける。
社会人基礎講座Ⅰ・Ⅱ	就職に対する意識付けを行い、就職活動に必要な基礎的な知識、企業研究、自己PRの作成を通して、コミュニケーション力、自己分析力を身につける。さらに社会人に必要なチームワーク力、傾聴力を養うグループワークを行い、社会人基礎力を身につける。
ビジネススキル	ビジネス社会の基本ルール(対人関係・電話対応など)を理解し、実務に必要な判断力・行動力を身につける。
パソコン演習(PowerPoint)・応用	PowerPointの基本操作を習得し、プレゼンテーションを作成する方法を身につけるとともに、プレゼンテーション技能認定試験に合格する。さらに、就職後を想定し、Word、Excelの応用操作を身につける。
マーケティングⅠ・Ⅱ	マーケティングに関する基本的な知識を学ぶとともに、ビッグデータを活用し、小売店が抱える課題について、調査・分析し、課題解決のための提案力を身につける。
ビジネスプランニング	身近にある商品やサービスを基に新規性、独自性、現実性、継続性、拡張性のあるビジネスを企画立案し、提案力を身につける。
営業実践演習	1対1の営業・販売を想定し、相手に対して商品・サービスの魅力を伝えるプレゼンテーション力を身につける。さらに多くの聴衆に対しての効果的なプレゼンテーション力を養う。
ビジネス文書	実社会で必要とされる社外用・社内用文書等のビジネス文書の作成のための知識を身につける。
パソコン会計	実務に必要な会計ソフトの操作技術を習得し、弥生の会計ソフトを使用して財務諸表の作成、経営分析能力を養う。
検定対策	日商簿記、全経簿記、FP、Excel、Wordなど1年次に挑戦した級以上の検定に挑戦し、2種類以上の検定の合格を目指す。
ITパスポート	コンピュータの仕組みを含めた、ITに関連する様々な技術と知識について、基礎を身につける。さらに、企業活動における、ITとの関連について理解を深める。
メンタルヘルスマネジメント	企業のメンタルヘルス(心の健康)対策を事例を交えながら管理職側、従業員側から学び、理解を深める。

企業ビジネス学科 不動産ビジネス専攻[2年制／男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

企業ビジネス学科では、卒業認定・専門士授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)に定める教育を受けるために必要な、各学校各学科で掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人

2 各業界で高資格、高検定を取得し、即戦力として活躍したい人

3 自らが希望する分野の専門知識の習得はもちろん、他の領域に関しても主体的に学びたい人

4 地元の香川県を中心に、目指す業界の発展に貢献しようとする人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

企業ビジネス学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、各学科において必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1 各業界で必要な国家資格、検定を数多く取得でできる授業を構成する

2 関連業界の第一線で活躍しているプロの方による指導で最新の知識・情報を提供する

3 グループワークを取り入れ、企業が求める新しい企画、アイデアを提案できる力の育成を図る

4 社会人基礎講座で一般常識・ビジネスマナーを学び、ビジネススキルを身につける

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

企業ビジネス学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

1 地域社会・国際社会に貢献できるビジネススキルを身につけている

2 経理、不動産、コンピュータ、営業についての専門知識(国家資格、国家検定取得含む)を確実に身につけている

3 ニーズが多様化する社会において、問題解決能力を身につけ、社会ニーズに対応できる力を身につけている

4 豊かな人間性を持ち、顧客と信頼関係を築けるコミュニケーション能力を身につけている

目指す資格

●宅地建物取引士〔国家資格〕

●管理業務主任者〔国家資格〕

●マンション管理士〔国家資格〕

●賃貸不動産経営管理士〔国家資格〕

●簿記検定3級(日本商工会議所主催)

●簿記能力検定2級(全国経理教育協会主催)

●3級ファイナンシャル・プランニング技能士〔国家資格〕

●サーティファイ認定(Word・Excel・PowerPoint)

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	不動産ビジネスに必要な法律・会計知識を習得するとともに、業界人の特別講義を通して職業意識の向上を図り、ビジネスパーソンとしての心構えを習得する。	宅地建物取引士試験、管理業務主任者試験合格に向けて主要科目の得点力を伸ばすとともに、不動産業界に必要なパソコン、金融知識、コミュニケーション能力を習得する。	企業と連携して不動産ビジネスを実践的に学ぶフィールドワークを実施し、主体的な活動を通して、課題を発見する能力を身につけ、それを解決できる実務的能力を習得する。	宅地建物取引士試験、管理業務主任者試験合格に向けて主要科目の得点力を伸ばすとともに、就職先で実践できるプレゼンテーション能力、社会人基礎力を習得する。
カリキュラム	演習 商業簿記	演習 ファイナンシャル・プランニング (FP)		
	演習 パソコン演習 (Word・Excel)	演習 パソコン演習 (Word・Excel)	演習 パソコン演習 (PowerPoint) ・応用	演習 パソコン演習 (PowerPoint) ・応用
	講義 宅建業法 I		講義 宅建業法 II	
	演習 宅建民法・法令 I		演習 宅建民法・法令 II	
	演習 管理業務 I		演習 管理業務 II	演習 管理業務 II
		演習 宅建士・管理業務主任者対策 I		演習 宅建士・管理業務主任者対策 II
			演習 営業実践演習	
		講義 社会人基礎講座 I	演習 社会人基礎講座 II	演習 社会人基礎講座 II
スケジュール	4月 入学前学習 入学式 新入生オリエンテーション		6月 不動産ビジネス特別講座 就職キックオフ研修 就職面接研修 穴吹祭 夏休み	
	6月 日商簿記検定 全経簿記検定 サーティファイ(Word)		7月 宅地建物取引士試験(国家資格) マンション管理士試験(国家資格) 賃貸不動産経営管理士試験(国家資格) ファイナンシャル・プランニング技能検定(国家資格) サーティファイ(Excel) 不動産ビジネス特別講座	
	7月 穴吹祭		8月 就労体験実習 就労面接研修 穴吹祭 夏休み	
	8月 夏休み		9月 スポーツ大会 県外企業見学研修 冬休み	
	9月 スポーツ大会		10月 宅地建物取引士試験(国家資格) 管理業務主任者試験(国家資格) マンション管理士試験(国家資格) 賃貸不動産経営管理士試験(国家資格) ファイナンシャル・プランニング技能検定(国家資格) サーティファイ(Excel) 不動産ビジネス特別講座	

主な科目内容	
商業簿記	簿記を基礎から学習することにより、計数感覚を身につけ、総務・経理・営業と幅広い分野で活かせる経理実務を学ぶ。
パソコン演習 (Word・Excel)	Word・Excelの基本操作を習得し、実務に即した文書・表計算、グラフ作成技術等を身につけるとともに、サーティファイ認定試験に合格する。
宅建業法Ⅰ・Ⅱ	宅地建物取引士試験合格のための主要科目(宅建業法、法令上の制限、その他の分野)の基本・実務的知識を学ぶ。
宅建民法・法令Ⅰ・Ⅱ	宅地建物取引士試験合格のための主要科目(権利関係)の基礎・実務的知識を学ぶ。
管理業務Ⅰ・Ⅱ	管理業務主任者試験合格のための主要科目(民法、区分所有法、マンション標準管理規約、管理委託契約書、建築知識等、税、マンション管理適正化法)の基礎から応用知識を学ぶ。
宅建士・管理業務主任者対策Ⅰ・Ⅱ	宅地建物取引士試験、管理業務主任者試験合格のための応用力を身につけ、模擬問題をくり返し解き得点力を養う。
ファイナンシャル・プランニング (FP)	お金に関する基礎知識の6分野(ライフプラン・リスク管理・タックスプランニング・相続事業継承・金融資産運用・不動産)を中心に身につける。
社会人基礎講座Ⅰ・Ⅱ	就職に対する意識付けを行い、就職活動に必要な基礎的な知識、企業研究、自己PRの作成を通して、コミュニケーション力、自己分析力を身につける。さらに社会人に必要なチームワーク力、傾聴力を養うグループワークを行い、社会人基礎力を身につける。
パソコン演習 (PowerPoint) ・応用	PowerPointの基本操作を習得し、プレゼンテーションを作成する方法を身につけるとともに、プレゼンテーション技能認定試験に合格する。さらに、就職後を想定し、Word、Excelの応用操作を身につける。
営業実践演習	1対1の営業・販売を想定し、相手に対して商品・サービスの魅力を伝えるプレゼンテーション力を身につける。さらに多くの聴衆に対しての効果的なプレゼンテーション力を養う。

ビジネス速修学科 [1年制 / 男女]

AP

入学者の受け入れ方針
アドミッションポリシー

ビジネス速修学科では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、各学校各学科で掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1

穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人

2

短期間の学び直して、自らの能力を高め、各業界の即戦力として活躍したい人

3

自らが希望する専門知識を習得すると共に、活用の幅を広げるために他の領域も主体的に学びたい人

4

地元の香川県を中心に、目指す業界の発展に貢献しようとする人

CP

教育課程編成・実施の方針
カリキュラムポリシー

ビジネス速修学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、各学科において必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1

短期間で習得可能な国家資格、検定を取得できる授業を構成する

2

希望する業界を理解するための就職研修を充実させる

3

選択自由な専門科目とともに「ビジネス文書」などの教養科目を習得し、事務能力の向上を図る

4

社会人基礎講座で一般常識・ビジネスマナーを学び、ビジネススキルを身につける

DP

目指す人材像
ディプロマポリシー

ビジネス速修学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

1

地域社会・国際社会に貢献できるヒューマンスキルを身につけている

2

経理、金融、不動産、コンピュータ、外国語についての専門知識 (国家資格、国家検定取得含む) を確実に身につけている

3

社会ニーズを素早く掴める対応力を養い、対応できる専門知識を身につけている

4

学び続ける習慣から最新の知識や技術を取り入れ、応用できる力を身につけている

目指す資格
●簿記検定2級 (日本商工会議所主催)
●宅地建物取引士 [国家資格]
●管理業務主任者 [国家資格]
●TOEIC
●MOS Expert
●ITパスポート
●3級ファイナンシャル・プランニング技能士 [国家資格]

1年次

到達目標

就職活動に向けて自己分析や企業研究を行い、簿記・パソコン・英語などの自分が目指す業界に必要な基礎知識を習得する。

就職後に必要な社会人として十分に活躍できる社会人基礎力を習得する。

カリキュラム

＜前期＞

選択

演習

商業簿記 (日商簿記・全経簿記)

選択

演習

簿記演習 (日商簿記・全経簿記)

選択

講義

宅建業法 (宅地建物取引士)

選択

演習

宅建民法・法令 (宅地建物取引士)

選択

演習

管理業務

選択

演習

英検 / TOEIC対策

選択

演習

ビジネス英会話

選択

演習

パソコン演習 (Word・Excel・PowerPoint)

選択

演習

社会人基礎講座

選択

演習

ビジネス基礎

＜後期＞

選択

演習

商業簿記 (日商簿記・全経簿記)

選択

演習

簿記演習 (日商簿記・全経簿記)

選択

演習

工業簿記 (日商簿記・全経簿記)

選択

演習

宅建士・管理業務主任者対策

選択

演習

管理業務

選択

演習

ビジネス英会話

選択

演習

パソコン演習 (Expert)

選択

演習

ファイナンシャル・プランニング (FP)

選択

演習

ITパスポート

スケジュール

4月

入学式
新入生オリエンテーション

5月

就職研修

6月

ビジネス文書検定
日商簿記検定
英語検定
TOEIC

7月

全経簿記検定
MOS (Word・Excel・PowerPoint)
穴吹祭

8月

夏休み

9月

スポーツ大会

10月

宅地建物取引士試験 (国家資格)

12月

MOS (Access)
冬休み

1月

ITパスポート
ファイナンシャル・プランニング技能検定 (国家資格)

3月

卒業式

主な科目内容	
商業簿記 (日商簿記・全経簿記)	簿記を基礎から学習することにより、計数感覚を身につけ、総務・経理・営業と幅広い分野で活かせる経理実務を学ぶ。
簿記演習 (日商簿記・全経簿記)	日商簿記検定3級・2級レベルの問題をこなすことで、知識を定着させ確実に問題を解く力を身につける。
工業簿記 (日商簿記・全経簿記)	製造業における原価計算の過程を理解し、原価計算能力を身につける。 日商簿記検定2級レベルの工業簿記知識を身につける。
ファイナンシャル・プランニング (FP)	お金に関する基礎知識の6分野 (ライフプラン・リスク管理・タックスプランニング・相続事業継承・金融資産運用・不動産) を中心に身につける。
ITパスポート	コンピュータの仕組みを含めた、ITに関する様々な技術と知識について、基礎を身につける。 さらに、企業活動における、ITとの関連について理解を深める。
宅建業法 (宅地建物取引士)	宅地建物取引士試験合格のための主要科目 (宅建業法、法令上の制限、その他の分野) の基本・実務的知識を学ぶ。
宅建民法・法令 (宅地建物取引士)	宅地建物取引士試験合格のための主要科目 (権利関係) の基礎・実務的知識を学ぶ。
管理業務	管理業務主任者試験合格のための主要科目 (民法、区分所有法、マンション標準管理規約、管理委託契約書、建築知識等、税、マンション管理適正化法) の基礎から応用知識を学ぶ。
宅建士・管理業務主任者対策	宅地建物取引士試験、管理業務主任者試験合格のための応用力を身につけ、模擬問題をくり返し解き得点力を養う。
英検 / TOEIC対策	英検上位級、TOEICハイスコア取得のためのテクニックを学ぶ。
ビジネス英会話	接客英会話、ビジネス英会話を学ぶ。
パソコン演習 (Word・Excel・PowerPoint)	Word・Excel・PowerPointの各基本操作を習得し、MOS Associateの資格に合格する。
ビジネス基礎	実社会で必要とされる社内用・社外用文書等のビジネス文書作成のための知識を身につける。
社会人基礎講座	就職に対する意識付けを行い、就職活動に必要な基礎知識、コミュニケーション能力、自己分析力を身につける。
パソコン演習 (Expert)	高度なワンランク上の知識を習得し、MOS Expertの資格に合格する。

公務員ビジネス学科 [2年制／男女]・公務員 学科 [1年制／男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

公務員系学科では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、各学校各学科で掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協議し、学び続ける意欲がある人

2 「全体の奉仕者」として、職務の遂行に全力で取り組むという強い意志を持った人

3 人間としての成長を前向きにとらえ、高い倫理観を身につける意欲のある人

4 国民・地域住民のために努力を惜しまないという気概を持った人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

公務員系学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、各学科において必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1 一般教養について、講義と演習との組み合わせで、公務員試験合格に必要な教養を身につけさせるとともに、それらが将来の礎となることについて理解を図る

2 ボランティア活動や「ゼミ学習」を通じ、人間力やコミュニケーション能力の向上を図る

3 官庁訪問や各種公務員の方による職業説明などを通じ、公務員として必要な資質の習得を図る

4 パソコン、簿記、社会人基礎教育を通じ、卒業後に社会人として十分に活躍できるだけのキャリア教育を実践する

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

公務員系学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号 (公務員ビジネス学科のみ) を授与する

1 地域社会・国際社会に貢献できる奉仕の精神を身につけている

2 初級公務員試験合格に向けて、幅広い教養を身につけている

3 「全体の奉仕者」という意味を理解し、「人のために尽くす」ことの大切さを身につけている

4 高い倫理観を持ち、国民・地域住民から信頼されるよう努力する姿勢を身につけている

目指す資格
● 国家公務員試験合格
● 地方公務員試験合格
● 簿記検定 (日本商工会議所主催)
● サーティファイ認定 (Word・Excel)

1 年 次		2 年 次	
<前期>		<後期>	
到達目標		到達目標	
初級公務員試験合格に向けて教養試験科目を習得するとともに、職業説明会やゼミ学習を通して人間力とコミュニケーション能力向上を図る。		初級公務員試験合格に向けて教養試験科目を習得するとともに、職業説明会やゼミ学習を通して人間力とコミュニケーション能力向上を図る。	
カリキュラム		カリキュラム	
講義 社会科学Ⅰ (講義) 演習 社会科学Ⅰ (演習) 講義 人文科学Ⅰ (講義) 演習 人文科学Ⅰ (演習) 講義 自然科学Ⅰ (講義) 演習 自然科学Ⅰ (演習) 講義 判断推理Ⅰ (講義) 演習 判断推理Ⅰ (演習) 講義 数的推理Ⅰ (講義) 演習 数的推理Ⅰ (演習) 演習 公務員総合演習ⅠA 演習 プラスワンⅠ 公務員一次試験		公務員総合演習ⅠB 公務員二次試験 検定Ⅰ	
		講義 社会科学Ⅱ (講義) 演習 社会科学Ⅱ (演習) 講義 人文科学Ⅱ (講義) 演習 人文科学Ⅱ (演習) 講義 自然科学Ⅱ (講義) 演習 自然科学Ⅱ (演習) 講義 判断推理Ⅱ (講義) 演習 判断推理Ⅱ (演習) 講義 数的推理Ⅱ (講義) 演習 数的推理Ⅱ (演習) 演習 公務員総合演習ⅡA 演習 プラスワンⅡ 公務員一次試験	
		公務員総合演習ⅡB 公務員二次試験 検定Ⅱ	
スケジュール		スケジュール	
入学前学習 入学式 新入生オリエンテーション 公務員試験説明会 業務説明会 三者面談 穴吹祭 受験申込 スポーツ大会 一次試験 二次試験 秋休み 合格発表 冬休み 春休み PC検定 日商簿記検定		県外官庁訪問 業務説明会 三者面談 穴吹祭 受験申込 スポーツ大会 一次試験 二次試験 秋休み 合格発表 冬休み 卒業式 PC検定 日商簿記検定	

主な科目内容	
社会科学Ⅰ・Ⅱ (講義)	公務員試験科目である政治・経済・倫理分野の学習。
社会科学Ⅰ・Ⅱ (演習)	政治・経済・倫理分野の過去問題等を通して実践力向上を図る。
人文科学Ⅰ・Ⅱ (講義)	公務員試験科目である日本史・世界史・地理分野の学習。
人文科学Ⅰ・Ⅱ (演習)	日本史・世界史・地理分野の過去問題等を通して実践力向上を図る。
自然科学Ⅰ・Ⅱ (講義)	公務員試験科目である物理・化学・生物・地学分野の学習。
自然科学Ⅰ・Ⅱ (演習)	物理・化学・生物・地学分野の過去問題等を通して実践力向上を図る。
判断推理Ⅰ・Ⅱ (講義)	公務員試験科目である判断推理分野の学習。
判断推理Ⅰ・Ⅱ (演習)	判断推理分野の過去問題等を通して実践力向上を図る。
数的推理Ⅰ・Ⅱ (講義)	公務員試験科目である数的推理分野の学習。
数的推理Ⅰ・Ⅱ (演習)	数的推理分野の過去問題等を通して実践力向上を図る。
公務員総合演習ⅠA・ⅡA	公務員対策模擬試験。
公務員総合演習ⅠB・ⅡB	ゼミ学習や職業説明会を通して、公務員二次試験 (面接) に向けて資質向上を図る。
プラスワンⅠ・Ⅱ	科目授業では扱いきれない内容を補完することでプラス1点の向上を図る。

グラフィックデザイン学科 グラフィックデザイン 専攻 [2年制／男女]

AP

入学者の
受け入れ
方針

アドミッション
ポリシー

グラフィックデザイン学科では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 ポスター、Web、キャラクターなどのデザイン全般の制作に興味があり、身につけたデザイン力を活かし社会に貢献したいと考える人
- 3 自己の目標達成のため継続的に努力のできる人
- 4 社会人素養や人間力向上のために、自主的に学ぼうとする向上心のある人

CP

教育課程
編成
・
実施の方針

カリキュラム
ポリシー

グラフィックデザイン学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- 1 デザインツールによる実習を通して、デザイナーとしての基礎的な知識と技術を得得する
- 2 豊かな創造力と確かな表現力を身につけたスペシャリストを育成する

DP

目指す
人材像

ディプロマ
ポリシー

グラフィックデザイン学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 地域社会・国際社会に貢献できる専門性を身につけている
- 2 ポスターデザイン、Webデザイン等のグラフィックデザイナーとして必要な基本スキルを授業で学び、演習授業で応用力を身につけている
- 3 自己の課題を見出し、創造性を発揮して総合的に解決できる実践力を身につけている
- 4 ものづくりにおける技術者としての個人・集団・地域社会に対する社会的責任を自覚して、行動でき、かつコミュニケーション能力を身につけている

目指す資格

- サーティファイ主催 Illustrator® クリエイター能力認定試験
- サーティファイ主催 Photoshop® クリエイター能力認定試験
- Webデザイナー検定
- 色彩検定

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	デザインソフトの操作技術やさまざまな画材を使ったイラスト表現を通してデザインの基礎を学ぶ。また、心理効果に基づいた配色や印刷・Webに関する技術などを身につける。	実践的な課題制作、コンペや企業との産学連携デザインに取り組む。また、プレゼンテーション力の強化やポートフォリオ制作など就職活動に向けての準備を行う。	クライアントからの依頼を想定した実践的なデザイン課題に取り組む。また、紙媒体、Web、映像などにおいて伝えたい内容に応じて表現できる技術力を習得する。	2年間の集大成となる卒業制作に取り組むことで、デザインの企画から完成までの流れを学ぶ。また、広告や販売促進グッズ、Webサイトなど幅広い作品を制作する。
カリキュラム	デザイン基礎・応用力UP	演習 Illustrator基礎 演習 Photoshop基礎Ⅰ 演習 DTP基礎 演習 デザイン実務演習Ⅰ 演習 グラフィック基礎Ⅰ 演習 ベーシックデザイン	演習 InDesign演習 演習 Photoshop基礎Ⅱ 演習 DTP実践 演習 DTV演習 演習 デザイン実務演習Ⅱ 演習 グラフィック基礎Ⅱ 演習 修了制作	演習 DTP応用 演習 デザイン実務演習Ⅲ 演習 GD演習 演習 卒業制作
	デザイン知識力UP	講義 総合デザインⅠ 講義 コピー概論 講義 アイデア発想法 講義 色彩計画Ⅰ 演習 Web基礎Ⅰ	講義 総合デザインⅡ 講義 プランニング概論 講義 色彩計画Ⅱ 演習 カメラワーク演習 演習 Web基礎Ⅱ	演習 総合デザインⅣ 演習 コミュニケーションデザイン 演習 グッズデザイン演習Ⅱ 演習 カメラワーク応用
	デザイン実践力UP	講義 グラフィックデザイン概論	演習 グラフィックワークⅠ 演習 絵本制作演習Ⅰ 演習 イラストレーションⅠ	演習 グラフィックワークⅡ 演習 絵本制作演習Ⅱ 演習 イラストレーションⅡ
	人間力UP	講義 社会人基礎講座Ⅰ	講義 社会人基礎講座Ⅲ	講義 社会人基礎講座Ⅳ
スケジュール	入学前学習 入学式 新入生オリエンテーション 4月 色彩検定 6月 穴吹祭 7月 Illustrator検定 8月 関西研修 9月 スポーツ大会 11月 東京研修 12月 Webデザイナー検定 12月 色彩検定 1月 プレゼン 2月 デザイン展 2月 就職研修 3月 海外研修(※希望者) 3月 春休み		オリエンテーション 4月 色彩検定 6月 穴吹祭 7月 Webデザイナー検定 7月 Illustrator検定 8月 関西研修 9月 スポーツ大会 11月 東京研修 12月 Webデザイナー検定 12月 色彩検定 1月 プレゼン 2月 デザイン展 2月 就職研修 3月 海外研修(※希望者) 3月 卒業式	

主な科目内容	
グラフィック基礎Ⅰ・Ⅱ	SDGs視点を取り入れた企業広告の制作を基礎から学ぶ。
グラフィックデザイン概論	グラフィックデザインが持つ社会的役割とデザインに必要な考え方およびアイデアやデザインを支える文字やビジュアルなどの要素と機能を理解する。
ベーシックデザイン	講義および演習を通して、色彩や形態、構成、視覚伝達等に関する基礎的な知識と表現方法について学習する。
Illustrator基礎 Photoshop基礎Ⅰ・Ⅱ	グラフィックデザインにおけるIllustrator・Photoshopの基本操作から応用・活用方法などを、様々な課題制作を通して身につけ、印刷などのDTP業務に必要な基礎知識・技術・ルールを習得する。
色彩計画Ⅰ・Ⅱ	好き嫌いなどの感覚的な表現だけでなく、あらゆるデザインのカラーコーディネートに活かせる、理論的・体系的な色づかいができる知識や技法を学ぶ。
Web基礎Ⅰ・Ⅱ	Web制作におけるデザイン制作の基本を理解し、Webデザイン制作からHTMLコーディングまで学習し、Webサイトを制作できるスキルを身につける。
DTP基礎・実践 DTP応用・実務 InDesign演習	産学連携を中心として、クライアントの意向を反映した実践的なデザイン制作を学ぶ。また、InDesignの基本操作を学び、ページ物の作品制作を行う。
DTV演習	AfterEffectsの基本操作および映像制作の知識を習得し、デジタル動画作成による画像の視覚的な効果表現方法を身につける。
GD (グラフィックデザイン) 演習	課題のテーマを調査・理解し、製作条件を満たしつつ、個性的なビジュアルを完成させることができるように、グラフィックデザインを展開する力を身につける。
CI演習	リサーチに基づいたコンセプトを考え、それに基づいたビジュアルを作成することができるように、デザインの体系化と企業理念に基づいたCI計画を学ぶ。
コピー概論	多くのCM作品などを見ることで、クリエイティブすること、表現することに興味を持ち、言葉の楽しさと奥深さ、広がり、大切さを理解する。
プランニング概論	現在の市場、生活者の動向などマーケットの概要を知り、企画に役立つ情報や知識、理論を映像を交えながら理解する。
アドバタイジング	グラフィックデザイナーとして必要な基礎知識、企画力、アイデア、そしてそれらを相手に伝えるプレゼンテーション能力を、各媒体の制作を通して養う。
コミュニケーションデザイン	企画領域はもちろん、広報をベースとして総合的にコミュニケーションをデザインする技能を学び、どのような業界でも適用する「ソリューション」を身につける。
アイデア発想法	脳のメカニズムを知る事で効率よくアイデア発想を行えるポイントを理解し、日々のトレーニングを続けて右脳を活性化させる。
グッズデザイン演習Ⅰ・Ⅱ	パッケージ・カレンダー・化粧箱など、さまざまなグッズを企画・制作する。卒業制作関連のグッズ制作に取り組む。
カメラワーク演習・応用	デザイン現場で写真と関わる際の基礎を養うとともに、デジタル一眼レフカメラの使い方や撮影テクニックを学習し、フォトディレクションをできる力を身につける。
総合デザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	1・2年生合同授業。デザインの企画および制作を通してコミュニケーション能力とプレゼン力を身につける。
デザイン実務演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	様々なコンペに応募することによって、クライアントの意思に沿った作品とは何かを考え、コンペ入賞を目指す。
グラフィックワークⅠ・Ⅱ	産学連携の課題を元にグラフィックデザインの仕事について学ぶ。
絵本制作演習Ⅰ・Ⅱ	絵本は、各ページに作者と読者の想いが込められた総合芸術である。その事を理解するために、たくさんの絵本を読み、触れながら、絵本の製作方法を学習する。
イラストレーションⅠ・Ⅱ	イラストレーションの仕事について理解を深め、求められるイラストおよび考え方、技術を学ぶ。商業イラストを中心に制作する。
修了制作・卒業制作	テーマに対し、企画・コンセプトを十分に練りこんで、実施テーマに沿った総合的なデザインの企画・制作・プレゼンテーションを行う。
社会人基礎講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	社会人として知っておかねばならないコミュニケーションの技法と自主的に行動する思考、実践力を養う。また、就職活動対策としてのコミュニケーション教育やプレゼン技術について学び、社会人としてのマナーや知識を習得する。

グラフィックデザイン学科 Webデザイン専攻 [2年制／男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

グラフィックデザイン学科では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1

穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人

2

ポスター、Web、キャラクターなどのデザイン全般の制作に興味があり、身につけたデザイン力を活かし社会に貢献したいと考える人

3

自己の目標達成のため継続的に努力のできる人

4

社会人素養や人間力向上のために、自主的に学ぼうとする向上心のある人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

グラフィックデザイン学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1

デザインツールによる実習を通して、デザイナーとしての基礎的な知識と技術を習得する

2

豊かな創造力と確かな表現力を身につけたスペシャリストを育成する

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

グラフィックデザイン学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

1

地域社会・国際社会に貢献できる専門性を身につけている

2

ポスターデザイン、Webデザイン等のグラフィックデザイナーとして必要な基本スキルを授業で学び、演習授業で応用力を身につけている

3

自己の課題を見出し、創造性を発揮して総合的に解決できる実践力を身につけている

4

ものづくりにおける技術者としての個人・集団・地域社会に対する社会的責任を自覚して、行動でき、かつコミュニケーション能力を身につけている

目指す資格
● サーティファイ主催 Illustrator®クリエイター能力認定試験
● サーティファイ主催 Photoshop®クリエイター能力認定試験
● Webデザイナー検定
● 色彩検定

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	デザインソフトの操作技術やさまざまな画材を使ったイラスト表現を通してデザインの基礎を学ぶ。また、心理効果に基づいた配色や印刷・Webに関する技術などを身につける。	実践的な課題制作、コンペや企業との産学連携デザインに取り組む。また、プレゼンテーション力の強化やポートフォリオ制作など就職活動に向けての準備を行う。	クライアントからの依頼を想定した実践的なデザイン課題に取り組む。また、紙媒体、Web、映像などにおいて伝えたい内容に応じて表現できる技術力を習得する。	2年間の集大成となる卒業制作に取り組むことで、デザインの企画から完成までの流れを学ぶ。また、広告や販売促進グッズ、Webサイトなど幅広い作品を制作する。
デザイン基礎・応用力UP	演習 Illustrator基礎	演習 InDesign演習		
	演習 Photoshop基礎I	演習 Photoshop基礎II		
	演習 DTP基礎	演習 DTP実践	演習 DTP応用	演習 DTP実務
	演習 デザイン実務演習I	演習 デザイン実務演習II	演習 デザイン実務演習III	演習 デザイン実務演習IV
デザイン知識力UP	演習 グラフィック基礎I	演習 グラフィック基礎II	演習 GD演習	演習 CI演習
	演習 ベーシックデザイン	演習 修了制作		演習 卒業制作
	講義 総合デザインI	講義 総合デザインII	講義 総合デザインIII	講義 総合デザインIV
	講義 コピー概論	講義 プランニング概論	講義 アドバタイジング	講義 コミュニケーションデザイン
デザイン実践力UP	講義 アイデア発想法		演習 グッズデザイン演習I	演習 グッズデザイン演習II
	講義 色彩計画I	講義 色彩計画II		
	講義 グラフィックデザイン概論	演習 カメラワーク演習	演習 カメラワーク応用	
	演習 Web基礎I	演習 Web基礎II	演習 Webデザイン応用	演習 Webデザイン実務
人間力UP		演習 DTV演習	演習 DTV応用I	演習 DTV応用II
	講義 社会人基礎講座I	講義 社会人基礎講座II	講義 社会人基礎講座III	講義 社会人基礎講座IV
スケジュール	入学前学習 入学式 新入生オリエンテーション	Webデザイナー検定 色彩検定 穴吹祭 関西研修 東京研修 冬休み プレゼン 海外研修(※希望者) 春休み	Webデザイナー検定 色彩検定 オリエンテーション 穴吹祭 関西研修 夏休み スポーツ大会	Webデザイナー検定 色彩検定 東京研修 冬休み プレゼン 海外研修(※希望者) 卒業式

主な科目内容	
グラフィック基礎 I・II	SDGs視点を取り入れた企業広告の制作を基礎から学ぶ。
グラフィックデザイン概論	グラフィックデザインが持つ社会的役割とデザインに必要な考え方およびアイデアやデザインを支える文字やビジュアルなどの要素と機能を理解する。
ベーシックデザイン	講義および演習を通して、色彩や形態、構成、視覚伝達等に関する基礎的な知識と表現方法について学習する。
Illustrator基礎 Photoshop基礎 I・II	グラフィックデザインにおけるIllustrator・Photoshopの基本操作から応用・活用方法などを、様々な課題制作を通して身につけ、印刷などのDTP業務に必要な基礎知識・技術・ルールを習得する。
色彩計画 I・II	好き嫌いなどの感覚的な表現だけでなく、あらゆるデザインのカラーコーディネートに活かせる、理論的・体系的な色づかいができる知識や技法を学ぶ。
Web基礎 I・II	Web制作におけるデザイン制作の基本を理解し、Webデザイン制作からHTMLコーディングまで学習し、Webサイトを制作できるスキルを身につける。
DTP基礎・実践 DTP応用・実務 InDesign演習	産学連携を中心として、クライアントの意向を反映した実践的なデザイン制作を学ぶ。また、InDesignの基本操作を学び、ページ物の作品制作を行う。
DTV演習・DTV応用 I・II	AfterEffectsの基本操作および映像制作の知識を習得し、デジタル動画作成による画像の視覚的な効果表現方法を身につける。
GD (グラフィックデザイン) 演習	課題のテーマを調査・理解し、製作条件を満たしつつ、個性的なビジュアルを完成させることができるように、グラフィックデザインを展開する力を身につける。
CI演習	リサーチに基づいたコンセプトを考え、それに基づいたビジュアルを作成することができるように、デザインの体系化と企業理念に基づいたCI計画を学ぶ。
コピー概論	多くのCM作品などを見ることで、クリエイティブすること、表現することに興味を持ち、言葉の楽しさと奥深さ、広がり、大切さを理解する。
プランニング概論	現在の市場、生活者の動向などマーケットの概要を知り、企画に役立つ情報や知識、理論を映像を交えながら理解する。
アドバタイジング	グラフィックデザイナーとして必要な基礎知識、企画力、アイデア、そしてそれらを相手に伝えるプレゼンテーション能力を、各媒体の制作を通して養う。
コミュニケーションデザイン	企画領域はもちろん、広報をベースとして総合的にコミュニケーションをデザインする技能を学び、どのような業界でも通用する「ソリューション」を身につける。
アイデア発想法	脳のメカニズムを知る事で効率よくアイデア発想を行えるポイントを理解し、日々のトレーニングを続けて右脳を活性化させる。
グッズデザイン演習 I・II	パッケージ・カレンダー・化粧箱など、さまざまなグッズを企画・制作する。卒業制作関連のグッズ制作に取り組む。
カメラワーク演習・応用	デザイン現場で写真と関わる際の基礎を養うとともに、デジタル一眼レフカメラの使い方や撮影テクニックを学習し、フォトディレクションをできる力を身につける。
総合デザイン I・II・III・IV	1・2年生合同授業。デザインの企画および制作を通してコミュニケーション能力とプレゼン力を身につける。
デザイン実務演習 I・II・III・IV	様々なコンペに応募することによって、クライアントの意思に沿った作品とは何かを考え、コンペ入賞を目指す。
Webデザイン応用 Webデザイン実務	WebデザインにおけるIllustrator・Photoshop・XDの基礎知識、印刷物のデザインとは違ったセオリーやルールなど、Webデザインの基礎知識について学ぶ。
修了制作・卒業制作	テーマに対し、企画・コンセプトを十分に練りこんで、実施テーマに沿った総合的なデザインの企画・制作・プレゼンテーションを行う。
社会人基礎講座 I・II・III・IV	社会人として知っておかねばならないコミュニケーションの技法と自主的に行動する思考、実践力を養う。また、就職活動対策としてのコミュニケーション教育やプレゼン技術について学び、社会人としてのマナーや知識を習得する。

マンガ・コミックイラスト学科 マンガ専攻 [2年制／男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

マンガ・コミックイラスト学科では、卒業認定・専門士授与の方針（DP）および教育課程編成・実施の方針（CP）に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人

2 マンガ・アニメ・コミックイラストに興味があり、身につけた創作力や表現力を活かし社会に貢献したいと考える人

3 自己の目標達成のため継続的に努力のできる人

4 社会人素養や人間力向上のために、自主的に学ぶとする向上心のある人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

マンガ・コミックイラスト学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1 マンガのストーリー構成、企画、表現を学び、マンガ雑誌に投稿できるまでの知識、技術を身につけた人材を育成する

2 様々な画材の基礎的な技術を修得し、表現力豊かなイラスト制作ができる人材を育成する

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

マンガ・コミックイラスト学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

1 地域社会・国際社会に貢献できる専門性を身につけている

2 マンガ・コミックイラスト・キャラクター制作等の基本スキルを授業で学び、演習授業で応用力を身につけている

3 クリエイターとしての能力開発はもちろん、多様化する媒体や、デジタル環境への対応、作家として必要なセルフプロデュース能力を身につけている

4 ものづくりににおける技術者としての個人・集団・地域社会に対する社会的責任を自覚して、行動できる資質を身につけている

目指す資格
● 漫画キャラクター検定
● 似顔絵検定
● Microsoft Office Specialist Excel 2016
● 色彩検定

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	さまざまな画材の基礎的な技術を習得し、アナログでの制作ならびにパソコンソフトの操作方法をマスターし、デジタルでの表現力豊かな作品制作ができるようになる。	マンガ制作におけるキャラクター、ストーリー構成などを身につけ、マンガの完成を目指す。またイラストにおける技法、構成力を養い独自性あるイラストを制作する。	マンガ専攻、コミックイラスト専攻に分かれての作品制作を目指す。商業誌の受賞を目標に制作に励む。	学生生活の集大成となる卒業制作作品において、より高度な描写力、表現力、演出力での完成を目指すし、また独自性、世界観のある魅力的な作品を制作する。
カリキュラム	マンガカUP 演習 マンガテクニックⅠ 演習 ストーリーテクニックⅠ	演習 マンガテクニックⅡ 演習 ストーリーテクニックⅡ	演習 マンガテクニックⅢ 演習 コミックテクニックⅠ 演習 キャラクターテクニックⅠ	演習 マンガテクニックⅣ 演習 コミックテクニックⅡ 演習 キャラクターテクニックⅡ
	イラストカUP 演習 イラストレーションⅠ 演習 コビック演習	演習 イラストレーションⅡ		
	デジタルデザインカUP 演習 DTP演習Ⅰ 演習 CG演習Ⅰ	演習 DTP演習Ⅱ 演習 CG演習Ⅱ	演習 DTP演習Ⅲ 演習 Web演習Ⅰ 演習 アニメーション演習Ⅰ	演習 DTP演習Ⅳ 演習 Web演習Ⅱ 演習 アニメーション演習Ⅱ
	デザインカUP 講義 色彩計画Ⅰ 演習 デッサン	講義 色彩計画Ⅱ 演習 修了制作	演習 デッサン	
	外部評価 演習 デザイン実務演習Ⅰ	演習 デザイン実務演習Ⅱ 演習 キャラクター検定演習	演習 デザイン実務演習Ⅲ	演習 デザイン実務演習Ⅳ 演習 にがお絵演習
	コミュニケーションカUP 演習 コミックアート演習Ⅰ 講義 社会人基礎講座Ⅰ 演習 Office演習Ⅰ	演習 コミックアート演習Ⅱ 講義 社会人基礎講座Ⅱ 演習 Office演習Ⅱ	演習 コミックアート演習Ⅲ 講義 社会人基礎講座Ⅲ 演習 デザインワークⅠ	演習 コミックアート演習Ⅳ 講義 社会人基礎講座Ⅳ 演習 デザインワークⅡ
	スケジュール		スケジュール	
	4月 入学前学習 入学式 新入生オリエンテーション 6月 色彩検定 7月 穴吹祭 8月 夏休み 9月 関西研修 11月 東京研修 12月 冬休み 1月 プレゼン 2月 デザイン展 プレゼン大会 就職研修 海外研修（※希望者） 3月 春休み		4月 オリエンテーション 6月 色彩検定 7月 穴吹祭 8月 夏休み 9月 関西研修 11月 東京研修 12月 冬休み 1月 プレゼン 2月 デザイン展 プレゼン大会 海外研修（※希望者） 3月 卒業式	

主な科目内容	
デザイン実務演習 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	色々なコンペにチャレンジして入賞を目指す。
コビック演習	イラストにおけるマーカー着彩での質感表現を身につける技術を学習。 キャラクターのボーシング、キャラクターボードの制作を行う。
アニメーション 演習Ⅰ・Ⅱ	基礎的なアニメーションの制作テクニック、クリップスタジオを使った複雑なアニメーションを 学習し、卒業制作のアニメを作成する。
DTP演習 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	AdobeソフトのIllustratorの使い方や基礎テクニックを学習しながら印刷技術を学ぶ。
コミックアート演習 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	1・2年合同で作業をしたり、穴吹コミック祭、穴吹祭、デザイン展での物販する作品を 作ったりして画力を上げるとともに、コミュニケーション能力を養う。
マンガテクニック Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	マンガ制作において重要な要素である技術やテクニック、つけペン、スクリーントーンなどの 道具の使い方の基本を理解し習得する。
イラストレーション Ⅰ・Ⅱ	1年次においては基本的な画材の使い方を習得し、2年次ではキャラクターのボーシング、 キャラクターボードの制作を行う。
色彩計画Ⅰ・Ⅱ	色が見える仕組みや目の構造から色给人に与える印象やファッション、インテリアまで 色についての知識を学習し、色彩検定合格を目指す。
CG演習Ⅰ・Ⅱ	液晶タブレットの使い方、クリップスタジオの使い方の基礎を学習し、スマホアプリの 「comico」へオリジナル作品を投稿する。
デッサン	対象物の形、素材感、陰影などを描きながら学習し、自分の作品によりリアリティを 感じられるようなテクニックを学習する。
ストーリー テクニックⅠ・Ⅱ	キャラの作成方法、あらすじやストーリーの作成方法、ネームの作成方法、効果的な コマ割り方法など、マンガを描く基本テクニックを習得する。
修了制作	1年間で学習した知識やテクニックを駆使して、集大成となるマンガとイラストを 制作し、デザイン展で自作のオリジナル作品の展示計画をする。
キャラクター 検定演習	漫画能力検定の漫画キャラクター検定取得を目指す。
デザインワーク Ⅰ・Ⅱ	自作のオリジナル作品をオークションで販売しながら自分の作品の価値を知り、 お店や企業に営業をかけて自分たちが提供できることを提案し、コラボ作品を作成する。
Web演習Ⅰ・Ⅱ	Webの基礎から学習し、最終的にWeb作品を作り上げる。
コミックテクニック Ⅰ・Ⅱ	マンガ制作におけるコマ割り、アングル、キャラクターの配置などの視覚効果による 作画技法を基礎から応用まで実践し、身につける。
キャラクター テクニックⅠ・Ⅱ	練習問題をこなし、基本的なマンガ技術の向上とネームスキルのレベルアップ、 また、マンガ新人賞において受賞できる技術を習得する。
にがお絵演習	にがお絵の基礎を学び、似顔絵検定取得を目指す。
社会人基礎講座 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	3KAN教育(1.自己効力感、2.成長実感、3.学び続ける習慣)により 企業が求める人材を目指す。
Office演習Ⅰ・Ⅱ	Excel基本を学びMicrosoft Office Specialist Excel 2016取得を目指す。

マンガ・コミックイラスト学科 コミックイラスト専攻 [2年制／男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

マンガ・コミックイラスト学科では、卒業認定・専門士授与の方針（DP）および教育課程編成・実施の方針（CP）に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人

2 マンガ・アニメ・コミックイラストに興味があり、身につけた創作力や表現力を活かし社会に貢献したいと考える人

3 自己の目標達成のため継続的に努力のできる人

4 社会人素養や人間力向上のために、自主的に学ぶとする向上心のある人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

マンガ・コミックイラスト学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1 マンガのストーリー構成、企画、表現を学び、マンガ雑誌に投稿できるまでの知識、技術を身につけた人材を育成する

2 様々な画材の基礎的な技術を修得し、表現力豊かなイラスト制作ができる人材を育成する

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

マンガ・コミックイラスト学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

1 地域社会・国際社会に貢献できる専門性を身につけている

2 マンガ・コミックイラスト・キャラクター制作等の基本スキルを授業で学び、演習授業で応用力を身につけている

3 クリエイターとしての能力開発はもちろん、多様化する媒体や、デジタル環境への対応、作家として必要なセルフプロデュース能力を身につけている

4 ものづくりにおける技術者としての個人・集団・地域社会に対する社会的責任を自覚して、行動できる資質を身につけている

目指す資格

● 漫画キャラクター検定

● 似顔絵検定

● Microsoft Office Specialist Excel 2016

● 色彩検定

	1 年 次		2 年 次	
	＜前期＞	＜後期＞	＜前期＞	＜後期＞
到達目標	さまざまな画材の基礎的な技術を習得し、アナログでの制作ならびにパソコンソフトの操作方法をマスターし、デジタルでの表現力豊かな作品制作ができるようになる。	マンガ制作におけるキャラクター、ストーリー構成などを身につけ、マンガの完成を目指す。またイラストにおける技法、構成力を養い独自性あるイラストを制作する。	マンガ専攻、コミックイラスト専攻に分かれての作品制作を目指す。二科展受賞、雑誌掲載を目標に制作に取り組む。	学生生活の集大成となる卒業制作作品において、より高度な描写力、表現力、演出力での完成を目指し、また独自性、世界観のある魅力的な作品を制作する。
カリキュラム	マンガカUP 演習 マンガテクニックⅠ 演習 ストーリーテクニックⅠ	演習 マンガテクニックⅡ 演習 ストーリーテクニックⅡ		
	イラストカUP 演習 イラストレーションⅠ 演習 コミック演習	演習 イラストレーションⅡ	演習 キャラクターイラスト演習Ⅲ 演習 コミックイラスト演習Ⅰ 演習 商業イラストⅠ	演習 キャラクターイラスト演習Ⅳ 演習 コミックイラスト演習Ⅱ 演習 商業イラストⅡ
	デジタルデザインカUP 演習 DTP演習Ⅰ 演習 CG演習Ⅰ	演習 DTP演習Ⅱ 演習 CG演習Ⅱ	演習 DTP演習Ⅲ 演習 CG演習Ⅲ 演習 アニメーション演習Ⅰ 演習 Web演習Ⅰ	演習 DTP演習Ⅳ 演習 CG演習Ⅳ 演習 アニメーション演習Ⅱ 演習 Web演習Ⅱ
	デザインカUP 講義 色彩計画Ⅰ 演習 デッサン	講義 色彩計画Ⅱ 演習 修了制作	演習 デッサン	
	外部評価 演習 デザイン実務演習Ⅰ	演習 デザイン実務演習Ⅱ 演習 キャラクター検定演習	演習 デザイン実務演習Ⅲ	演習 デザイン実務演習Ⅳ 演習 にがお絵演習
	コミュニケーションカUP 演習 コミックアート演習Ⅰ 講義 社会人基礎講座Ⅰ 演習 Office演習Ⅰ	演習 コミックアート演習Ⅱ 講義 社会人基礎講座Ⅱ 演習 Office演習Ⅱ	演習 コミックアート演習Ⅲ 講義 社会人基礎講座Ⅲ 演習 デザインワークⅠ	演習 コミックアート演習Ⅳ 講義 社会人基礎講座Ⅳ 演習 デザインワークⅡ
		漫画能力検定 似顔絵検定 色彩検定		漫画能力検定 似顔絵検定 色彩検定
	入学前学習 入学式 新入生オリエンテーション	穴吹祭 夏休み スポーツ大会 東京研修 冬休み プレゼン デザイン展 プレゼン大会 就職研修 海外研修（※希望者） 春休み	オリエンテーション 穴吹祭 夏休み スポーツ大会	デザイン展 プレゼン大会 海外研修（※希望者） 卒業式
	4月	6月	7月	8月
	9月	11月	12月	1月
	2月	3月	4月	5月
スケジュール				

主な科目内容	
デザイン実務演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	色々なコンペにチャレンジして入賞を目指す。
キャラクターイラスト演習Ⅲ・Ⅳ	イラストにおけるマーカ―着彩での質感表現を身につける技術を学習し、キャラクターのポーズ、キャラクターボードの制作を行う。
アニメーション演習Ⅰ・Ⅱ	基礎的なアニメーションの制作テクニック、クリップスタジオを使った複雑なアニメーションを学習し、卒業制作のアニメを作成する。
DTP演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	AdobeソフトのIllustratorの使い方や基礎テクニックを学習しながら印刷技術を学ぶ。
コミックアート演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	1・2年合同で作業をしたり、穴吹コミック祭、穴吹祭、デザイン展での物販する作品を作ったりして画力を上げるとともに、コミュニケーション能力を養う。
マンガテクニックⅠ・Ⅱ	マンガ制作において重要な要素である技術やテクニック、つけペン、スクリーントーンなどの道具の使い方の基本を理解し習得する。
イラストレーションⅠ・Ⅱ	1年次においては基本的な画材の使い方を習得し、2年次ではキャラクターのポーズ、キャラクターボードの制作を行う。
色彩計画Ⅰ・Ⅱ	色が見える仕組みや目の構造から色给人に与える印象やファッション、インテリアまで色についての知識を学習し、色彩検定合格を目指す。
CG演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	液晶タブレットの使い方、クリップスタジオの使い方の基礎を学習し、スマホアプリの「comico」へオリジナル作品を投稿する。
デッサン	対象物の形、素材感、陰影などを描きながら学習し、自分の作品によりリアリティを感じられるようなテクニックを学習する。
ストーリーテクニックⅠ・Ⅱ	キャラの作成方法、あらすじやストーリーの作成方法、ネームの作成方法、効果的なコマ割り方法など、マンガを描く基本テクニックを習得する。
修了制作	1年間で学習した知識やテクニックを駆使して、集大成となるマンガとイラストを制作し、デザイン展で自作のオリジナル作品の展示計画をする。
キャラクター検定演習	漫画能力検定の漫画キャラクター検定取得を目指す。
デザインワークⅠ・Ⅱ	自作のオリジナル作品をオークションで販売しながら自分の作品の価値を知り、お店や企業に営業をかけて自分たちが提供できることを提案し、コラボ作品を作成する。
Web演習Ⅰ・Ⅱ	Webの基礎から学習し、最終的にWeb作品を作り上げる。
コミックイラスト演習Ⅰ・Ⅱ	コミックイラストの作品制作と、2年次後期は卒業制作に取り組む。
コミック演習 商業イラストⅠ・Ⅱ	商業イラストの仕事について理解を深め、求められるイラスト及び考え方、技術を学ぶ。
にがお絵演習	にがお絵の基礎を学び、似顔絵検定取得を目指す。
社会人基礎講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	3KAN教育（1. 自己効力感、2. 成長実感、3. 学び続ける習慣）により企業が求める人材を目指す。
Office演習Ⅰ・Ⅱ	Excel基本を学びMicrosoft Office Specialist Excel 2016取得を目指す。

トータルインテリア学科 住宅・ショップデザイン 専攻〔2年制／男女〕

AP

入学者の
受け入れ
方針

アドミッション
ポリシー

トータルインテリア学科では、卒業認定・専門士授与の方針（DP）および教育課程編成・実施の方針（CP）に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 空間デザインやものづくりに興味があり、身につけた空間設計力やコーディネート力を活かし社会に貢献したいと考える人
- 3 自己の目標達成のため継続的に努力のできる人
- 4 社会人素養や人間力向上のために、自主的に学ぼうとする向上心のある人

CP

教育課程
編成
・
実施の方針

カリキュラム
ポリシー

トータルインテリア学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- 1 快適な住まい、空間をデザインするインテリア・ビジネスのスペシャリストとしての、基礎知識・技術を得得する
- 2 インテリアコーディネーター、ディスプレイデザイナー、家具デザイナー等、業界の第一線で活躍できる人材を育成する

DP

目指す
人材像
ディプロマ
ポリシー

トータルインテリア学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 地域社会・国際社会に貢献できる専門性を身につけている
- 2 「空間設計」、「空間コーディネート」、「建築」等の基本スキルを授業で学び、演習授業で応用力を身につけている
- 3 論理的に考え、それに基づいて自己表現およびコミュニケーションができる能力を身につけている
- 4 ものづくりにおける技術者としての個人・集団・地域社会に対する社会的責任を自覚して、行動できる資質を身につけている

目指す資格

- インテリアコーディネーター
- 建築士（二級・木造）〔国家資格〕指定科目認可校 実務経験0年受験
- インテリア設計士
- 色彩検定

1 年 次		2 年 次		
<前期>		<後期>		
到達目標	手書きを中心に製図やパース、模型の基本など表現方法を習得し、建築・インテリアのスケールなどの基礎的知識を元に簡単なプラン、プレゼンボードができる。	2次元C A Dによる作図とより深い専門的な知識を元にリフォームプランを提案することができ、さらにコーディネートボード等ができる。	インテリアに関わる法規、環境、材料、素材等の知識と3 D C A Dを駆使し、マンションのリフォームコーディネーターが提案できる。	今まで習った知識や技術の集大成として「施設併用型住宅」のプラン、コーディネートが提案できる。またインテリアコーディネーター資格合格も同時に目指す。
	講義 IC基礎Ⅰ (二級建築士指定科目) 講義 IC基礎Ⅱ (二級建築士指定科目) 講義 色彩計画 演習 ブランニング演習 (二級建築士指定科目) 演習 インテリア製図 (二級建築士指定科目) 演習 モデリング (二級建築士指定科目) 演習 造形演習 (選択) 演習 建築基礎演習 (選択) 演習 パース演習 (二級建築士指定科目) 演習 MAC演習 演習 IC基礎演習Ⅰ 演習 IC基礎演習Ⅱ 演習 総合デザインⅠ 講義 社会人基礎講座Ⅰ	講義 IC基礎Ⅰ (二級建築士指定科目) 講義 IC基礎Ⅱ (二級建築士指定科目) 講義 IC基礎Ⅲ 講義 色彩計画 色彩検定合格 演習 ブランニング演習(修了制作) (二級建築士指定科目) 演習 CAD演習 (二級建築士指定科目) 演習 造形演習 (選択) 演習 建築基礎演習 (選択) 演習 パース演習 (二級建築士指定科目) 演習 MAC演習 インテリア設計士合格 演習 スペースデザイン演習Ⅰ 演習 Office演習 演習 総合デザインⅡ プレゼンテーション/コミュニケーション力 講義 社会人基礎講座Ⅱ 演習 作品展示計画Ⅰ	講義 IC販売 講義 IC構造 (二級建築士指定科目) 講義 IC材料 (二級建築士指定科目) 講義 IC概論Ⅰ (二級建築士指定科目) 講義 IC法規 (二級建築士指定科目) 演習 インテリア設計 (二級建築士指定科目) 演習 3DCG 演習 (二級建築士指定科目) 演習 SP演習 (二級建築士指定科目) 演習 コーディネート演習 コンペ受賞 演習 スペースデザイン演習Ⅱ 演習 コンペ演習 演習 総合デザインⅢ 内定 講義 社会人基礎講座Ⅲ	講義 IC構造 (二級建築士指定科目) 講義 IC材料 (二級建築士指定科目) 講義 IC概論Ⅰ (二級建築士指定科目) 講義 IC施工 (二級建築士指定科目) インテリアコーディネーター合格 演習 インテリア設計(卒業制作) (二級建築士指定科目) 演習 3DCG 演習 (二級建築士指定科目) 演習 SP演習 (二級建築士指定科目) コンペ受賞 演習 スペースデザイン演習Ⅱ 演習 コンペ演習 演習 総合デザインⅣ プレゼンテーション/コミュニケーション力 講義 社会人基礎講座Ⅳ 演習 作品展示計画Ⅱ
カリキュラム				
スケジュール				

主な科目内容	
IC基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	家具を含むインテリア史、スケールなどの人間工学やインテリアを構成するエレメントについて学ぶ。〔2級建築士指定科目〕
色彩計画	色彩の基礎を学ぶことにより、設計等に活かす。また色彩検定合格を目指す。
パース演習	一点、二点透視図の作図方法を学ぶ。また色鉛筆やマーカーでの着彩方法を身につけプレゼン力向上を目指す。〔2級建築士指定科目〕
IC基礎演習Ⅰ・Ⅱ	インテリア設計士合格を目指し、学科対策と実技（作図）対策を行う。
造形演習	ディスプレイの基礎知識を学び、制作を通して立体表現の技術を身につける。
建築基礎演習	様々な事例や有名建築を通じて、空間構成能力を身につける。
MAC演習	パソコンの基礎技術を習得し、イラストレーター、フォトショップを使い、作画や画像の処理を習得し、プレゼン力の向上を目指す。
プランニング演習	コンセプトワーク、プラン、作図、プレゼンボード、模型、プレゼンと一連の作業を通す総合的科目。〔2級建築士指定科目〕
インテリア製図	平行定規を使い、製図の基礎、建築記号、ペン入れ等を学びインテリア設計士実技課題やインテリアコーディネーター2次試験に対応する。〔2級建築士指定科目〕
モデリング	スチレンボード等の模型材料を使い、模型製作の基礎を学び、自分のプランを模型にする。〔2級建築士指定科目〕
CAD演習	JWCADを使いこなし、2次元の図面の作成が行えるようになる。〔2級建築士指定科目〕
Office演習	Word、Excel、PowerPointを習得し、見積、ビジネス文書、プレゼン資料等の作成が行えるようになる。
スペースデザイン演習Ⅰ・Ⅱ	グループ制作で空間や家具の提案、制作、発表を行い、技術の向上を目指す。
総合デザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	1,2年生合同のグループで空間の提案等を行うことによって、コミュニケーション力、プレゼンテーション力の向上を目指す。
作品展示計画Ⅰ・Ⅱ	デザイン展を見据えた作品の展示方法を企画、提案しさらに制作を行う。
IC販売	商品販売の基礎知識、企画書、販売促進ツールの制作を習得する。
IC構造	建築の構造について学び、インテリアコーディネーター合格を目指す。〔2級建築士指定科目〕
IC材料	建築の構成材料、内装材料等について学び、インテリアコーディネーター合格を目指す。〔2級建築士指定科目〕
IC概論Ⅰ	環境工学、設備について学び、インテリアコーディネーター合格を目指す。〔2級建築士指定科目〕
IC法規	建築法規を学習し、理解する。またインテリアコーディネーター合格を目指す。〔2級建築士指定科目〕
IC施工	建築の施工方法について学び、インテリアコーディネーター合格を目指す。〔2級建築士指定科目〕
インテリア設計	コンセプトワーク、プラン、作図、プレゼンボード、模型、プレゼンと一連の作業を通す総合的科目。〔2級建築士指定科目〕
3DCG 演習	VectorWorksを使って設計図の3次元化の技術を身につけ、プレゼン力の向上につなげる。〔2級建築士指定科目〕
SP演習	建築・インテリア設計のプロセスを理解し、数多くのパターンを演習することによって技術の向上を目指す。〔2級建築士指定科目〕
コーディネート演習	商店街への提案など実務に役立つ案件の設定での演習を行う。
コンペ演習	建築、インテリア、プロダクトなどのコンペティションに挑戦し、スキルの向上を図る。
社会人基礎講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	卒業後に社会人として活躍するために必要なコミュニケーション力やマナーを学び、社会人基礎力を身につけ内定につなげる。

AP

アドミッション
ポリシー

- 1 穴穴学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 空間デザインやものづくりに興味があり、身につけた空間設計力やコーディネート力を活かして社会に貢献したいと考える人
- 3 自己の目標達成のため継続的に努力のできる人
- 4 社会人素養や人間力向上のために、自主的に学ぼうとする向上心のある人

CP

カリキュラム
ポリシー

- 1 快適な住まい、空間をデザインするインテリア・ビジネスのスペシャリストとしての、基礎知識・技術を習得する
- 2 インテリアコーディネーター、ディスプレイデザイナー、家具デザイナー等、業界の第一線で活躍できる人材を育成する

DP

- 1 地域社会・国際社会に貢献できる専門性を身につけている
- 2 「空間設計」「空間コーディネート」「建築」等の基本スキルを授業で学び、演習授業で応用力を身につけている
- 3 論理的に考え、それに基づいて自己表現およびコミュニケーションができる能力を身につけている
- 4 ものづくりにおける技術者としての個人・集団・地域社会に対する社会的責任を自覚して、行動できる資質を身につけている

- インテリア設計士
- 色彩検定
- 家具製作(家具手加工作業)3級技能検定〔国家検定〕

主な科目内容	
IC基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	家具を含むインテリア史、スケールなどの人間工学やインテリアを構成するエレメントについて学ぶ。
色彩計画	色彩の基礎を学ぶことにより、設計等に活かす。また色彩検定合格を目指す。
パース演習	一点、二点透視図の作図方法を学ぶ。また色鉛筆やマーカーでの着彩方法を身につけプレゼン力向上を目指す。
IC基礎演習Ⅰ・Ⅱ	インテリア設計士合格を目指し、学科対策と実技（作図）対策を行う。
造形演習	ディスプレイの基礎知識を学び、制作を通して立体表現の技術を身につける。
MAC演習	パソコンの基礎技術を習得し、イラストレーター、フォトショップを使い、作画や画像の処理を習得し、プレゼン力の向上を目指す。
プランニング演習	コンセプトワーク、プラン、作図、プレゼンボード、模型、プレゼンと一連の作業を通ず総合的科目。
インテリア製図	平行定規を使い、製図の基礎、建築記号、ペン入れ等を学びインテリア設計士実技課題やインテリアコーディネーター2次試験に対応する。
モデリング	スチレンボード等の模型材料を使い、模型製作の基礎を学び、自分のプランを模型にする。
CAD演習	JWCADを使いこなし、2次元の図面の作成が行えるようになる。
Office演習	Word、Excel、PowerPointを習得し、見積、ビジネス文書、プレゼン資料等の作成が行えるようになる。
スペースデザイン演習Ⅰ・Ⅱ	グループ制作で空間や家具の提案、制作、発表を行い、技術の向上を目指す。
総合デザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	1,2年生合同のグループで空間の提案等を行うことによって、コミュニケーション力、プレゼンテーション力の向上を目指す。
作品展示計画Ⅰ・Ⅱ	デザイン展を見据えた作品の展示方法を企画、提案しさらに制作を行う。
IC販売	商品販売の基礎知識、企画書、販売促進ツールの制作を習得する。
家具技能演習	家具製作3級技能検定〔国家検定〕合格を目指す。
造形技術概論	様々な素材の特性を知り、豊かな発想でそれらを使い制作ができる。
家具デザイン概論	家具の特性や材料の種類、また道具の種類を学習し、制作に役立てる。
家具デザイン演習	課題に沿ってコンセプトワークやプランを、家具の制作を通して学ぶ。
3DCG演習	VectorWorksを使って設計図の3次元化の技術を身につけ、プレゼン力の向上につなげる。
造形技術演習	造形技術概論で学んだ素材を使い、立体物を表現することができる。
ディスプレイ演習	ディスプレイの基礎知識を学び、実際に校内外に制作することによって技術力、プラン力の向上を図る。
立体制作演習	グループで立体物を制作することにより技術力およびチームワークの大切さを学ぶ。
コンペ演習	建築、インテリア、プロダクトなどのコンペティションに挑戦し、スキルの向上を図る。
社会人基礎講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	卒業後に社会人として活躍するために必要なコミュニケーション力やマナーを学び、社会人基礎力を身につけ内定につなげる。

トータルインテリア学科 建築設計専攻 [2年制／男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

トータルインテリア学科では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人

2 空間デザインやものづくりに興味があり、身につけた空間設計力やコーディネート力を活かし社会に貢献したいと考える人

3 自己の目標達成のため継続的に努力のできる人

4 社会人素養や人間力向上のために、自主的に学ぼうとする向上心のある人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

トータルインテリア学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1 快適な住まい、空間をデザインするインテリア・ビジネスのスペシャリストとしての、基礎知識・技術を得得する

2 インテリアコーディネーター、ディスプレイデザイナー、家具デザイナー等、業界の第一線で活躍できる人材を育成する

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

トータルインテリア学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

1 地域社会・国際社会に貢献できる専門性を身につけている

2 「空間設計」、「空間コーディネート」、「建築」等の基本スキルを授業で学び、演習授業で応用力を身につけている

3 論理的に考え、それに基づいて自己表現およびコミュニケーションができる能力を身につけている

4 ものづくりにおける技術者としての個人・集団・地域社会に対する社会的責任を自覚して、行動できる資質を身につけている

目指す資格
● 建築士 (二級・木造) [国家資格] 指定科目認可校 実務経験0年受験
● インテリアコーディネーター
● インテリア設計士
● 色彩検定

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	手書きを中心に製図やパース、模型の基本など表現方法を習得し、建築・インテリアのスケールなどの基礎的知識を元に簡単なプラン、プレゼンボードができる。	2次元C A Dによる作図とより深い専門的な知識を元にリフォームプランを提案することができ、さらにコーディネートボード等ができる。	法規、設備、環境、構造等の総合的な建築知識と3 D C A Dを駆使し、コンセプトに沿った木造在来工法の平屋戸建住宅の提案ができる。	今まで習った知識や技術の集大成として「公共施設」のプラン、コーディネートが提案できる。またインテリアコーディネーター資格合格も同時に目指す。
カリキュラム	講義 IC基礎Ⅰ (二級建築士指定科目) 講義 IC基礎Ⅱ (二級建築士指定科目) 講義 色彩計画 演習 ブランニング演習 (二級建築士指定科目) 演習 インテリア製図 (二級建築士指定科目) 演習 モデリング (二級建築士指定科目) 演習 造形演習 (選択) 演習 建築基礎演習 (選択) 演習 パース演習 (二級建築士指定科目) 演習 MAC演習 演習 IC基礎演習Ⅰ 演習 IC基礎演習Ⅱ 演習 総合デザインⅠ 講義 社会人基礎講座Ⅰ	講義 IC基礎Ⅰ (二級建築士指定科目) 講義 IC基礎Ⅱ (二級建築士指定科目) 講義 IC基礎Ⅲ 講義 色彩計画 色彩検定合格 演習 ブランニング演習(修了制作) (二級建築士指定科目) 演習 CAD演習 (二級建築士指定科目) 演習 造形演習 (選択) 演習 建築基礎演習 (選択) 演習 パース演習 (二級建築士指定科目) 演習 MAC演習 インテリア設計士合格 演習 スペースデザイン演習Ⅰ 演習 Office演習 演習 総合デザインⅡ プレゼンテーション/コミュニケーション力 講義 社会人基礎講座Ⅱ 演習 作品展示計画Ⅰ	講義 IC販売 講義 IC構造 (二級建築士指定科目) 講義 IC材料 (二級建築士指定科目) 講義 IC概論Ⅰ (二級建築士指定科目) 講義 IC法規 (二級建築士指定科目) 演習 インテリア設計 (二級建築士指定科目) 演習 3DCG 演習 (二級建築士指定科目) 演習 SP演習 (二級建築士指定科目) 演習 建築概論 演習 コンベ演習 演習 総合デザインⅢ 内定 講義 社会人基礎講座Ⅲ	講義 IC構造 (二級建築士指定科目) 講義 IC材料 (二級建築士指定科目) 講義 IC概論Ⅰ (二級建築士指定科目) 講義 IC施工 (二級建築士指定科目) 建築士受験 演習 インテリア設計(卒業制作) (二級建築士指定科目) 演習 3DCG 演習 (二級建築士指定科目) 演習 SP演習 (二級建築士指定科目) コンペ受賞 演習 スペースデザイン演習Ⅱ 演習 コンベ演習 演習 総合デザインⅣ プレゼンテーション/コミュニケーション力 講義 社会人基礎講座Ⅳ 演習 作品展示計画Ⅱ
	スケジュール			
	1 年 次		2 年 次	
	4月 入学前学習 入学式 新入生オリエンテーション 7月 インテリア設計士検定 8月 プレゼン 穴吹祭 9月 夏休み スポーツ大会 11月 色彩検定 東京研修 12月 冬休み 1月 プレゼン 2月 デザイン展 プレゼン大会 就職研修 海外研修 (※希望者) 春休み 3月		4月 オリエンテーション 6月 色彩検定 7月 プレゼン 穴吹祭 8月 夏休み スポーツ大会 9月 冬休み 10月 インテリアコーディネーター資格試験 11月 色彩検定 12月 東京研修 1月 プレゼン 2月 デザイン展 プレゼン大会 海外研修 (※希望者) 卒業式 3月	

主な科目内容	
IC基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	現代までの建築史、建築計画(総論、各論)や建築を構成するエレメントについて学ぶ。【2級建築士指定科目】
色彩計画	色彩の基礎を学ぶことにより、設計等に活かす。また色彩検定合格を目指す。
パース演習	一点、二点透視図の作図方法を学ぶ。また色鉛筆やマーカーでの着彩方法を身につけプレゼン力向上を目指す。【2級建築士指定科目】
IC基礎演習Ⅰ・Ⅱ	インテリア設計士合格を目指し、学科対策と実技(作図)対策を行う。
造形演習	ディスプレイの基礎知識を学び、制作を通して立体表現の技術を身につける。
建築基礎演習	様々な事例や有名建築を通じて、空間構成能力を身につける。
MAC演習	パソコンの基礎技術を習得し、イラストレーター、フォトショップを使い、作画や画像の処理を習得し、プレゼン力の向上を目指す。
プランニング演習	コンセプトワーク、プラン、作図、プレゼンボード、模型、プレゼンと一連の作業を通す総合的科目。【2級建築士指定科目】
インテリア製図	平行定規を使い、製図の基礎、建築記号、ペン入れ等を学びインテリア設計士実技課題やインテリアコーディネーター2次試験に対応する。【2級建築士指定科目】
モデリング	スチレンボード等の模型材料を使い、模型製作の基礎を学び、自分のプランを模型にする。【2級建築士指定科目】
CAD演習	JWCADを使いこなし、2次元の図面の作成が行えるようになる。【2級建築士指定科目】
Office演習	Word、Excel、PowerPointを習得し、見積、ビジネス文書、プレゼン資料等の作成が行えるようになる。
スペースデザイン演習Ⅰ・Ⅱ	グループ制作で空間や家具の提案、制作、発表を行い、技術の向上を目指す。
総合デザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	1,2年生合同のグループで空間の提案等を行うことによって、コミュニケーション力、プレゼンテーション力の向上を目指す。
作品展示計画Ⅰ・Ⅱ	デザイン展を見据えた作品の展示方法を企画、提案しさらに制作を行う。
ⅠC販売	商品販売の基礎知識、企画書、販売促進ツールの制作を習得する。
ⅠC構造	建築の構造について学び、建築士合格を目指す。【2級建築士指定科目】
ⅠC材料	建築の構成材料、内装材料等について学び、建築士合格を目指す。【2級建築士指定科目】
ⅠC概論Ⅰ	環境工学、設備について学び、建築士合格を目指す。【2級建築士指定科目】
ⅠC法規	建築法規を学習し、理解する。また建築士合格を目指す。【2級建築士指定科目】
ⅠC施工	建築の施工方法について学び、建築士合格を目指す。【2級建築士指定科目】
インテリア設計	コンセプトワーク、プラン、作図、プレゼンボード、模型、プレゼンと一連の作業を通す総合的科目。【2級建築士指定科目】
3DCG 演習	VectorWorksを使って設計図の3次元化の技術を身につけ、プレゼン力の向上につなげる。【2級建築士指定科目】
SP演習	建築・インテリア設計のプロセスを理解し、数多くのパターンを演習することによって技術の向上を目指す。【2級建築士指定科目】
建築概論	木造詳細図、伏図など木造在来工法の実施図面の作図を目指す。
コンベ演習	建築、インテリア、プロダクトなどのコンペティションに挑戦し、スキルの向上を図る。
社会人基礎講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	卒業後に社会人として活躍するために必要なコミュニケーション力やマナーを学び、社会人基礎力を身につけ内定につなげる。

ネット動画クリエイター学科[2年制／男女]

AP

入学者の受け入れ方針
アドミッションポリシー

ネット動画クリエイター学科では、卒業認定・専門士授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1

情報発信・コンテンツ制作・動画制作に興味があり、身につけた創作力や表現力を活かし社会に貢献したいと考える人

2

自己の目標達成のため継続的に努力のできる人

3

社会人素養や人間力向上のために、自主的に学ぼうとする向上心のある人

4

穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人

CP

教育課程編成・実施の方針
カリキュラムポリシー

ネット動画クリエイター学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1

動画、Web、コンテンツ制作手法を学び、SNSを始めとするインターネットを活用するスキルを習得する

2

豊かな発想力と確かな表現力、情報発信力を身につけたスペシャリストを育成する

3

最新の知識・技術を実感できる、業界で活躍中のプロ講師による授業を実施する

DP

目指す人材像
ディプロマポリシー

ネット動画クリエイター学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

1

地域社会・国際社会に貢献できる専門性を身につけている

2

動画クリエイター・Webクリエイターとして必要な基本スキルを授業で学び、演習授業で応用力を身につけている

3

常に新しいことに挑戦することで、ビジネスの現場で必要となる柔軟な発想力を有し、様々なニーズに応えるコンテンツ制作力を身につけている

4

多様性を理解し、信頼関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけ、魅力的な情報発信ができる能力を身につけている

目指す資格
●Microsoft Office Specialist(Word・Excel) ●サーティファイ主催 Illustrator®クリエイター能力認定試験 ●サーティファイ主催 Photoshop®クリエイター能力認定試験 ●Google アナリティクス個人認定資格(GAIQ)

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	パソコン操作から、動画制作・デザイン制作に必要なアプリケーションなどの基本的な操作までを身につける。また、情報発信に必要な基礎的な知識を学ぶ。	課題制作、企画立案、情報発信を実践的に学ぶ。産学連携の企画に取り組み、問題解決力や実際の現場で必要となるスキルを身につける。併せて就職活動への準備を始める。	1年生で身につけたスキルを活用し、産学連携に取り組み、実践的課題解決の経験を通して現場力を身につける。さらに振り返りにより、自らのスキルを評価し改善策を考えられる「PDCA サイクル」を身につける。	これまで身につけたスキルや経験を活かして、2年間の集大成となる卒業制作に取り組み。
カリキュラム	制作力・実践力・発信力			
	演習 動画制作基礎 演習 動画編集基礎 演習 Illustrator基礎・演習 演習 Photoshop基礎・演習 演習 ライブ配信基礎 講義 SNS基礎	演習 動画制作演習 演習 動画編集演習 演習 Web基礎 演習 SNS演習 講義 Webマーケティング基礎 演習 修了制作	演習 Web演習 演習 Webマーケティング演習	
現場力	演習 総合動画実務Ⅰ 演習 パソコン基礎 演習 パソコン演習 演習 Office演習Ⅰ 講義 社会人基礎講座Ⅰ	演習 総合動画実務Ⅱ 演習 Office演習Ⅱ 講義 社会人基礎講座Ⅱ	演習 総合動画実務Ⅲ 講義 社会人基礎講座Ⅲ	演習 総合動画実務Ⅳ 講義 社会人基礎講座Ⅳ
スケジュール	入学前学習 入学式 新入生オリエンテーション 穴吹祭 夏休み スポーツ大会 MOS(Word・Excel) Illustrator検定 Photoshop検定 デザイン展 プレゼン大会 海外研修(※希望者) 冬休み 春休み		オリエンテーション 穴吹祭 夏休み スポーツ大会 冬休み デザイン展 プレゼン大会 海外研修(※希望者) 卒業式 Google アナリティクス個人認定資格(GAIQ)	

主な科目内容	
動画制作基礎・演習	講義および演習を通して、動画制作の一連の流れ「企画・撮影・編集・発信」を習得する。クライアントワークをはじめ、テーマに応じた様々な動画を制作することで、動画制作スキルの幅を広げる。
動画編集基礎・演習	Premiere、AfterEffectの基本操作と動画編集の知識を習得し、より効果的な演出や視覚的な表現方法を身につける。
Illustrator基礎・演習	動画制作やWeb制作で必要とされるIllustratorの基本操作から応用までを身につける。イラスト作成をはじめとする手法を習得し、デザイン活用スキルを向上させる。
Photoshop基礎・演習	動画制作やWeb制作で必要とされるPhotoshopの基本操作から応用までを身につける。写真加工をはじめとする手法を習得し、デザイン活用スキルを向上させる。
Web基礎・演習	Webデザイン制作の基本を理解し、HTMLコーディングから各種Webサービスの活用法までを学習し、Webを活用した情報発信のスキルを身につける。
ライブ配信基礎	インターネットライブ配信の手法を学び、企画番組や学校イベントをライブ配信し、現場で必要なスキルを身につける。
SNS基礎・演習	各種SNSの特徴や活用方法を学び、情報発信力を身につける。自ら投稿し、結果(インサイト)を分析し、改善を重ねることでインフルエンサーとしての情報発信力を身につける。
Webマーケティング基礎・演習	Webマーケティングに必要な知識や手法を学び、制作した動画コンテンツを効果的に拡散するスキルを身につける。Google Analyticsをはじめ、データ分析、広告活用など実践的にWebマーケティングを学ぶ。
総合動画実務Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	他地区・他学年との合同授業。コミュニケーション力やプレゼンテーションを身につける。実際にクライアントワークを行い、実務に必要な知識を経験から学ぶ。
修了制作・卒業制作	設定したテーマに沿って、コンセプトを十分に練り込んだ動画を企画・制作・プレゼンテーションすることで、動画制作を体系的に学ぶ。
パソコン基礎・演習	パソコンの基本操作を学習し、インターネット基礎社会において必要な知識を統括的に学ぶ。
Office演習Ⅰ・Ⅱ	Word・Excel・PowerPointの基本操作を学習し、実務に即した文章作成から表計算・グラフ作成までを習得する。企画からプレゼンテーションまでの資料作成ができるスキルを身につける。
社会人基礎講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	社会人として知っておかなければならないコミュニケーション技法と自主的に行動する思考、実践力を身につける。また、就職活動対策としてのコミュニケーション教育やプレゼン技法についても学び、社会人としてのマナーや知識を習得する。

ゲームクリエイター学科 ゲーム専攻/XR専攻 [3年制／男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

ゲームクリエイター学科では、卒業認定・専門士授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1

穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人

2

ゲーム作りに興味があり、今までにない新しいゲームを制作したい人

3

ゲーム業界で評価される技術を身につけ、即戦力として活躍したい人

4

ゲーム業界の専門職業人として、発展に貢献する意欲のある人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

ゲームクリエイター学科では、DPIに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1

ゲーム業界に必要な知識・技術を体系的に学び、ゲーム制作力が身につく授業構成とする

2

他者理解・コミュニケーション能力を習得するため、アクティブラーニング形態の授業を実施する

3

ゲームに関する最新の知識・技術を実感できる、業界で活躍中のプロ講師による授業を実施する

4

チーム内での役割や他人との関わり方を学ぶため、グループワークや外部企業へのインターンシップの機会を設定する

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

ゲームクリエイター学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

1

地域社会・国際社会に貢献できるゲーム制作全般の知識を有し、ゲーム開発技術を身につけている

2

ゲーム制作全般の知識を有し、ゲームプログラミングに必要なネットワーク、VR、サーバー構築技術を駆使し、様々な機器で動作するゲーム制作ができる力を身につけている

3

常に新しいことに挑戦することで、課題解決に必要な柔軟な発想力を有し、様々なニーズに応える企画提案力を身につけている

4

多様性を理解し、自ら積極的に信頼関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている

1 年 次		2 年 次		3 年 次	
< 前期 >		< 前期 >		< 前期 >	
< 後期 >		< 後期 >		< 後期 >	
到達目標	プログラムと2DCG、企画などのゲーム制作の基礎を学び、学生の力だけでシンプルなゲームをチームで作ることができる。	プレゼンテーション手法の学習と、繰り返しゲーム制作経験を積むことで、個人でゲームが作れるようになり、また効果的なプレゼンができる。	3Dゲームプログラミングと3DCG学ぶことで、3Dでの基本的な動きのプログラムとシンプルな3Dゲームを作ることができる。XRの基礎を学び、AR技術を習得する。	完成度の高いコーディングやツールプログラム、3Dグラフィックスプログラムなど、高度な技術を導入した強みのある作品を作ることができる。VRコンテンツを習得する。	サーバーサイドプログラムや家庭用ゲーム機などの様々な開発環境で、多様なプラットフォームへ向けてのゲーム開発ができる。XRコンテンツを豊富なアイデアで実現する。
	講義 ゲームアルゴリズム	講義 コンピュータ概論Ⅰ	講義 コンピュータ概論Ⅱ	講義 情報処理対策講座	演習 サーバーサイドプログラム演習
	講義 ゲーム企画概論	演習 ゲームデザイン研究	講義 ゲームデザインⅡ		演習 HTML/CSS
カリキュラム	演習 C++ゲーム制作	講義 ゲームデザインⅠ	演習 3Dゲーム制作Ⅰ	演習 3Dゲーム制作Ⅱ	
		演習 2Dゲーム制作	演習 ゲーム数学演習Ⅱ	演習 ゲームAI演習	演習 コンシューマゲーム開発演習
		演習 ゲーム数学演習Ⅰ	演習 ゲームエンジン演習Ⅰ	演習 VR制作演習	演習 卒業制作
専門分野			演習 AR制作演習	演習 Unity演習	演習 ゲームエンジン演習Ⅱ
			演習 3Dゲーム素材制作演習	演習 キャラクター制作演習	演習 XRコンテンツ制作
	演習 2Dゲーム素材制作演習			演習 動画制作演習	
教養分野	演習 Office演習	演習 プレゼンソフト演習		講義 社会人基礎講座Ⅰ	講義 社会人基礎講座Ⅱ
					講義 社会人基礎講座Ⅲ
スケジュール	入学前学習	C言語プログラミング能力認定試験3級	基本情報技術者試験 午前免除試験	情報処理技術者能力認定試験2級2部	
	入学式	穴吹祭	校内プログラミングハッカソン②	基本情報技術者試験	
	新入生オリエンテーション	校内プログラミングハッカソン①	穴吹祭	ゲーム研修旅行	
	夏休み	スポーツ大会	夏休み	校内プログラミングハッカソン③	
	冬休み	デザイン展	スポーツ大会	校内合同企業セミナー	
		プレゼン大会		デザイン展	
		海外研修(※希望者)		プレゼン大会	
		春休み		冬休み	
				海外研修(※希望者)	
				春休み	
	4月	6月	6月	10月	4月
	7月	7月	7月	11月	7月
	8月	8月	8月	12月	8月
	9月	9月	9月	2月	9月
	12月	12月	12月	3月	12月
	2月	2月	2月		2月
	3月	3月	3月		3月

目指す資格	
● 基本情報技術者試験 [国家資格]	
● サーティファイ主催 C言語プログラミング能力認定試験	
● サーティファイ主催 情報処理技術者能力認定試験	
主な科目内容	
C++ゲーム制作	C++言語の基礎的な言語仕様を理解し、さまざまなプログラミングに対応できるプログラミング技術を習得する。
2Dゲーム制作	多種多様なゲーム制作を通してC++言語の命令や記述方法などを学び、ゲーム開発技術を習得する。
ゲームデザインⅠ・Ⅱ	ゲーム開発における企画立案方法、チーム運営方法等、プランナーとしての技術を習得し、ゲーム企画書、仕様書の作成を行う。
ゲームデザイン研究	デジタルゲームの研究を行い、ゲームのレベルデザイン技術およびゲーム構築能力を習得する。
ゲームアルゴリズム	プログラミングに必要な手順や計算法であるアルゴリズムについて学習し、プログラミングにおける処理手順の構築法を習得する。
コンピュータ概論Ⅰ・Ⅱ	基本情報技術者試験の範囲である、ソフトウェア、ハードウェア、ネットワーク、データベース、ストラテジーやマネジメントについての知識を習得する。
2Dゲーム素材制作演習	GIMPの機能を理解するとともに、ドット絵、UIデザイン、エフェクトの2DCGの知識を習得する。
3Dゲーム素材制作演習	3Dアニメーションソフト「Blender」を使用し、3Dモデルのデータ作成、アニメーションやフィールドなど、3Dゲームに利用する素材の作成を行う。
ゲームエンジン演習Ⅰ・Ⅱ	ゲームエンジン開発環境でのゲーム制作を行い、ゲームエンジンを使用したゲーム開発方法を習得する。
3Dゲーム制作Ⅰ・Ⅱ	三次元空間のプログラム技術を学び、3Dゲーム開発手法を習得する。また、ゲーム作品のプレゼンテーションを行い、効果的なプレゼンテーションを習得する。
ゲーム数学演習Ⅰ・Ⅱ	座標、ベクトル、行列などの数学の基礎を身につけ、ゲームプログラミングでの移動や回転、拡大縮小、衝突演算などの活用方法を習得する。
AR制作演習	スマートフォンやHoloLensを使用したAR技術を習得し、ARコンテンツ制作の手法を理解する。
Unity演習	ゲームエンジンUnityの使い方を習得し、ゲーム、XRコンテンツの制作を行う。
動画制作演習	動画編集ソフトの使い方を学び、ゲーム作品の紹介ムービーの作成方法を習得する。
VR制作演習	HTC Viveを使用したVR技術を習得する。また、ゲーム業界に限らず、今後増えていくVR業界のニーズにあった技術の習得を目指す。
ゲームAI演習	ゲームにおけるキャラクターの行動をつかさどるAIの構築技術を学び、ゲームデザインに反映させ、作品のクオリティアップに貢献する。
XRコンテンツ制作	AR、VR、MR等のXRを利用したコンテンツを作成することで、XRエンジニアとして売り込む作品を制作する。
コンシューマゲーム開発演習	コンシューマゲーム機(Nintendo Switch)でのゲーム制作を行い、ハードウェア、入力デバイスの特性を理解する。
サーバーサイドプログラム演習	Apache、PHP、MySQLを組み合わせたWebアプリケーションを作成する技術を習得し、Webアプリケーションとデータベースの設計を理解する。
HTML/CSS	ホームページを作成するための言語HTMLとCSSを習得する。
卒業制作	プロジェクトチームを作り、チームメンバーと協調し、これまで学んできた知識や技術の集大成としたゲームソフトの制作を行う。
Office演習	Word、Excelの演習を通し、基本的な操作を習得し、ゲーム作成時に作成するレジュメ(発表用資料)や仕様書、企画書作成に必要なスキルを養う。
プレゼンソフト演習	PowerPointの基本操作技術を身につけ、今後のプレゼンテーションに活用できる力をつける。
メタバース演習	XR背景における最終到達地点の1つで、オンラインシステム構築を行う。

美容学科 ヘアー・メイク専攻[2年制／男女] ブライダル専攻[2年制／女子]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

美容学科では、卒業認定・専門士授与の方針（DP）および教育課程編成・実施の方針（CP）に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1

穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人

2

美容師国家試験合格はもとより美容業界に幅広い視野と意欲を持ち、美容師として社会に貢献したいと考える人

3

自立的な問題解決能力を有し、継続的に努力のできる人

4

規範やモラルを重んじ、何事においても真摯さ、正直さ、誠実さを備えた姿勢で取り組める人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

美容学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1

美容師国家試験合格を目標とし、高い技術力、専門性、感性、人間力を高め社会に通ずる人材を育成する

2

学内で学んだ知識・技術をもとに学生の就職希望に応じた施設で実習を行い、実習の体験を通して学生は学内における自らの学びを確認し評価するとともに、実習で得た課題を実習後の学びにつなげていく

3

現場で働く美容師の姿を通して職業人としての自らの将来像を具体化させるとともに、変化する社会に対応して自ら学び続ける姿勢を養う

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

美容学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

1

地域社会・国際社会に貢献できる専門性を身につけている

2

卒業に必要な履修科目の出席率と成績評価要件を満たしていること

3

組織やグループの中でリーダーシップやフォローシップを発揮できること

4

豊かな人間性と「美」のスペシャリストとしてのホスピタリティをあわせ持つこと

目指す資格

●美容師〔国家資格〕

●UTOWAメイクアップ技術検定

●山野流着装

●ネイリスト技能検定

●ABEまつ毛エクステンション技術者認定試験

●サービス接遇検定

●パーソナルカラー検定

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	美容師に必要な基礎知識や基礎技術を正確に身につける。メイクやネイル、着付けや色彩などトータルで美を学び、美容業界への視野を広げる。	様々な美に関する資格取得を通して、将来の職業選択の幅を広げる。まつ毛エクステンションやヘアスペシャリストとしての専門的な知識・技術を身につける。	サロンワークや実務実習を通してコミュニケーション能力を磨き、即戦力として活躍できる人材を目指す。ミスマッチを防ぎ、自分の能力を活かせるサロンへの内定を獲得する。	外部コンテスト入賞に向け、美容技術の更なるスキルアップを図る。また、2年間学んできた技術・知識を活かし、美容師国家試験合格を目指す。
カリキュラム	演習美容実習 演習サロン実務 演習メイク 演習ネイル 演習着付け 演習ヘアアレンジ 講義衛生管理 講義保健 講義香粧品化学 講義文化論 講義美容技術理論 講義パーソナルカラー 講義社会人基礎講座	演習美容実習 演習サロン実務 演習メイク 演習ネイル 演習着付け 演習ヘアアレンジ 実習実務実習 選択演習トップスタイリスト（選択） 選択演習アイデザイナー（選択） 講義衛生管理 講義保健 講義香粧品化学 講義文化論 講義美容技術理論 講義パーソナルカラー	演習美容実習 演習サロン実務 実習実務実習 選択演習トップスタイリスト（選択） 選択演習アイデザイナー（選択） 演習ブライダル（専攻） 演習ヘアー・メイク（専攻） 講義衛生管理 講義保健 講義香粧品化学 講義文化論 講義美容技術理論 講義関係法規・制度 講義運営管理	演習美容実習 演習ブライダル（専攻） 演習ヘアー・メイク（専攻） 講義衛生管理 講義保健 講義香粧品化学 講義文化論 講義美容技術理論 講義関係法規・制度 講義運営管理
	入学前学習 入学式 新入生オリエンテーション 新入生研修 I・M・S研修 サービス接遇3級 山野流着装（初伝） シャンプー特別授業 国内研修 穴吹コンテスト 穴吹祭 夏休み スポーツ大会 1000本巻き J・Jコンテスト 冬休み 就職講演会 実務実習 穴吹コンテスト サロンワーク実習 春休み	サービス接遇3級 山野流着装（初伝） シャンプー特別授業 国内研修 穴吹コンテスト 穴吹祭 夏休み スポーツ大会 1000本巻き J・Jコンテスト 冬休み 就職講演会 実務実習 穴吹コンテスト サロンワーク実習 春休み	就職セミナー 実務実習 サロンワーク実習 国内研修 穴吹祭 学生技術大会（四国大会） 夏休み 穴吹コンテスト スポーツ大会 ジェルネイル検定初級 山野流着装（奥伝）	着付けコンテスト（全国大会） 1000本巻き J・Jコンテスト 冬休み 学生技術大会（全国大会） 穴吹コンテスト 卒業式 美容師国家試験

主な科目内容	
関係法規・制度	美容業における関係法規・制度の重要性と関わりについて知識と理解を深める。
衛生管理	公衆衛生や環境衛生、感染症に対する正しい知識や消毒方法、消毒薬の調整方法などの衛生管理技術を学習する。
保健	人体の構造及び皮膚や毛髪についての理解を深め、美容業務に必要な知識を身につけ、美容施術に活かす。
香粧品化学	美容師の業務を行う上で必要な香粧品の基礎知識について知識と理解を深める。
文化論	ヘアスタイルやメイク、ファッションなど美容業の歴史を知り、知識の幅を広げる。
運営管理	美容業における接客、経営戦略、マーケティング、経営管理の重要性と関わりを理解する。
美容技術理論	美容技術を習得するために、その裏付けとしてカットやパーマ、カラーやシャンプーなどの基礎理論を学習する。
美容実習	美容師国家試験課題を理解し、カットやワインディング、オールウェーブセッティングの技術を習得する。
サロン実務	シャンプーやブローなどの美容技術の基本手技の技術を学習し、サロンワークに対応できる技術を習得する。
メイク	メイクアップの基礎理論やスキんケア・メイクアップ技術を習得し、UTOWAメイクアップ技術検定の合格を目指す。
ネイル	ネイルの基礎理論とベーシックなケアなど、ネイルに関する専門的な知識を学び、ネイリスト技能検定3級の合格を目指す。
着付け	着付けに関する専門的な知識や作法を学び、山野流着装初伝・中伝の資格取得を目指す。
ヘアアレンジ	ヘアアレンジの基礎技術を学習し、オリジナルスタイルを作成し、実践的な技術を学習する。
実務実習	美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、希望サロンで実習することで、卒業後、即戦力となる人材を目指す。
パーソナルカラー	美容業界における色彩の役割を理解し、パーソナルカラー検定モジュール1の合格を目指す。
社会人基礎講座	社会人としてのマナーや対人技能、一般常識を養い、サービス接遇検定3級の合格を目指す。
トップスタイリスト（選択）	アップスタイルやフリーカットに関することを学び、イメージ通りのスタイル構成、手順、テクニックを身につけ、外部コンテストでの入賞を目指す。
アイデザイナー（選択）	まつ毛エクステンションに関する正しい知識や技術を学習し、ABEまつ毛エクステンション技術者認定試験の合格を目指す。
ブライダル（専攻）	ブライダルに関するヘアメイクの知識を学び、ブライダルスタイリストとして活躍できる技術を身につける。
ヘアー・メイク（専攻）	人物モデルでのヘアメイクの技術やカメラワークを学び、創造力や感性を磨き、フォトコンテストでの入賞を目指す。

ビューティコーディネーター学科 [2年制／女子]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

ビューティコーディネーター学科では、卒業認定・専門士授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

ビューティコーディネーター学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

ビューティコーディネーター学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

1 地域社会・国際社会に貢献できる専門性を身につけている

2 卒業に必要な資格取得要件を満たしていること

3 組織やグループの中でリーダーシップやフォロワーシップを発揮できること

4 豊かな人間性と「美」のスペシャリストとしてのホスピタリティをあわせ持つこと

目指す資格

●日本化粧品検定

●メイクセラピー検定

●ケサランバサランメイクアップ検定

●ネイリスト技能検定

●ジェルネイル技能検定

●ネイルサロン衛生管理士

●アロマセラピー検定

●パーソナルカラー検定

●サービス接遇検定

●山野流着装

●認定フェイシャルエステティシャン

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	基本知識と基本技術の導入。プロの教材に触れ、繰り返し基本を学習、練習することでメイク、ネイルを中心に確かな美容技術を身につける。	サロンワーク実習や実務実習を通じて現場、職場を体験することで将来像を明確にし、就職活動の第一歩を踏み出す。資格取得だけでなく、実践からの学びで技術力を磨く。	多数の外部コンテストに出場、出品することで技術力のレベルアップを図る。サロンワーク実習の運営に直接携わることでコミュニケーション力やチームワークを学ぶ。	2年間の集大成であるメイク、ネイル上位検定合格を目指す。これまで学んだ技術と知識を生かしサロンワーク実習を通じて就職後即戦力となる技術力・接客力を磨く。
カリキュラム	演習メイク実習Ⅰ・メイク実習Ⅱ	演習メイク実習Ⅰ・メイク実習Ⅱ	演習メイク実習Ⅰ・メイク実習Ⅱ	演習メイク実習Ⅰ・メイク実習Ⅱ
	講義メイクセラピー		講義メイクセラピー	
	演習ネイル実習Ⅰ・ネイル実習Ⅱ	演習ネイル実習Ⅰ・ネイル実習Ⅱ	演習ネイル実習Ⅰ・ネイル実習Ⅱ	演習ネイル実習Ⅰ・ネイル実習Ⅱ
	演習ジェルネイル実習	演習ジェルネイル実習	演習ジェルネイル実習	
	講義パーソナルカラー	講義パーソナルカラー	講義パーソナルカラー	
	講義化粧品学	講義化粧品学	講義化粧品学	
	講義皮膚科学	講義皮膚科学		
	講義エステティック理論	演習エステティック実習	演習エステティック実習	
	講義アロマセラピー	講義アロマセラピー		
	講義サロンワーク実習	実習サロンワーク実習	実習サロンワーク実習	
スケジュール	講義社会人基礎講座	講義社会人基礎講座		
	演習着付実習	演習着付実習	実習実務実習	

主な科目内容	
メイク実習Ⅰ・Ⅱ	ロールプレイを交えてスキンケアテクニック、メイクアップ技術の幅広い知識と技術を養うことで、美容部員としてのスキルを身につける。また、外部フォトコンテスト出品に向けた作品制作に伴うメイクアップ技術、ヘアアレンジ技術を学ぶ。
ネイル実習Ⅰ・Ⅱ	ネイル技術の基本であるネイルケアテクニックを始め、ネイルアート、スカルプチュアネイル、チップオーバーレイ等、ネイルに関する幅広い知識と技術を学び、ネイリストとしてサロンワークで通用するスキルを身につけ、ネイリスト技能検定試験1級合格を目指す。
着付実習	着付けに関する専門的な知識や作法を学び、山野流着装初伝・中伝の資格取得を目指す。
エステティック実習	エステティックに関するフェイシャルトリートメントとボディトリートメントの基礎知識を理解し、エステティックの基本技術を身につけ、認定フェイシャルエステティシャン合格を目指す。
メイクセラピー	メイクセラピー的心理学、カウンセリング概念を学び、クライアントのになりたい印象に伴ったメイクアップができる知識と技術を養い、メイクセラピー検定2級合格を目指す。
ジェルネイル実習	カラーリング、アート、グラデーション、フレンチ、イクステンション等、ジェルに関する幅広い知識と技術を習得し、ジェルネイル技能検定試験上級合格を目指す。
アロマセラピー	心と体に役立つアロマセラピーの正しい知識を身につけ、精油やアロマセラピーの利用法、身体への影響など幅広い知識とレシビを学び、アロマセラピー検定1級合格を目指す。
パーソナルカラー	美容業界で活用できる色彩、パーソナルカラーの技能と理論を学び、パーソナルカラー検定モジュール2合格を目指す。
皮膚科学	皮膚の働きについて理解し、美容部員やネイリストとしてお客様の肌状態に応じた肌解説やホームケアアドバイスができる皮膚知識を学ぶ。
エステティック理論	エステティック業務を実行するために必要とされる基本知識を養い、エステティックの全体像を理解することで、美容従事者としての基本的な心構えを学ぶ。
化粧品学	化粧品の内容成分や目的、皮膚への役割や化粧品にまつわる法律等について理解し、化粧品検定1級合格を目指す。美容従事者として化粧品の説明ができるレベルの知識を学ぶ。
サロンワーク実習	就職時に即戦力となるようプロとしてのメイク、ネイルの技術を養うだけでなく、接客マナーを含めた実践的なサロンワーク技術を学ぶ。
社会人基礎講座	社会人になるための人格形成と就職活動に必要な知識とスキルを身につける。社会人としてのマナー習得を含め、実務実習、就職活動に向けての事前準備を行う。
実務実習	美容業の基礎となる挨拶、接客マナーを職場を通じて実践することで、自らの将来を展望し、「働く意味」や「やりがい」「規律」「チームワーク」「マナー」を身につける。

トータルエステティック学科 [2年制／女子]

AP

入学者の
受け入れ
方針

アドミッション
ポリシー

トータルエステティック学科では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 エステティックに興味があり人間力の向上への意欲と、エステティックの技術と接客マナーを通じて社会に貢献したいと考える人
- 3 自立的な問題解決能力を有し、継続的に努力のできる人
- 4 規範やモラルを重んじ、何事においても真摯さ、正直さ、誠実さを備えた姿勢で取り組める人

CP

教育課程
編成
・
実施の方針

カリキュラム
ポリシー

トータルエステティック学科では、DPIに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- 1 美容の知識や技術を専門的に習得し、レベルの高いスキルを持ったエステティシャンを目指し、在学中に日本エステティック協会 認定上級エステティシャン試験の合格を目指し、メイク、ネイルなど、トータルケアのできる国際レベルのエステティシャンを育成する
- 2 外部連携施設での実習を通して学生は学内における自らの学びを確認し評価するとともに、実習で得た課題を実習後の学びにつなげていく
- 3 現場で働くエステティシャンの姿を通して職業人としての自らの将来像を具体化させるとともに、変化する社会に対応して自ら学び続ける姿勢を養う

DP

目指す
人材像

ディプロマ
ポリシー

トータルエステティック学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 地域社会・国際社会に貢献できる専門性を身につけている
- 2 卒業に必要な資格取得要件を満たしていること、履修科目の出席率と成績評価要件を満たしていること
- 3 組織やグループの中でリーダーシップやフォローシップを発揮できること
- 4 豊かな人間性と「美」のスペシャリストとしてのホスピタリティをあわせ持つこと

目指す資格

- AJESTHE認定上級エステティシャン
- AJESTHE認定衛生管理者
- AEA認定エステティシャン
- アロマセラピー検定
- 日本化粧品検定
- メディカルハーブ検定
- ジェルネイル技能検定
- ネイリスト技能検定

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	ソワフンエステティック（フェイシャル・ボディ・脱毛・メイク・ネイル）に関する基本的な知識と技術を習得する。また接客マナーを学びホスピタリティマインドを身につける。		サロンで使用する機器や化粧品を用い継続したトリートメントを相モデルで実習。実際にヨガや運動を行いトレーニング法を学ぶ。サロン同様の実践型授業で即戦力を身につける。	
カリキュラム	実習 フェイシャルスキンケア	実習 フェイシャルスキンケア	実習 フェイシャルスキンケア	実習 フェイシャルスキンケア
	実習 メイク実習	実習 メイク実習	実習 フェイシャルセラピー	実習 フェイシャルセラピー
	実習 ネイル実習	実習 ネイル実習/ジェルネイル実習	実習 ネイル実習/ジェルネイル実習	
	実習 ダイエットボディ	実習 ダイエットボディ	実習 ダイエットボディ	実習 ダイエットボディ
		実習 脱毛	実習 脱毛	実習 脱毛
			実習 リラクゼーションボディ	実習 リラクゼーションボディ
	講義 アロマセラピー	講義 アロマセラピー	実習 フィットセラピー	講義 アロマセラピー
	講義 カウンセリング	講義 カウンセリング	講義 カウンセリング	講義 美容技術理論
	講義 皮膚科学	講義 皮膚科学	講義 皮膚科学	
		講義 化粧品学	講義 化粧品学	講義 化粧品学
スケジュール	講義 大脳解剖生理学	講義 大脳解剖生理学	講義 大脳解剖生理学	
		講義 運動生理学		
		実習 運動トレーニング実習	実習 運動トレーニング実習	
	講義 栄養学	講義 栄養学		
	講義 エステティック理論	講義 エステティック理論	講義 エステティック理論	
	講義 社会人基礎講座	講義 サロン経営学		実習 接客マナー
		実習 サロンワーク実習	実習 サロンワーク実習	実習 サロンワーク実習
		実習 実務実習		
スケジュール				

主な科目内容	
フェイシャルスキンケア	肌分析やディープクレンジング・電気機器・マッサージ・マスクなど、幅広いフェイシャル技術と知識を習得し、AJESTHE認定上級エステティシャン試験合格を目指す。
フェイシャルセラピー	最新機器や応用パックを学びフェイシャルケアのコース（メニュー）が組立てられる力を身につける。アンチエイジングについて理解し施術ができる接客力を養う。
ダイエットボディ	ボディ分析やトリートメント・運動指導を含むホームケアアドバイスができるボディ知識と技術を習得し、AJESTHE認定上級エステティシャン試験合格を目指す。
リラクゼーションボディ	オリジナルマッサージを組立て全身マッサージができる技術テクニックと体力を身につける。ボディケアのコース（メニュー）が組立てられる力を養う。
脱毛	脱毛理論を理解し幅広い脱毛法を学ぶ。ワックス脱毛で下肢・上肢・腋が時間内に正確に行える力を身につけ、AJESTHE認定上級エステティシャン試験合格を目指す。
フィットセラピー	メディカルハーブについての定義と作用を学び、メディカルハーブ検定合格を目指す。日常的に健康と美容に役立てる知識と活用法を習得する。
アロマセラピー	アロマセラピーの知識を学びアロマセラピー検定1級（アドバイザー）合格を目指す。精油がもつ効用や注意事項を理解し、安全に使用できる利用法を習得する。
リフレクソロジー	足の反射区を学び、足裏マッサージの基礎知識と技術を学習する。
世界のエステ美容学	ロミロミやホットストーンなど、世界各国のマッサージ技術を学ぶ。インバウンド美容について理解し、外国人向けのおもてなしを学ぶ。
カウンセリング	カルテを作成しロールプレイしながら実習。お客様の肌（身体）の状態を見極める力、悩みや不安、要望などを聞き出す会話を磨き、適切なアドバイスができる能力を養う。
運動トレーニング実習	運動による心や身体に与える効果・影響・方法などを理解し、実際に、ヨガ・ウォーキング・姿勢・筋肉トレーニングなどの実習を取り入れ学習する。
ネイル実習	ネイルの理論とベーシックなケアなど、エステティシャンとして必要な知識や技術を学ぶ。ネイリスト技能検定2級合格を目指す。
ジェルネイル実習	基本的なカラーリングからグラデーション、フレンチ技術を習得し、ジェルネイル技能検定中級合格を目指す。
メイク実習	メイクアップの基礎理論やスキンケア・メイクアップ技術を習得し、UTOWAメイクアップ技術検定の合格を目指す。
皮膚科学	皮膚の構造と役割、肌の性質とケア方法、肌に関連する病気について学ぶ。肌分析力を高める。
大脳解剖生理学	生命活動の基本原理解であるホメオスタシスについて理解する。細胞や組織・骨格・筋肉・脳など人体について学ぶ。
運動生理学	筋肉や骨格の動き・体の活動について理解する。ダイエットに関する運動プログラムを組立てられる力を養う。
化粧品学	基礎化粧品・メイクアップ化粧品・ボディケア化粧品・芳香化粧品など、役割や種類、肌質に対応した使用方法を学ぶ。化粧品に関する知識を高め化粧品検定1級合格を目指す。
栄養学	美と健康に必要な栄養について理解を深める。栄養素の知識を土台に、食生活・摂取エネルギー量・肥満のメカニズム・具体的な調理法などを学ぶ。
エステティック理論	エステティックの歴史を背景に、世界的美容技術や情報・資格などについて理解を深める。エステティックに関連した機器学・関連法規・衛生管理・救急法を学ぶ。
サロン経営学	サロン業務や運営に必要な経営管理・接客法・マーケティングなどの知識や手法を学ぶ。サロンの立地条件、予算など、経営に必要な知識を習得する。
接客マナー	接客に必要な知識を高め、笑顔・挨拶・お辞儀・振る舞いなどを身につける。在庫管理・会計事務・クレーム対応などを学び、学内サロンで実践トレーニングを行う。
美容技術理論	フェイシャル・ボディ・脱毛・メイク・ネイルなどの技術と理論を習得。目的や種類・特徴・技術上の注意点について理解し、実践的な口頭試問法を学ぶ。
社会人基礎講座	社会人として必要な接客への知識、対応動作等を学ぶ。サービス接客検定3級合格を目指す。
サロンワーク実習・実務実習	実際に一般のお客様を接客することで、現場を経験しないとわからない接客マナーや会話術を学ぶ。社会に出てからすぐに役立つ即戦力を身につける。

ブライダル学科 [2年制／男女]

AP

入学者の
受け入れ
方針

アドミッション
ポリシー

ブライダル学科では、卒業認定・専門士授与の方針（DP）および教育課程編成・実施の方針（CP）に定める教育を受けるために必要な、各学校各学科で掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人

2 ブライダル業界の様々な職種に興味を持ち、幅広い知識と技能を習得したい人

3 仲間と協力して実践的なイベントの企画・運営を行う意欲のある人

4 地元香川県を中心に、ブライダル業界全体の発展に貢献したい人

CP

教育課程
編成
・
実施の方針

カリキュラム
ポリシー

ブライダル学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、各学科において必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1 大部分の授業を業界の第一線で活躍しているプロや、国家検定保有者が担当する

2 インターンシップや実践イベントを通じ多様な経験をブライダルの現場で積む機会を設定する

3 本物の結婚式をプロデュースする中で、お客様との関わりやブライダル企業とのやりとりで社会性を身につける機会を設定する

4 業界必須の国家検定や社会の中で活かせるビジネス系・サービス系検定が取得可能な授業を構成する

DP

目指す
人材像

ディプロマ
ポリシー

ブライダル学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たすうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

1 地域社会・国際社会に貢献できるホスピタリティ精神を身につけている

2 ブライダル業界で必要な知識・実務を中心とする幅広い専門知識と実践的応用能力を身につけている

3 協調性や忍耐力、おもてなしの心の大切さ、ニーズを汲み取るコミュニケーション能力を身につけ、人生の大切なセレモニーを企画・提案できる

4 国家検定をはじめ、各種検定を有し、即戦力となることができる

目指す資格	
●ブライダルコーディネイト技能検定3級〔国家検定〕	
●HRS検定3級〔国家検定〕	
●ドレスコーディネーター検定	
●アソシエイトブライダルコーディネーター検定	
●アシスタントブライダルプランナー検定	
●マナー・プロトコール検定	
●ビジネス文書技能検定	●パーソナルカラー検定
●ホテル実務技能検定	

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	2年生と協力してブライダルショーの準備をし、様々なブライダル職種を体験する。就職に役立つ検定の取得。ヘアメイク、着付けなどトータルコーディネート力を身につける。	ブライダル・ホテル業界で、インターンシップを行い、学んだことを実践で活かし、対応力を身につける。また、主要のブライダル系検定の取得によって、さらに知識を高める。	メインとなってブライダルショーをすることで、リーダーシップの能力を身につける。ロープレや応用の授業により、即戦力となれる技術を身につける。	2年間学んだことをチェリッシュウエディングでお客様との打ち合わせや企業とのやりとりにて実践する。結婚式を成功させることで、仕事のやりがいとともに本物の感動を得る。
カリキュラム	講義 ブライダル知識Ⅰ	講義 ブライダル知識Ⅱ	演習 ブライダル実務Ⅰ	講義 ブライダル実務Ⅱ
	演習 ブライダルコスチュームⅠ	講義 ブライダルコスチュームⅡ	演習 ブライダルコスチューム応用	
	演習 ホテル概論	演習 ホテル概論	講義 レストランサービス技法Ⅰ	演習 レストランサービス技法Ⅱ
	演習 ブライダルヘアメイク	演習 ブライダルヘアメイク	演習 ブライダルヘアメイク	演習 ブライダルヘアメイク
	演習 着付	演習 着付	演習 着付	
	演習 ブライダルプランニング		演習 ブライダルプランニング	演習 ブライダル研究
	講義 ビジネス実務			
	演習 パソコン実習	演習 パソコン実習	演習 パソコン実習	
		演習 写真知識		
	講義 社会人基礎講座	講義 社会人基礎講座	講義 社会人基礎講座	講義 ブライダル業界知識
スケジュール		演習 テーブルコーディネート	演習 フラワーアレンジメント	演習 フラワーアレンジメント
		実習 実務実習	講義 パーソナルカラー	講義 パーソナルカラー
				ブライダルコーディネイト技能検定

主な科目内容	
ブライダル知識Ⅰ・Ⅱ	ブライダル産業の歴史、学式・披露宴の基礎知識を学ぶ。ロープレを交えながら、説明力や言葉遣いを学ぶ。また、ブライダル系の検定取得。
ブライダルコスチュームⅠ・Ⅱ・応用	婚礼衣装全般の知識や、小物の扱い方、貸衣装業の仕事について学ぶ。ドレスの試着の技術や縫製の知識を得る。また、コスチューム検定の取得を目指す。
ホテル概論	ホテル全般の運営や組織について学ぶ。また、売上比率の大きい宿泊部門、料飲部門、宴会部門の各セクションの知識を深め、サービススタッフとしての技術を習得し、ホテル系の検定取得。
ブライダルヘアメイク	ブライダルシーンにおける基本のメイキャップの習得やアレンジ方を身につける。ベース作り、ポイントメイク、ブロッキング、ヘアアレンジができるようになる。
着付	きものや小物の名称や扱いなど、基礎知識を学び、浴衣から訪問着まで自装・他装で着物の着付けや帯結びができるようになる。また山野流着装初伝・中伝の資格取得を目指す。
ブライダルプランニング	ブライダルショーを通して様々な仕事を疑似体験し、ブライダルに関わる仕事を理解する。各グループごとに協力し合い個々に責任を持ち、達成感を得られるようにする。
ビジネス実務	社会人として必要なマナー、電話応対、ビジネス文書作成の知識を身につけ社会の一員として自信を持って活躍できるようにする。ビジネス実務マナー、ビジネス文書検定、マナー・プロトコール検定3級の取得を目指す。
パソコン実習	オフィスソフトの基本的な使い方、ビジネスで役立つ機能をマスターする。Wordでチラシの作成や、Excelで関数・グラフの機能をマスターし、データ処理ができるようになる。動画ソフトの使い方を学び、ブライダルの動画を作成できるようにする。
社会人基礎講座	インターンシップの準備や就職に対する意識付けを行い、会社訪問から就職試験までの一連のノウハウを習得する。また、受験する際の対策や内定後の企業が求める人材に近づけるよう人間力を磨く。
テーブルコーディネート	ブライダルに必要なアイテムを理解し、テーブルコーディネートをする。テーマに合わせたアイテムを制作・提案ができるようになる。
実務実習	ブライダル式場で、料飲サービスの技術、マーケティングなどを現場のプロから学ぶ。結婚式当日の運営に携わり、より詳しく学ぶ。
ブライダル実務Ⅰ・Ⅱ	ブライダルコーディネーターが行う一連の業務を理解する。新規接客、成約接客の内容を詳しく学び、ロープレを通じ、接客方法を身につける。国家検定ブライダルコーディネイト技能検定の取得を目指す。
ブライダル業界知識	旅行、エステ、ネイル、ジュエリーなどブライダル付帯部門についての知識や実技を学び、理解する。業界のプロの方の講義や、店舗見学でより詳しく学ぶ。
フラワーアレンジメント	フラワーデザインの基礎知識を実践で学びながら、ブライダルの会場装花やブーケなどの制作によって技術を身につける。
写真知識	カメラ機材の使用方法的基礎知識を学ぶ。また、ブライダルフォトの撮影・編集のスキルをプロのカメラマンから学び身につける。
ブライダル研究	実際の結婚式運営にあたり、お客様との打合せから顧客のニーズに合ったサービスを提供すること、責任の重さを実感し、一から結婚式を創り上げていく苦労と感動を体感する。
パーソナルカラー	ブライダル業界で活躍できる色彩、パーソナルカラーの技能と理論を学び、パーソナルカラー検定モジュール1合格を目指す。
レストランサービス技法Ⅰ・Ⅱ	レストランサービス全般の知識や実技を身につける。国家検定のホテルレストランサービス技能検定取得を目指す。

自動車整備学科(2年制)・自動車整備学科(3年制) [2年制・3年制／男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

自動車整備学科では、卒業認定・専門士授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1

穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人

2

ものづくりなどに興味を持ち、チャレンジ精神があり、自分の目標達成のための過程を楽しめる人

3

自動車整備士になるという強い意志を持ち、自動車整備業界で活躍する夢を持っている人

CP

教育課程編成実施の方針

カリキュラムポリシー

自動車整備学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1

自動車整備士として活躍するための幅広い知識・専門性・視野を身に付ける授業展開を実施している

2

チーム体制を構築し、自動車整備士としての実践力・協調性・コミュニケーション力向上を養うことを目的としている

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

自動車整備学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記的能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

1

地域社会・国際社会に貢献できる自動車整備士としての力を身につけている

2

リーダーシップを持った自動車整備士として常に専門知識と技術、実践力を磨き続けられ、自動車業界で活躍できる力を身につけている

3

コミュニケーション力を持ち顧客が求めているもの以上の感動・満足度を与えられる力を身につけている

目指す資格

●二級ガソリン自動車整備士〔国家資格〕

●二級ジーゼル自動車整備士〔国家資格〕

●二級二輪自動車整備士〔国家資格〕

●低圧電気取扱者特別教育講習

●損害保険募集人資格

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	自動車の基礎を学ぶことで、構造・機能を理解する。実習では、基本的な作業方法、工具使用方法、計測方法などを学び基礎をマスターする。	基礎を学ぶことで構造・機能を理解、各種装置について理解する。実習では、基礎の復習、各種の整備作業ができるようになる。	基礎を理解した上で、応用力を身につける。実習では、実際の自動車を使用しての作業内容を学び理解度を上げる。	自動車整備に関する知識を向上させ、資格取得にむけてステップアップを図る。点検・整備・検査・修理等の作業を行えるようになる。
カリキュラム	講義自動車工学概論 講義エンジン構造Ⅰ 講義シャシ構造Ⅰ 講義電装品構造Ⅰ 講義自動車整備工具・機器 講義自動車整備Ⅰ	講義自動車工学概論 講義エンジン構造Ⅰ 講義シャシ構造Ⅰ 講義電装品構造Ⅰ 自動車整備Ⅰ、Ⅲ ビジネス実務	講義エンジン構造Ⅱ 講義シャシ構造Ⅱ 講義電装品構造Ⅱ 講義自動車の故障と探究 自動車整備Ⅱ、Ⅳ 法令	講義シャシ構造Ⅱ 講義電装品構造Ⅱ 講義自動車の故障と探究 自動車整備Ⅱ、Ⅳ 自動車検査 検定対策
	実習エンジン整備実習Ⅰ 実習シャシ整備実習Ⅰ 実習電装整備実習Ⅰ 実習故障探究実習Ⅰ 実習工作実習 実習基本計測実習	実習エンジン整備実習Ⅰ 実習シャシ整備実習Ⅰ 実習電装整備実習Ⅰ 実習故障探究実習Ⅰ 基本計測実習	実習エンジン整備実習Ⅱ 実習シャシ整備実習Ⅱ 実習電装整備実習Ⅱ 実習故障探究実習Ⅱ 実習自動車検査実習	実習エンジン整備実習Ⅱ 実習シャシ整備実習Ⅱ 実習電装整備実習Ⅱ 実習故障探究実習Ⅱ 実習自動車検査実習
スケジュール	※自動車整備学科(3年制)は、上記カリキュラムを3年間かけて、午前／午後の授業時間で受講します			
	入学前学習 入学式 新入生オリエンテーション 交通安全講習 穴吹祭 就職研修 夏休み インターンシップ スポーツ大会 企業説明会 冬休み 春休み 就職試験スタート ガス溶接技能講習		交通安全講習 低電圧講習 穴吹祭 夏休み スポーツ大会 損害保険募集人試験 中古車査定士講習・試験 自動車整備士国家試験 冬休み 卒業式	

主な科目内容	
自動車工学概論	自動車の構造・性能・力学・数学、材料、図面、燃料・潤滑剤など、自動車工学全般の基礎知識を習得する。
エンジン構造Ⅰ・Ⅱ	自動車の構造・性能(エンジン関係)に関する基礎知識を習得する。
シャシ構造Ⅰ・Ⅱ	自動車の構造・性能(シャシ関係)に関する基礎知識を習得する。
電装品構造Ⅰ・Ⅱ	自動車の構造・性能(電装関係)、電気・電子理論に関する基礎知識を習得する。
自動車整備工具・機器	自動車整備で使用する工具・機器類(整備作業機器、測定機器、検査機器など)を作業に合わせて選択し、使用方法を習得する。
自動車の故障と探究	自動車の故障現象を知り、原因探究、総合診断、環境保全、安全管理について学ぶ。
自動車整備Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	エンジン、シャシ、電装、故障原因探究、点検・整備に関する基礎知識を習得し、理解する。
法令	自動車に関する法令、保安基準等を把握し、良否判定できる知識を習得する。
自動車検査	車検制度・車検の流れ・自動車検査機器の使用方法を理解する。
ビジネス実務	自己分析、自己PRや履歴書作成の基本知識の習得ならびに就職活動全般に必要な業界知識、社会常識、基本知識を習得する。
検定対策	自動車整備士2級(ガソリン・ジーゼル)国家試験合格を目指す。
エンジン整備実習Ⅰ・Ⅱ	決められた時間内に正確、安全に、エンジン関係の分解・組立をし、構造・機能についての知識を深める。
シャシ整備実習Ⅰ・Ⅱ	決められた時間内に正確、安全に、シャシ関係の分解・組立をし、構造・機能についての知識を深める。
電装整備実習Ⅰ・Ⅱ	決められた時間内に正確、安全に、電装品の分解・組立をし、構造・機能についての知識を深める。
故障探究実習Ⅰ・Ⅱ	自動車(エンジン・シャシ・電装品等)の故障を系統的に診断する方法ならびに、故障診断機器の使用方法を理解し、測定値による適切な判断ができるよう学習する。
自動車検査実習	自動車検査作業に関わる、各部品の名称、構造、機能などを理解し、決められた時間内に正確、安全に分解、組立ができる人材を目指す。
工作実習	手仕上げ工作業による形態、質の変化を通じて金属材料の特性と、機械工作を通じて機械工具の取扱いを理解し、機械工具を正しく使用でき安全に作業できる人材を目指す。
基本計測実習	計測箇所にあった測定工具を正しく使用し、基礎から応用まで正確に数値を読み取る知識を習得する。

理学療法学科 [3年制／男女]

AP

入学者の
受け入れ
方針

アドミッション
ポリシー

理学療法学科では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 医学および理学療法の専門知識と技能を学ぶための基礎学力を身につけている人
- 3 疾病や障害を持つ人の気持ちに共感し、障害の予防および改善に取り組む意欲を持っている人
- 4 保健、医療、福祉に強い関心を持っている人

CP

教育課程
編成

実施の方針

カリキュラム
ポリシー

理学療法学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- 1 1年次には、基礎科目および専門基礎科目によって医療人のプロフェッショナルリズム、リハビリテーションおよび理学療法で問題を解決する思考の基礎を培う
- 2 2年次には、専門科目によって骨関節障害、神経障害、内部障害などに対する基本的理学療法の知識と技能を修得させる
- 3 3年次には、臨床実習で一連の理学療法を経験し、実践的な態度、知識、技能を育成する

DP

目指す
人材像

ディプロマ
ポリシー

理学療法学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 地域社会・国際社会に貢献できる理学療法士の知識と技能を身につけている
- 2 医療人としてのプロフェッショナルリズムとコミュニケーション能力を身につけている
- 3 臨床推論に基づいた基本的理学療法を提供するための基礎知識および基礎技能を身につけている
- 4 理学療法士国家試験に合格できる知識を身につけている

目指す資格

- 理学療法士 [国家資格]

	1 年 次		2 年 次		3 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	医療人ならびに理学療法士としてのプロフェッショナルリズムを身につける。 理学療法専門科目を学ぶための土台となる基礎科学、解剖学、生理学、運動学を身につける。	理学療法の概要を理解する。専門知識および技術を学ぶ際の土台となる臨床医学、バイオメカニクスを身につける。	疾患別理学療法治療学を学ぶ際の土台となる基礎理学療法学を身につける。 多様な障害に共通する義肢装具療法、物理療法、住環境整備を身につける。	疾患別理学療法 (骨関節疾患、神経疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、小児疾患、糖尿病、がんなど) の理論および技術を身につける。	総合臨床実習は診療参加型で行い、一連の実践的理学療法プロセス (情報収集と検査測定→臨床推論→臨床判断→理学療法の実施) を身につける。	
カリキュラム	講義 リハビリテーション医学概論	講義 理学療法概論	講義 保健医療福祉論	講義 整形外科疾患の理学療法Ⅰ 講義 整形外科疾患の理学療法Ⅱ 講義 整形外科疾患の理学療法Ⅲ 講義 中枢神経疾患の理学療法Ⅰ 講義 中枢神経疾患の理学療法Ⅱ 講義 内部障害の理学療法Ⅰ 講義 内部障害の理学療法Ⅱ 講義 内部障害の理学療法Ⅲ 講義 発達障害の理学療法	講義 理学療法管理学	
	講義 生化学	講義 リハビリテーション整形外科学	講義 基礎理学療法学Ⅰ	講義 整形外科疾患の理学療法Ⅳ 講義 中枢神経疾患の理学療法Ⅲ 講義 内部障害の理学療法Ⅳ 講義 発達障害の理学療法Ⅳ		
	講義 解剖運動学Ⅰ	講義 リハビリテーション神経学	講義 基礎理学療法学Ⅱ	講義 義肢装具学Ⅰ		
	講義 解剖生理学Ⅰ	講義 リハビリテーション内科学	講義 基礎理学療法学Ⅲ	講義 義肢装具学Ⅱ		
	実技 解剖運動学Ⅱ	講義 人間発達学	講義 基礎理学療法学Ⅳ	演習 理学療法研究論		
	講義 解剖生理学Ⅱ	講義 小児科学	講義 リハビリテーション診断学	実習 評価実習Ⅱ		
		実習 解剖学実習				
	講義 物理学	講義 人間工学	講義 運動療法学	実習 総合臨床実習Ⅱ		
	演習 情報科学		講義 日常生活活動学			
	講義 心理学	講義 精神医学	講義 義肢装具学Ⅱ			
スケジュール		講義 臨床心理学	演習 統計学			
		講義 一般臨床医学	講義 生活環境学Ⅰ	講義 生活環境学Ⅱ		
			講義 老年学	講義 地域理学療法学		
			講義 英語			
		実技 理学療法評価学Ⅰ	実技 理学療法評価学Ⅱ	実技 理学療法評価学Ⅲ		
			実習 評価実習Ⅰ	演習 動作分析セミナー		
		実習 見学実習	実習 人間育成学Ⅱ	実習 評価実習Ⅱ		
到達目標						
到達目標						

主な科目内容	
リハビリテーション医学概論	リハビリテーション医学の概要を理解し、これから学ぶ臨床医学や専門分野に対する意識を高める。
理学療法概論	理学療法の概要、歴史、役割、過程、モデル、職域、各病期における理学療法の意義や目的を学ぶ。
保健医療福祉論	社会保障制度 (医療保険、介護保険など)、関連法規、地域包括ケアシステム、施策の動向について学ぶ。
理学療法管理学	理学療法の実施とその対応、実施後の診療記録と書類管理、他職種との業務調整、カンファレンス、理学療法機器の保守点検・安全管理、労務管理などについて学ぶ。
解剖運動学Ⅰ・Ⅱ	骨・関節・靱帯・筋・腱の構造と機能、関節運動のメカニズム、体表面解剖および断層解剖、機能解剖学的触診技術を学ぶ。
解剖生理学Ⅰ・Ⅱ	神経 (末梢・中枢神経系) および内臓 (呼吸器・循環器・泌尿器・消化器など) の構造と機能、運動制御と運動学習について学ぶ。
リハビリテーション整形外科学	骨関節障害を引き起こす主な疾患 (変形性関節症、骨折、脱臼、靱帯損傷、関節リウマチ、スポーツ損傷など) の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
リハビリテーション神経学	中枢神経・末梢神経・筋の障害を引き起こす主な疾患 (脳血管疾患、神経筋疾患、外傷性脳損傷、脊髄損傷など) の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
リハビリテーション内科学	理学療法的主要な対象となる内部障害の原因疾患 (呼吸器疾患、循環器疾患、糖尿病、腎臓病、がんなど) の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
人間発達学	胎児期から老年期に至るまでの、身体的な変化及び精神的な発達とそれぞれの時期の特徴を学ぶ。発達スクリーニング検査、反射や反応について学ぶ。
小児科学	小児の障害を引き起こす主な疾患 (脳性麻痺、水頭症、二分脊椎、悪性腫瘍、遺伝子病、染色体異常、先天奇形など) の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
基礎理学療法学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	様々な疾病に共通する機能障害 (疼痛、筋緊張異常、関節可動域制限、筋力低下、創傷、靱帯損傷、骨折、運動麻痺、感覚異常など) の病態や修復過程を学ぶ。
整形外科疾患の理学療法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	骨関節疾患 (変形性関節症、骨折、脱臼、靱帯損傷、関節リウマチ、スポーツ損傷など) に対する理学療法の理論と方法を学ぶ。
中枢神経疾患の理学療法Ⅰ・Ⅱ	中枢神経・末梢神経・筋の障害 (脳血管疾患、神経筋疾患、外傷性脳損傷、脊髄損傷など) に対する理学療法の理論と方法を学ぶ。
内部障害の理学療法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	内部障害 (呼吸器疾患、循環器疾患、糖尿病、腎臓病、がんなど) に対する理学療法の理論と方法、病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
発達障害の理学療法	小児の障害を引き起こす主な疾患 (脳性麻痺、水頭症、二分脊椎、悪性腫瘍、遺伝子病、染色体異常、先天奇形など) の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
物理学	運動療法および物理療法に必要な力学 (速度、加速度、力、モーメント、運動エネルギー、圧力、熱エネルギー、電磁波) について学ぶ。
人間工学	基本動作 (寝返り、起き上がり、立ち上がり、歩行) のメカニズムを学ぶ。
運動療法学	関節可動域制限、筋力低下、持久力低下、姿勢異常、バランス・平衡機能低下などに対する運動療法の理論と方法を学ぶ。
日常生活活動学	日常生活活動 (手段的日常生活活動を含む) の概念、範囲、評価方法 (Barthel index、FIMなど)、基本動作及びセルフケアの練習方法を学ぶ。
義肢装具学Ⅰ・Ⅱ	義肢装具・福祉用具・車椅子などの種類、適応、適合性の確認、調整の方法について学ぶ。
情報科学	情報の意味および価値を理解するとともに、情報をIT (Information Technology) を使って有効な形態に加工し活用する技術を学ぶ。
統計学	基本統計量の計算、確率変数、各種分布、各種の統計量の推定・検定の意味を学ぶ。
理学療法研究論	EBM、EBPT、エビデンスレベル、診療ガイドライン、研究倫理、研究方法 (研究疑問・研究仮説・研究デザイン) などについて学ぶ。
見学実習～総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ	診療参加型臨床実習により、対象者との関係性、多職種との関係性、理学療法プロセスを学び、理学療法評価、リスク管理、理学療法治療技術を実践する。

作業療法学科 [3年制／男女]

AP

入学者の
受け入れ
方針

アドミッション
ポリシー

作業療法学科では、卒業認定・専門士授与の方針（DP）および教育課程編成・実施の方針（CP）に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 作業療法を修得するために、高等学校の教育内容を幅広く学修している人
- 3 自分の考えを伝えるためのコミュニケーション力・表現力を有している人
- 4 保健医療福祉業界の専門職業人として社会に貢献する意欲のある人

CP

教育課程
編成・
実施の方針

カリキュラム
ポリシー

作業療法学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- 1 1年次では、基礎分野科目と基礎医学・臨床医学の専門基礎分野科目を学び、基礎的知識、技能を身につける
- 2 2年次では、各専門分野について、段階的な講義・演習・実習の教育カリキュラムを通して専門知識と技能を身につけ、課題分析力を培う
- 3 3年次では、医療福祉機関において臨床実習を行い、これまで習得した知識と技能の実践的活用方法と情熱をもって地域貢献できる使命感と探究心を育成する

DP

目指す
人材像

ディプロマ
ポリシー

作業療法学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 地域社会・国際社会に貢献できる作業療法士の知識と技能を身につけている
- 2 対象者との信頼関係を築き、医療チームの一員として協同できるコミュニケーション能力を身につけている
- 3 対象者が抱える問題解決を意欲的に取り組む姿勢を身につけている
- 4 医療人としてのプロフェッショナリズムを身につけている

目指す資格

- 作業療法士 [国家資格]

1 年 次		2 年 次		3 年 次					
<前期>		<前期>		<前期>					
<後期>		<後期>		<後期>					
基礎分野科目と基礎医学の専門基礎分野科目を学び、基礎的知識、技能を身につける。		身体障害や精神障害など各専門分野における専門知識と技能を身につける。		医療福祉機関における臨床実習を通じて、これまで習得した知識と技能の実践的活用方法を身につける。					
基礎分野科目と基礎医学および臨床医学の専門基礎分野科目を学び、基礎的知識、技能を身につける。		各専門分野における専門知識と技能を身につけ、課題分析力を培う。		保健医療福祉の実際を学び、情熱をもって地域貢献できる保健医療福祉への使命感と探究心を身につける。					
講義 論理学 演習 情報科学 演習 健康科学 演習 コミュニケーション論演習Ⅰ 講義 社会学 講義 心理学 講義 人間発達学 講義 人間工学 講義 上肢解剖運動学Ⅰ 講義 上肢解剖運動学Ⅱ 講義 下肢体幹解剖運動学 講義 内臓学 講義 運動生理学Ⅰ 講義 運動生理学Ⅱ 講義 リハビリテーション医学概論 講義 作業療法概論 実習 見学実習Ⅰ		講義 英語 講義 健康管理学 講義 臨床心理学 講義 精神医学 講義 精神障害作業療法学概論 講義 生活行為学Ⅰ 演習 解剖運動学演習 実習 解剖学実習 講義 整形外科Ⅰ 講義 内科学 講義 一般臨床医学Ⅰ 講義 一般臨床医学Ⅱ 講義 運動生理学Ⅲ 講義 神経病学Ⅰ 演習 運動生理学演習 講義 基礎作業学 講義 作業療法評価学概論 実習 見学実習Ⅱ		講義 地域・国際コミュニティ論 演習 コミュニケーション論演習Ⅱ 講義 保健医療福祉連携論 講義 精神障害作業療法学Ⅰ 講義 発達障害作業療法学Ⅰ 講義 生活行為学Ⅱ 講義 整形外科Ⅱ 講義 運動器作業療法評価学 講義 運動器疾患作業療法学Ⅰ 講義 義肢学 講義 老年学 講義 神経病学Ⅱ 講義 中枢神経疾患作業療法学Ⅰ 講義 神経筋作業療法評価学 講義 作業療法管理学Ⅰ 実習 基礎作業学実習Ⅰ		講義 地域作業療法学 講義 就労支援技術論 講義 精神障害作業療法学Ⅱ 講義 発達障害作業療法学Ⅱ 講義 生活行為向上マネジメント学 講義 住環境整備論 講義 福祉用具学 講義 運動器疾患作業療法学Ⅱ 実習 装具学実習 講義 高齢期作業療法学 講義 中枢神経疾患作業療法学Ⅱ 講義 作業療法理論 講義 作業療法管理学Ⅱ 実習 基礎作業学実習Ⅱ 演習 作業療法評価学演習Ⅰ・Ⅱ 実習 評価実習		講義 作業療法総合論 実習 総合臨床実習Ⅰ 実習 総合臨床実習Ⅱ	
入学前学習 入学式 穴吹祭 国際交流会 見学実習Ⅰ 夏休み スポーツ大会 学生親睦会 冬休み 見学実習Ⅱ 医療系海外研修（※希望者） 春休み		国際交流会 穴吹祭 夏休み スポーツ大会 評価実習 学生親睦会 冬休み 就職講演会 医療系海外研修（※希望者） 春休み		就職ガイダンス 総合臨床実習Ⅰ 穴吹祭 スポーツ大会 総合臨床実習Ⅱ 国家試験対策 学生親睦会 冬休み 医療系海外研修（※希望者） 卒業式		作業療法士 国家試験			
4月7月8月9月12月2月3月		7月8月9月11月12月2月3月		4月5月7月9月11月12月2月3月					

主な科目内容	
心理学	こころのしくみと行動を科学的な方法で探求し、作業療法を展開するために学ぶ。
論理学	授業や実習で必要な国語力の土台である読解力、文章作成能力を学ぶ。
社会学	家族、コミュニティなどの集団、組織および社会構造やその変動について学ぶ。
人間工学	人と環境、作業との関係性を学び、住環境整備論、福祉用具学につなげる。
健康科学	健康とは何か、ロコモティブシンドロームやサルコペニアについて学び、その防止に向けた体操を実践する。
上肢解剖運動学Ⅰ・Ⅱ	人体の構造と骨の働きや関節の基本構造・筋・神経・血管など総論を学び、上肢帯と手指の運動についての理解を深める。
運動生理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	神経（中枢、末梢）・筋・感覚・循環（血液と心臓）・呼吸・代謝・内分泌などの生理を学び、相関性を理解する。
人間発達学	発達の原則、発達理論、胎生期～老年期の発達（身体的、精神的発達）ADL、遊びの発達等について学ぶ。
一般臨床医学Ⅰ・Ⅱ	救命救急医療をはじめ医学一般の代表的な疾患について、その概要・症状および治療（薬物療法や栄養療法など）方法について習得する。
神経病学Ⅰ・Ⅱ	神経変性疾患や脱髄性疾患など、中枢および末梢神経疾患の病因・臨床症状・治療などについて学ぶ。
精神医学	精神症状や統合失調症、気分障害などの疾患について、その特徴的な症状や治療法について学ぶ。
健康管理学	健康の概念を理解し、作業療法士が対象者の健康増進、疾病の予防に関わる必要性を理解する。
保健医療福祉連携論	各領域における機関の役割と領域間での連携および地域包括ケアシステムについて学ぶ。
地域・国際コミュニティ論	コミュニティセンターの活動を担当者から話を聞いたり、各国のOTの状況等について調べ、地域や世界におけるOTの活躍を学ぶ。
作業療法概論	作業について、作業療法の領域、倫理、多職種連携、作業療法の目的について学ぶ。
作業療法理論	作業療法の歴史・理論概要、作業科学、人間作業モデルやカナダモデル、作業療法介入プロセスモデルなどの作業療法理論について学ぶ。
作業療法管理学Ⅰ・Ⅱ	作業療法業務に必要な物品管理・スケジュール管理・診療報酬・関係法規および研究法・教育法について学ぶ。
運動器作業療法評価学	筋力、上肢機能などの検査・測定について学習し、ICFからの問題点を抽出し、目標設定ができるようにする。
中枢神経疾患作業療法学Ⅰ・Ⅱ	脳血管障害や脊髄損傷など中枢神経疾患対象者の、急性期・回復期・生活期における関わりを学ぶ。
発達障害作業療法学Ⅰ・Ⅱ	小児の正常発達について学び、脳性麻痺や自閉スペクトラム症などの発達障害の作業療法について、障害特性・評価・アプローチ方法を学ぶ。
精神障害作業療法学Ⅰ・Ⅱ	統合失調症をはじめ、気分障害・パーソナリティ障害・神経症障害などの精神障害の作業療法について、障害特性・評価・アプローチの方法を学ぶ。
高齢期作業療法学	高齢者の動向、制度の変遷、高齢期における作業療法実践、認知症、高齢期の終末期について学ぶ。
生活行為学Ⅰ・Ⅱ	基本動作の見方、日常生活活動の基本的考え方などを学び、各生活行為の特徴を観察・分析して、その改善に向けた指導法について学ぶ。
住環境整備論	バリアフリーやユニバーサルデザインおよび住宅改修について学ぶ。
福祉用具学	福祉用具全般（種類や使用方法、適応やリスク管理など）について学び、自助具を製作する。

こども保育学科 [2年制／男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

こども保育学科では、卒業認定・専門士授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1

穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人

2

保育を学ぶための基礎的な学力を身につけている人

3

協調性、主体性、素直に聞く態度、目標を達成しようとする態度を身につけている人

4

子どもに対し愛情深く、高い志を持って社会に貢献する意欲を持つ人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

こども保育学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1

専門的な知識と技術の習得を図るため実践のカリキュラムを構成する

2

「学習の習慣」を身につけ、「自己効力感」を育て、「成長を実感」できる体験を提供する

3

保育者としての使命感や責任、愛情について学べる場を提供する

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

こども保育学科では、履修課程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記的能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

1

地域社会・国際社会に貢献できる保育技術を身につけている

2

子どもの命と成長を守る高度な専門性と広い基礎知識、地域を支え、家族を支える幅広い視野を身につけている

3

子どもに寄り添い家族に温かく接する心、感謝の気持ちと笑顔、豊かな対話により周囲と協力する態度を身につけている

4

専門知識と観察力を背景とした多彩な保育を身につけている

目指す資格

● 保育士 [国家資格]

● 幼稚園教諭2種免許 [国家資格]

● 社会福祉主事 (任用資格)

		1 年 次		2 年 次	
		< 前期 >		< 前期 >	
		< 後期 >		< 後期 >	
到達目標		保育・教育の本質を理解する。 保育の内容について基礎的な技術を身につける。		特別な配慮が必要な幼児への理解と支援方法を学ぶ。子育て支援からみる保護者との関わり方を理解する。教育・保育実習を通して、現場で通用する保育技術を学ぶ。	
カリキュラム	一般教養科目	日本国憲法 生涯スポーツ 健康科学 英会話 I 情報処理入門 I	日本国憲法 生涯スポーツ 社会人基礎講座 I	社会人基礎講座 II	社会人基礎講座 II 情報処理入門 II
	保育の本質・目的に関する科目	社会福祉 社会的養護 I	教育原理 保育者論	保育原理 子ども家庭福祉 子ども家庭支援論	
	保育の対象の理解に関する科目	幼児の心理学	子どもの理解と援助 こども学概論	保育の心理学 精神保健 子どもの保健 子どもの食と栄養	保育の心理学 子ども家庭支援の心理学 青年心理学 子どもの保健 こどもと文学
	保育の内容・方法に関する科目	保育課程総論 保育内容総論 健康（指導法） 造形表現（指導法） 音楽表現（指導法） 言葉（指導法） 幼児と人間関係 人間関係（指導法） 幼児と環境 環境（指導法） 劇あそび（指導法）	保育課程総論 乳児保育 I 造形表現（指導法） 幼児と音楽表現 幼児と言葉	社会的養護 II 子育て支援 幼児への特別な支援 乳児保育 II 幼児と健康 幼児と造形表現 音楽表現技術	障害児保育 子どもの健康と安全 健康 II
	教職に関する科目 その他	教育方法論 保育演習 I	保育演習 I	教育相談 保育演習 II	卒業研究
スケジュール	保育・教育実習	保育実習事前事後指導 I	保育実習 I（保育所） 保育事前事後指導 I 保育実習 I（施設） 教育実習事前事後指導 I	保育実習事前事後指導 II 保育実習事前事後指導 III 教育実習事前事後指導 II 教育実習 I・II	保育実習 II（保育所）（選択） 保育実習 III（施設）（選択） 保育・教職実践演習
		入学前学習 入学式 オリエンテーション 穴吹祭 夏休み スポーツ大会 冬休み 保育実習 I（保育所） 保育実習 I（施設） 卒業制作発表会 春休み	教育実習（1回目） 教育実習（2回目） 就職研修 穴吹祭 夏休み スポーツ大会 冬休み 保育実習 II または III 保育士資格申請 幼稚園教諭資格申請 卒業制作展 卒業制作発表会 卒業式		

主な科目内容	
情報処理入門 I・II	パソコンの仕組みや歴史など基本的なことを学習する。また、ワープロソフトの Word や表計算の Excel などを用いて学習することにより、就職現場において効率的な業務を行なえるようになる。
社会人基礎講座 I・II	働くとはどのようなことなのかをベースにライフサイクルと仕事について考えていく。また、社会人としての一般常識を中心に授業を行う。
子ども家庭福祉	現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷を理解した上で、子どもの人権擁護・子ども家庭福祉の制度と実施体験を学ぶ。
保育者論	保育者の役割・職務内容と倫理について理解する。保育者の連携・協働について学び、保育者の資質向上とキャリア形成について学ぶ。
保育の心理学	保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について学び、心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。
子どもの食と栄養	健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を習得し、子どもの発育・発達と食生活の関連について理解する。
幼児と音楽表現	和音感、リズム感などピアノの力をつける。その上で、子どもの経験や様々な表現活動と音楽表現を結びつける遊びの展開などにも視点を向けていく。
幼児と健康	子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と、保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。
幼児と人間関係	乳幼児期の発達と領域「人間関係」を理解する。子どもと保育者の関わり、遊びの中の人との関わり、生活を通して育つ人との関わりを学ぶ。
幼児と環境	乳幼児期の発達と領域「環境」を理解する。子どもを取り巻く環境の変化を理解し、子どもの発達と環境の関係性について学ぶ。
幼児と言葉	子どもが生活の中で、経験したことや考えたことなど、自らが自分なりのことばで表現し、相手の話することばを聞こうとする意欲や態度を育て、ことばに対する感覚やことばで表現する力を養う。また、絵本や紙芝居の読み聞かせなど実践的な学習をする。
幼児への特別な支援	障がい児、その他の特別な配慮を要する子どもについて、保育における計画の作成や援助の具体的な方法と、家庭への支援や関係機関との連携・協働について理解する。
青年心理学	青年期における、発達の特徴、身体発達、知的発達、自己形成、人間関係の発達、社会的発達、青年と文化、精神病理現象と、青年期への心理的援助等について学ぶ。
保育実習 I・II	保育現場で生かせる保育者としての専門的な技術(手遊び・歌・絵本・おりがみ・あやとり等)を習得する。また、保育園や幼稚園で実践的な保育を経験し、保育者としての技術と子どもへの言葉かけや立ち居振る舞いなどを学ぶ。
保育・教職実践演習	学習を通じて身につけた「保育者に求められる知識・技術・資質等」を学生自身で振り返り確認する。また、実習等を通して保育の課題等を分析し、保育士、保育現場、地域、社会に求められることは何か、多様な視点から考察する力を習得する。
保育実習 I (保育所)	保育所の役割や機能を具体的に理解するとともに、観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。
保育実習 I (施設)	児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解するとともに、観察や子ども・利用児(者)との関わりを通して子ども・利用児(者)への理解を深める。
保育実習 II (保育所) または 保育実習 III (施設)	II では、保育実習 I での経験とその後の学習をふまえて、自己課題をもち保育所の保育を実際に経験する。この実践を通して、保育所の保育士に求められる資質・能力・技術を修得し、さらに自己課題を明確にしていく。 III では、保育所以外の児童福祉施設などの役割や機能について実践を通して理解を深める。また、これらの実践の中で家庭と地域の役割などに気づき、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養う。
教育実習 I・II	幼稚園における教育実践について専門教育科目で獲得した幼児教育に関する知識、技能を活用しながら体験的にまた総合的に認識を深め、幼児教育に関わる理論と実践を統合していく。
卒業研究	今まで経験した実習先で感じ、子どもに学んで欲しいこと、興味を持ってほしい内容を考え、各自オリジナルのエプロンシアターを作成し、発表する。
英会話 I	日常的で平易な会話文を学びながら英語表現、イディオムや文法を習得する。
保育原理	保育の意義及び目的を理解し、保育者として子どもや保護者に関わるために必要となる基本的な視点や取り組み姿勢を深める。
子どもの理解と援助	保育実践において、実態に応じた子ども一人ひとりの心身の発達や学びを把握することの意義について理解し、子どもの体験や学びの過程において、子どもを理解する上での基本的な考え方を学ぶ。
子ども家庭支援の心理学	生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解し、家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。
子どもの保健	子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解した上で、子どもの身体的な発育・発達と保健について学ぶ。
乳児保育 I・II	乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。
子育て支援	保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援について、その特性と展開を具体的に理解する。
教育相談	子ども達の周りにいる大人達の役割や対応はどうあるべきかを学んでいく。また、カウンセリングの基礎知識を学び、保育者がカウンセリング・マインドをもち、子ども達や親に対する基本的援助の方法を学ぶ。
社会的養護 I・II	現代社会における社会的養護の意義・歴史の変遷の把握を基盤に、子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本を学ぶ。
保育課程総論	保育の内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について理解し、全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法を学ぶ。

介護福祉学科 [2年制／男女]

AP

入学者の
受け入れ
方針

アドミッション
ポリシー

介護福祉学科では、卒業認定・専門士授与の方針（DP）および教育課程編成・実施の方針（CP）に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 介護を学ぶための基礎的な学力を身につけている人
- 3 協調性、主体性、素直に聞く態度、目標を達成しようとする態度を身につけている人
- 4 人の役に立ちたいという強い意欲を持つ人

CP

教育課程
編成・
実施の方針

カリキュラム
ポリシー

介護福祉学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- 1 専門的な知識と技術の習得を図るため実践のカリキュラムを構成する
- 2 「学習の習慣」を身につけ、「自己効力感」を育て、「成長を実感」できる体験を提供する
- 3 介護福祉士としての使命感や責任、ホスピタリティマインドについて学べる場を提供する

DP

目指す
人材像

ディプロマ
ポリシー

介護福祉学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 地域社会・国際社会に貢献できる介護技術を身につけている
- 2 介護が必要な人の正しい理解と介護理論、福祉制度の専門的知識に裏付けられた支援を選択する判断力を身につけている
- 3 介護が必要な人に寄り添う温かい心、感謝の気持ちと笑顔、豊かな対話により周囲と協力する態度を身につけている
- 4 根拠に基づいた、実践的な技能による、安全で安心な介護を身につけている

目指す資格

- 介護福祉士 [国家資格]
- 認知症ライフパートナー検定

	1 年 次		2 年 次	
	< 前期 >	< 後期 >	< 前期 >	< 後期 >
到達目標	尊厳の重要性及び、障害や発達について理解できるようになる。また基本的な介護技術並びに、人体の仕組みについて学び、利用者とのコミュニケーションができ、観察ができるようになる。	利用者の全体像を理解し、学んだ介護技術を活用できるようになる。また、アセスメント、高齢者の特徴、ターミナルケア、喀痰吸引の基礎を理解できる。	社会制度の仕組みと、介護保険制度の概要を理解する。また実習において介護過程の展開ができ、利用者の方に喜ばれるレクリエーションを学ぶ。国家試験に向け知識を習得する。	基礎的な被服、調理の技術を習得し、安全な住生活について学習する。疾病や傷害に合わせた支援ができるように医療的ケア基礎研修を終え、点字や手話について学ぶ。また、国家試験合格を目指す。
カリキュラム	講義 人間の尊厳と自立	講義 介護福祉総論	講義 生活と福祉	
			講義 社会保障制度	
	講義 コミュニケーション技術Ⅰ	講義 人間関係とコミュニケーション	講義 人間関係とコミュニケーション	
			講義 コミュニケーション技術Ⅱ	
	講義 文章理解	演習 生活支援技術Ⅳ 介護予防とレクリエーションⅠ		演習 生活支援技術Ⅳ 介護予防とレクリエーションⅡ
	講義 介護の基本Ⅰ・Ⅱ	講義 介護の基本Ⅰ・Ⅱ	講義 介護の基本Ⅲ	演習 コンピュータリテラシー
	演習 生活支援技術Ⅰ		演習 生活支援技術Ⅱ	演習 生活支援技術Ⅱ（居住環境の整備）
				実習 生活支援技術Ⅲ（被服）
	講義 介護過程Ⅰ	講義 介護過程Ⅱ	演習 生活支援技術Ⅲ（家事の介護）	実習 生活支援技術Ⅲ（調理）
	演習 介護総合演習基礎	演習 介護総合演習Ⅰ	講義 介護過程Ⅱ・Ⅲ	実習 生活支援技術Ⅲ（住居）
		演習 介護総合演習Ⅱ	演習 介護総合演習Ⅲ	
	実習 介護実習Ⅰ・Ⅱ	実習 介護実習Ⅱ	実習 介護実習Ⅱ	実習 介護実習Ⅰ・Ⅱ
	講義 発達と老化の理解Ⅰ	講義 発達と老化の理解Ⅱ		
	講義 認知症の理解Ⅰ	講義 認知症の理解Ⅱ	講義 障害の理解Ⅱ	
		講義 障害の理解Ⅰ		
	講義 こころとからだのしくみⅠこころ		講義 こころとからだのしくみⅢ	
	講義 こころとからだのしくみⅠからだ	講義 こころとからだのしくみⅡ	講義 医療的ケア	
			演習 医療的ケア演習	
スケジュール	入学前学習 入学式 交流会 オリエンテーション	介護実習Ⅰ（通所系サービス実習） 穴吹祭 夏休み スポーツ大会	介護実習Ⅱ（施設実習） 就職研修 交流会 穴吹祭 夏休み スポーツ大会	介護福祉士国家試験 介護実習Ⅰ（在宅系サービス実習） 卒業制作展 卒業式
	4月	5月	4月	12月
		7月	5月	1月
		8月	7月	2月
		9月	8月	3月
		10月	9月	
		12月		
		2月		
		3月		

主な科目内容	
人間の尊厳と自立	尊厳の保持、自立・自律の支援、ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護、権利擁護、介護の基本的な理念を学ぶ。
人間関係とコミュニケーション	人間関係の発展や後退とコミュニケーションのあり方について学び、円滑なコミュニケーション方法や援助者としてのコミュニケーションの基礎について学ぶ。
生活と福祉	家族、地域、社会との関連から生活と福祉をとらえる。
社会保障制度	社会保障制度の発達、体系、財源等についての基本的な知識を学び、介護保険制度の概要と、サービス利用までの流れを学習する。
文章理解	国家試験に対応できる文章力を養う。
コンピュータリテラシー	Word、Excel、PowerPointと、インターネットの安全な利用について学習する。
介護の基本Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	介護福祉士について、その制度、業務範囲、職業倫理、リスクマネジメントについて学ぶ。
コミュニケーション技術Ⅰ・Ⅱ	基本的なコミュニケーション技術を学び、家族、利用者の状態に対応したコミュニケーション技術を習得する。
生活支援技術Ⅰ・Ⅱ	基本的な介護技術を学び、自立支援について学習する。また利用者の状態に合わせた介護技術、福祉用具について学ぶ。
生活支援技術Ⅱ（居住環境の整備）	居住環境の整備、福祉用具の活用、利用者の環境整備の方法を学ぶ。
生活支援技術Ⅲ（家事の介護）	利用者の家事援助全般について学習する。
生活支援技術Ⅲ（被服）	基本的な裁縫技術を修得する。
生活支援技術Ⅲ（調理）	基本的な調理技術、献立の立て方などを学ぶ。
生活支援技術Ⅲ（住居）	安全な住宅をテーマに住居模型を作成し、利用者にとって快適な住居環境を学習する。
生活支援技術Ⅳ 介護予防とレクリエーションⅠ・Ⅱ	レクリエーションプログラムの立案について学習し、自らレク支援が実践できるスキルを養う。
介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	介護過程の目的、意義、展開、アセスメント、介護計画の立案、実施、評価方法について学習し、個別性のある支援ができるスキルを養う。
介護総合演習基礎・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	介護実習に向けた注意点、記録の書き方、実習の取り組み方などを学習する。
介護実習Ⅰ・Ⅱ	通所系、在宅系、施設実習において、介護福祉士としてのスキルを学習する。
発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ	人間の成長と発達の基礎的理解を図り、老年の発達と成熟について学習し、高齢者の特徴について学ぶ。
認知症の理解Ⅰ・Ⅱ	認知症を取り巻く状況、医学的側面、認知症の基礎について学習し、具体的支援方法を習得する。
障害の理解Ⅰ・Ⅱ	障害の基礎的理解、医学的側面、具体的支援方法、家族への支援について学習する。
障害の理解Ⅱ（視覚障害者の理解）	視覚障害者の介助方法、点字について学習する。
障害の理解Ⅱ（聴覚障害者の理解）	聴覚障害者とのコミュニケーション方法、手話について学習する。
こころとからだのしくみⅠこころ・Ⅰからだ・Ⅱ・Ⅲ	こころとからだのしくみについて学習し、疾病についての知識を習得する。また様々な場面における人体の変化を学ぶ。
医療的ケア	医療職との連携のもとで、安全・適切に医療的ケアを実施できるよう、知識、技術を習得する。
医療的ケア演習	喀痰吸引、経管栄養の演習を行う。

パティシエ・ベーカリー学科 [2年制／男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

パティシエ・ベーカリー学科では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1

製菓、製パンに関心があり、技術を身につける意欲がある人

2

協調性や自主性があり学び続ける意欲がある人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

パティシエ・ベーカリー学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1

製菓衛生師免許取得の為、専門的な知識と技術を習得するカリキュラムを構成する

2

製菓実習では基礎から学び、業界に即応できる実践能力を身につけ多様な実習により更に技術を磨く

3

日々の講義や実習で学習の習慣を身につけ成長を実感し、製菓、製パン業界で働く意識を高める

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

パティシエ・ベーカリー学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

1

地域社会・国際社会に貢献できる製菓、製パンの知識や技術を身につけている

2

食品に関する衛生の知識を習得し、安全な食品を提供する責任を理解し実践能力を身につけている

3

コミュニケーション能力を身につけ、人と接する中で素直に意見を聞き常にサービス業の精神で人と接する柔軟な能力を身につけている

4

多様化するニーズに対応するため自主的に探究する考えを身につけている

目指す資格

●製菓衛生師 [国家資格]

●菓子製造技能士 (2級) [国家資格]

●パン製造技能士 (2級) [国家資格]

●ジュニアパリスト

●ジュニアショコラティエ

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	製菓・製パンに関する基本的な知識や安全でおいしい商品を作る技術を習得し、国家試験（製菓衛生師）の合格を目指す。		商品製造のスキルを向上させるとともに、製造・陳列・販売まで店舗営業の流れを習得する。菓子製造技能士2級の技術習得を目指す。	店舗営業を行い、製造から販売までの実践力を習得する。工芸作品製作を通して、発想力を高め、パティシエ・ブーランジェとしての企画力や美的センスを習得する。
カリキュラム	講義 食品学 講義 栄養学 講義 演習 食品衛生学 講義 公衆衛生学 講義 社会 講義 製菓理論 演習 製菓実習		演習 コンピュータ実習 講義 接客マナー 講義 フードマネジメント 演習 製菓・製パン教養 演習 菓子技術 演習 ベーカリー実習 演習 パリスト実習 演習 洋菓子実習Ⅰ 演習 洋菓子実習Ⅱ 演習 和菓子実習 演習 ショコラティエ実習 演習 卒業研究・製作Ⅰ 講義 食と色彩	
	講義 衛生法規 講義 食品学 講義 栄養学 講義 演習 食品衛生学 講義 公衆衛生学 講義 製菓理論 演習 製菓実習		演習 ベーカリー実習 演習 カフェ・店舗実習 演習 洋菓子実習Ⅲ 演習 卒業研究・製作Ⅱ	
スケジュール	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 2月 3月 入学前学習 入学式 オリエンテーション 産学連携講習会 中四国ブロック ケーキコンテスト見学 食文化研修 穴吹祭 夏休み スポーツ大会 ジャパンケーキショー東京見学 (希望者) 校内デコレーションコンテスト インターンシップマナー研修 フランス研修・留学 (希望者) 卒業研究制作展 インターンシップ開始 冬休み 春休み 国家試験対策 授業開始		5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 2月 3月 就職研修 食文化研修 夏カフェ運営 穴吹祭 パテたま (菓子・パン販売実習) 開始～1月まで 夏休み スポーツ大会 産学連携講習会 フランス研修 (希望者) 卒業制作展 (作品展示・カフェ運営) 冬休み 卒業式	

主な科目内容	
洋菓子実習Ⅰ・Ⅲ	洋菓子を製造することで、応用の技術・工程を理解し、安全でおいしい商品を製造できる実践力を身につける。
卒業研究・製作Ⅰ・Ⅱ	1年次で身につけた基礎を応用し、工芸菓子作品作りに取り組む。チョコ、飴、シュガー、マジパン、バタークリーム、パン、和菓子素材などを扱い工芸菓子・パンを製作する。
菓子技術	洋菓子を実際に製造することで、その技術・工程を理解する。菓子製造技能士2級の実技試験対策をする。スポンジ焼成ナッペ、被膜、絞り、パイピングの技術演習をする。
ショコラティエ実習	チョコレートの製造や技術、特性を理解することにより、チョコレートの知識や製造技術の習得をする。
洋菓子実習Ⅱ	フランス菓子やピエスモンテなど、様々な基礎から応用まで実践し習得する。また、フランスの菓子文化を理解し感性を磨く。(留学希望者)
和菓子実習	和菓子を製造することで、風情や季節に応じた菓子作りの技術・工程を理解し、安全でおいしい商品を製造できる実践力を身につける。
カフェ・店舗実習	材料の仕入れから販売まで店舗の実務を経験し、「品質管理技術」の習得を目指す。また、カフェの実務を経験し、接客マナーを身につける。
ベーカリー実習	パンを製造することで、基礎ならびに応用技術・工程を理解する。各国の特徴あるパンについての製パン技術を習得する。
パリスト実習	カフェの実務(コーヒーの技術)を経験し、一定レベルの製品作成の技術を習得する。
食と色彩	さまざまな食の場面、食を取り巻く環境について学習する。伝統的な食事、地域に根差した食品についての知識や技術を養う。色彩の基本理論を身につけ、食空間を効果的に演出する方法を習得する。
製菓・製パン教養	パティシエ・ブーランジェとして身につけておく事が望ましいマナー・教養を身につける。
接客マナー	専門職(パティシエ・ブーランジェ)にふさわしい言葉づかいや接客技術について学ぶ。
コンピュータ実習	Word・Excelの基本操作を習得し、日常に利用できるようにする。また、パソコンを使った計算やチラシ作成の技術を身につける。
フードマネジメント	時代のニーズに沿ったショップの運営・店作りの基本を学ぶ。

動物健康管理学科 ペット美容・グルーマー専攻 [2年制／男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

動物健康管理学科 ペット美容・グルーマー専攻では、卒業認定・専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1

穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人

2

人や動物に対する思いやりの心を持ち、人と動物の共生を目指す人

3

動物健康管理全般を学ぶ意志があり、特に動物の美容に強い関心があり、動物を通して社会貢献する人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

動物健康管理学科 ペット美容・グルーマー専攻では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1

動物の健康管理 (飼育・動物美容・トレーニングなど) 分野のみならず、社会人に求められる基礎や幅広い専門性を高める授業展開を実施する

2

動物愛護の精神に則り、人と動物の共生の思想と倫理観を身に着け、豊かな人間性と幅広い視野もち、修得した知識・技術を融合し、動物健康管理の専門家としての問題解決力・創造力を養う

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

動物健康管理学科 ペット美容・グルーマー専攻では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしうえて下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

1

地域社会・国際社会に貢献できる動物美容の専門家としての力を身につけている

2

コミュニケーション力を持ち動物関連産業の発展に向けて積極的に寄与する意欲を身につけている

3

動物に関しての基本的な理論・技術を修得の上、命を尊重する倫理観、幅広い視野と問題解決能力を身につけている

目指す資格

●

ジャパンケネルクラブ公認 トリマーC級ライセンス

●

全国動物専門学校協会認定 サロントリマー検定1級

●

ジャパンケネルクラブ公認 ハンドラーC級ライセンス

●

犬と人の共生推進協会 しつけインストラクター検定C級

●

サービス接遇検定2級

●

ビジネス文書検定3級

	1 年 次		2 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	グルーミングができる。部分カットができる。自ら進んで挨拶ができる。 犬の心理を考え正しく接することができる。	グルーミングが1時間以内にできる。全身カットができる。丁寧な道具の扱いができる。負担をかけない丁寧な犬の扱いができる。 基礎疾患を理解する。公衆衛生を理解する。健康診断（簡易）ができる。 基本的なしつけ（座れ・待て・伏せ）ができる。	2時間で全身カットができる。多種多様なカットができる。	3時間ですべてを仕上げるができる。犬体を理解してカットできる。 応急処置ができる。基礎疾患の予防ができる。飼い主に対して感染症の説明ができる。
カリキュラム	講義 社会人基礎講座Ⅰ 講義 犬種標準学Ⅰ 講義 動物行動学Ⅰ 実習 トレーニング実習Ⅰ 講義 グルーミング総論 実習 グルーミング基礎実習	演習 コンピュータ実習Ⅰ 講義 社会人基礎講座Ⅱ 講義 犬種標準学Ⅱ 講義 動物看護学Ⅰ 実習 トレーニング実習Ⅱ 講義 グルーミング各論 実習 グルーミング応用実習 実習 ハンドリング学Ⅰ	演習 コンピュータ実習Ⅱ 講義 社会人基礎講座Ⅲ 講義 トリミング総論 実習 トリミング実習 実習 ハンドリング学Ⅱ 講義 動物機能形態学	講義 社会人基礎講座Ⅳ 講義 動物看護学Ⅱ 講義 繁殖飼育学 講義 トリミング各論 実習 プロフェッショナルトリミング
スケジュール	入学前学習 入学式 シザーテスト 穴吹祭 サービス接遇検定3級 アニコム講習会・試験 夏休み 国内研修 スポーツ大会 ビジネス実務マナー検定3級 校内トリミングコンペ見学 就職対策特別講義 海外研修 (※希望者) 冬休み しつけインストラクター検定C級 Word検定 インターンシップ 春休み		穴吹祭 夏休み サービス接遇検定2級 Excel検定 トリマー特別講義 ハンドラー特別講義 スポーツ大会 国内研修 インターンシップ JKCハンドラーC級試験 校内トリミングコンペティション 冬休み JKCTリマーC級筆記・実技試験 ビジネス文書検定3級 サロントリマー検定1級筆記・実技試験 全国選抜トリマー選手権大会 JKC全国トリミング競技大会 卒業式	

主な科目内容	
犬種標準学Ⅰ・Ⅱ	犬の種類と特徴を知ること、犬との触れ合い方や飼養方法を学ぶ。
トリミング総論	トリミングに必要な基礎技術と犬種のスタンダードスタイルを学ぶ。
トリミング各論	顧客のニーズに応じられるトリミングの技術と理論を身につける。
グルーミング総論	犬の美容技術に関する基礎知識やペット美容で使用する犬具の知識、扱い方を総合的に学ぶ。
グルーミング各論	犬の健康管理に関する知識を習得し、顧客の質問にも対応できるアドバイザーとなる。
グルーミング基礎実習	グルーミングに必要な犬の扱い方と、美容用具の扱い方を学ぶ。
グルーミング応用実習	グルーミングに必要な犬の扱い方と、美容道具の扱い方をマスターし時間内に作業を終わらせる。
プロフェッショナルトリミング	トリマーに必要な高度なトリミング技術を学ぶ。
動物行動学Ⅰ	動物、主に犬についての生態、行動を学び理解する。 動物と人間がいかに共存できるか学習する。
トレーニング実習Ⅰ・Ⅱ	犬が人間社会で暮らしていくために必要なルールやマナーを学ぶ。
動物看護学Ⅰ・Ⅱ	犬猫によく見られる疾病とその処置について学ぶ。
繁殖飼育学	犬の繁殖に関して、繁殖適期や禁忌となるブリーディングなどについて学ぶ。
動物機能形態学	犬種ごとの骨格構成や性質を学ぶ。
ハンドリング学Ⅰ・Ⅱ	ショーハンドリングを習得することにより、犬の心理状況や扱いを学ぶ。
コンピュータ実習Ⅰ・Ⅱ	コンピュータの基本操作から応用までを学ぶ。 WordとExcelの資格試験合格を目指す。
社会人基礎講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	社会人として必要な常識・マナーを身につける。自立に向けての意識の向上を図り、就職活動の早期化・活性化を実現する。

動物健康管理学科 しつけインストラクター専攻 [2年制／男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

動物健康管理学科 しつけインストラクター専攻では、卒業認定・専門士授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

1

穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人

2

人や動物に対する思いやりの心もち、人と動物の共生を目指す人

3

動物健康管理全般を学ぶ意志があり、特に動物のトレーニングに強い関心があり、動物を通して社会貢献する人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

動物健康管理学科 しつけインストラクター専攻では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

1

動物の健康管理(飼育・動物美容・トレーニングなど)分野のみならず、社会人に求められる基礎や幅広い専門性を高める授業展開を実施する

2

動物愛護の精神に則り、人と動物の共生の思想と倫理観を身につけ、豊かな人間性と幅広い視野もち、修得した知識・技術を融合し、動物健康管理の専門家としての問題解決力・創造力を養う

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

動物健康管理学科 しつけインストラクター専攻では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記的能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

1

地域社会・国際社会に貢献できる動物トレーニングの専門家としての力を身につけている

2

コミュニケーション力を持ち動物関連産業の発展に向けて積極的に寄与する意欲を身につけている

3

動物に関しての基本的な理論・技術を修得の上、命を尊重する倫理観、幅広い視野と問題解決能力を身につけている

目指す資格
●犬と人の共生推進協会 しつけインストラクター検定A級
●ジャパンケネルクラブ家庭犬訓練試験CDⅡ
●ジャパンケネルクラブ公認 ハンドラーC級ライセンス
●全国動物専門学校協会認定 サロントリマー検定3級
●サービス接遇検定2級
●ビジネス文書検定3級

到達目標

1年次

2年次

＜前期＞

＜後期＞

＜前期＞

＜後期＞

担当犬のどこに触れても大丈夫なようにトレーニングする。
犬と信頼関係を築くことができる。犬具の扱い方がわかる。

他人が担当犬のどこに触れても大丈夫なようにトレーニングする。家庭犬の基本的なしつけができる。
担当犬と試験に合格する。
基礎疾患を理解する。公衆衛生を理解する。健康診断(簡易)ができる。
カット前までの準備ができる。(ブラッシング・ペイジング・爪切り・耳掃除)

応用的なしつけができる。(アジリティ・フリスビー等)

担当犬と試験に合格する。担当犬とAAA活動に参加する。
応急処置ができる。飼い主に対して感染症の説明ができる。基礎疾患の予防指導ができる。
部分カットができる。(足まわり・お尻等)

講義

社会人基礎講座Ⅰ

講義

犬種標準学Ⅰ

講義

ペット美容学Ⅰ

実習

グルーミング実習BASICⅠ

講義

動物行動学Ⅰ

実習

しつけトレーニング実習Ⅰ

実習

アジリティ実習Ⅰ

講義

ドッグケア学

講義

社会人基礎講座Ⅱ

講義

犬種標準学Ⅱ

実習

グルーミング実習BASICⅡ

講義

動物看護学Ⅰ

講義

ドッグトレーニング概論Ⅰ

実習

しつけトレーニング実習Ⅱ

実習

アジリティ実習Ⅱ

講義

ハンドリング学Ⅰ

演習

コンピュータ実習Ⅰ

講義

社会人基礎講座Ⅲ

実習

トリミング実習BASICⅠ

講義

問題行動学Ⅰ

実習

AAA実習Ⅰ

講義

動物機能形態学Ⅰ

実習

ハンドリング学Ⅱ

演習

コンピュータ実習Ⅱ

講義

社会人基礎講座Ⅳ

講義

ペット美容学Ⅱ

実習

トリミング実習BASICⅡ

講義

動物看護学Ⅱ

講義

繁殖飼育学

講義

問題行動学Ⅱ

実習

しつけトレーニング実習Ⅳ

実習

アジリティ実習Ⅳ

実習

AAA実習Ⅱ

講義

動物機能形態学Ⅱ

スケジュール

4月

5月

6月

7月

8月

9月

11月

12月

1月

2月

3月

6月

7月

8月

9月

10月

12月

1月

2月

3月

入学前学習

入学式

新入生オリエンテーション

シザーテスト

穴吹祭

夏休み

国内研修

スポーツ大会

冬休み

就職対策特別講義

海外研修(※希望者)

インターンシップ

春休み

しつけインストラクター検定B級

サービス接遇検定2級

穴吹祭

夏休み

インターンシップ

Excel検定

ハンドラー特別講義

スポーツ大会

国内研修

JKCハンドラーC級試験

サロントリマー3級筆記・実技試験

ビジネス文書検定3級

JKC家庭犬訓練試験CDⅡ

しつけインストラクター検定A級

JKCアジリティ競技会

校内アジリティコンペティション

卒業式

主な科目内容	
犬種標準学Ⅰ・Ⅱ	犬の種類と特徴を知ること、犬との触れ合い方や飼養方法を学ぶ。
ペット美容学Ⅰ・Ⅱ	犬の健康維持と手入れの基本を学び、顧客の相談に対応できるようにする。
グルーミング実習BASICⅠ・Ⅱ	グルーミング(犬の美容)に必要な犬の扱い方と、美容道具の扱い方を学ぶ。
トリミング実習BASICⅠ・Ⅱ	トリミング(犬のカット)に必要な犬の扱い方と、美容道具の扱い方、様々なカット様式を学ぶ。
繁殖飼育学	犬の繁殖に関して、繁殖適期や禁忌となるブリーディングなどについて学ぶ。
動物行動学Ⅰ	動物、主に犬についての生態、行動を学び理解する。 動物と人間がいかに共存できるか学習する。
しつけトレーニング実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	犬が人間社会で暮らしていくために必要なルールやマナーを学ぶ。 訓練基礎を習得する。
動物看護学Ⅰ・Ⅱ	犬猫によく見られる疾病とその処置について学ぶ。
動物機能形態学Ⅰ	犬種ごとの骨格構成や性質を学ぶ。
ハンドリング学Ⅰ・Ⅱ	ショーハンドリングを習得することにより、犬の心理状況や扱いを学ぶ。
問題行動学Ⅰ・Ⅱ	犬の生態を理解し、人間と動物の共存について学ぶ。
AAA実習Ⅰ・Ⅱ	動物介在活動の意義を理解し、よりよい活動方法を考える。
アジリティ実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	アジリティの基本や歴史から犬との信頼関係の大切さを学ぶ。
ドッグトレーニング概論Ⅰ	ドッグトレーニングの重要性を理論的に理解し、実践に役立てる。
ドッグケア学	犬のライフステージごとのアドバイスができる知識について学ぶ。
コンピュータ実習Ⅰ・Ⅱ	コンピュータの基本操作から応用までを学ぶ。 WordとExcelの資格試験合格を目指す。
社会人基礎講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	社会人として必要な常識・マナーを身に付ける。自立に向けての意識の向上を図り、就職活動の早期化・活性化を実現する。

看護学科 [4年制／男女]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

看護学科では、卒業認定・高度専門士授与の方針 (DP) および教育課程編成・実施の方針 (CP) に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- ものごとを論理的に思考する力を高められる人
- 自分と他者を大切にし、自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を高める努力ができる人
- 人々の健康と生活に関心と学修意欲を持ち、看護専門職として多職種と協働し続ける意欲のある人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

看護学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- 国家資格に必要な専門的知識を1年次から段階的・主体的に学べるカリキュラムを構築している
- 健康の危機的状況を判断し、科学的根拠をもとに基本的な看護援助が実践できる能力を獲得できる
- 少子・超高齢化ならびに多様な社会において、人々が自分の健康に関心を持ち生活ができるよう、医療・福祉施設、地域社会の協力・連携のもとで保健指導力を育成する
- 講義・演習において各教科の達成目標・到達点を明確にし、学生の成長を客観的に評価するとともに学生自身が自己成長につなげる
- 学年の枠を超えて学び合う教育環境により、学生が成長を実感しながら学べるプログラムを構築している

DP

目指す人材像

ディプロマポリシー

看護学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および高度専門士の称号を授与する

- 看護の知識・技能の習得により、看護師として地域社会・国際社会に貢献できる
- 対象の生命を護るために必要な観察力・判断力を身につけている
- 科学的根拠に基づいた看護技術力を身につけている
- 4年間教育の中で自己の将来像をみつめ、職業観と社会人としての倫理観を醸成し他者に対応できる力を鍛える

		1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次	
		<前期>	<後期>	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標		1.人間の生命の尊さを理解できる。 2.主体的に学習に取り組む必要性を理解する。	1.人間を身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる。 2.看護に必要な基礎的な知識と技術を習得する。 3.自己の健康について考えることができる。	1.対象の生命を尊重できる。 2.主体的に学習に取り組む習慣を身につける。	1.人間の成長発達および健康状態に応じた対象の理解ができる。 2.科学的思考に基づいた基礎看護技術の実践ができる。 3.自らの健康に関心を持ち、人々の健康について考えることができる。	1.個性性を尊重した信頼関係を築くことができる。 2.自らの課題を見つけ、学習に取り組むことができる。	1.科学的思考に基づき対象に応じた看護過程が展開できる。 2.対象や関係職種とともに健康問題の解決に向けて考えることができる。	1.人々の権利を擁護する重要性を理解できる。 2.看護に対する探究心を身につける。	1.自らの看護観を明確にすることができる。 2.看護学の発展のための研究方法を理解できる。 3.対象の健康問題の解決のために、関係機関・関係者との連携・調整の必要性を理解できる。
基礎分野	科学的思考の基盤	教育心理学 教育学	情報科学概論 情報モラル 論理的思考の基礎	コンピュータ情報処理演習 看護物理学				医療社会経済学	
	人間と生活社会の理解	倫理学Ⅰ 家族社会学 コミュニケーショントレーニングⅠ 法学概論	英語コミュニケーション	コミュニケーショントレーニングⅡ			コミュニケーショントレーニングⅢ 人間理解の基礎	倫理学Ⅱ	
専門基礎分野	人体の構造と機能	人体の構造学Ⅰ人体の機能学Ⅰ 臨床生化学	人体の構造学Ⅱ人体の機能学Ⅱ 病理学	人体の構造学Ⅲ(演習) 臨床栄養学					
	疾病の成り立ちと回復の促進	感染防御学	疾病治療学Ⅰ(呼吸・循環・消化器)	疾病治療学Ⅱ(内分泌・免疫・血液) 疾病治療学Ⅴ(生殖・周産期) リハビリテーション論	疾病治療学Ⅲ(脳・運動・精神) 疾病治療学Ⅳ(小児・腎・泌)		臨床薬理学		
	健康支援と社会保障制度			社会福祉・社会保障論	公衆衛生学	保健指導論(健康科学概論含む)	保険統計	看護と法律(保険法・関係法規)	
	基礎看護学 地域・在宅看護論 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学	基礎看護学概論Ⅰ(概念・歴史)・Ⅱ(倫理・理論) 基礎看護技術論Ⅰ(コミュニケーション・感染) 基礎看護方法論Ⅰ(環境・活動)・Ⅱ(清潔) 基礎看護技術論Ⅱ(バイタル・記録)	基礎看護方法論Ⅲ(食事・排泄) 臨床援助技術論Ⅰ(与薬) 臨床援助技術論Ⅲ(経過別・症状別) 看護演習Ⅰ 成人看護学概論 老年看護学概論 小児看護学概論	臨床援助技術論Ⅱ(検査・治療) 基礎看護技術論Ⅲ(フィジカル) 在宅看護概論 看護演習Ⅱ 成人看護方法論Ⅱ(アレルギー・血液) 老年看護方法論Ⅰ(運動・腎) 小児看護方法論Ⅰ(発達段階別) 母性看護学概論 臨床援助技術論Ⅴ 臨床援助技術論Ⅳ(看護過程)	地域・在宅看護方法論Ⅰ(家族援助) 看護演習Ⅳ 成人看護方法論Ⅰ(呼吸・循環) 成人看護方法論Ⅲ(脳・代謝) 小児看護方法論Ⅱ(症状別看護) 母性看護方法論Ⅰ(妊娠・分娩) 精神看護学概論	地域看護学 地域・在宅看護方法論Ⅱ(技術) 看護演習Ⅴ 精神看護方法論Ⅱ(看護過程) 老年看護方法論Ⅱ(生活等) 老年看護方法論Ⅲ(看護過程) 小児看護方法論Ⅲ(看護過程) 母性看護方法論Ⅱ(産褥・育児)	看護演習Ⅵ 看護演習Ⅶ・Ⅷ 精神看護方法論Ⅰ(症状別看護) 成人看護方法論Ⅳ(消化器・生殖)	看護演習Ⅲ 看護演習Ⅸ 精神看護方法論Ⅲ(看護過程) 地域・在宅看護方法論Ⅱ(展開)	精神看護方法論Ⅱ(生活)
専門分野	看護の統合と実践				救急蘇生法Ⅰ	救急蘇生法Ⅱ	看護研究Ⅰ(基礎)	看護研究Ⅱ(実践) 救急蘇生法Ⅲ 看護の展望 看護演習Ⅹ・Ⅺ	国際看護論 災害看護論 看護管理論Ⅰ・Ⅱ 総合セミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ
	臨床実習		基礎看護学Ⅰ実習(日常生活援助)	基礎看護学Ⅱ実習(看護過程)	成人・老年看護学Ⅰ実習(看護過程)	成人・老年看護学Ⅱ実習(急性期・回復期) 成人・老年看護学Ⅲ実習(慢性期・終末期) 成人・老年看護学Ⅳ実習(リハ・継続)	小児看護学実習 母性看護学実習	地域・在宅看護論実習 看護の統合と実践実習 精神看護学実習 生活援助実習(施設)	
スケジュール		新入生歓迎行事 入学前学習 入学式 新入生オリエンテーション 宣誓式参列 穴吹祭 看護リフレクション 医療系海外研修(※希望者) 夏休み スポーツ大会 冬休み 春休み 模擬試験		新入生歓迎行事 宣誓式 看護リフレクション 穴吹祭 スポーツ大会 冬休み 春休み 臨床実習(基礎Ⅰ) 看護リフレクション 救急蘇生法(日赤救急員救急法) 看護リフレクション(成人Ⅰ) 医療系海外研修(※希望者) 模擬試験		新入生歓迎行事 宣誓式 看護リフレクション 穴吹祭 スポーツ大会 冬休み 春休み 専門領域別臨床実習 看護 リフレクション 看護リフレクション 研究会学会参加 専門領域別臨床実習 医療系海外研修(※希望者) 模擬試験		新入生歓迎行事 宣誓式参列 穴吹祭 スポーツ大会 冬休み 卒業式 看護リフレクション 卒業前技術演習 看護研究発表 看護師国家試験 模擬試験	

目指す資格

- 看護師 [国家資格]
- BLSプロバイダーコース合格 (日本循環器学会)
- 赤十字ベーシックライフサポーター認定 (日本赤十字社)

主な科目内容	
教育心理学	人格形成および発達に果たす教育の役割を理解し、自他ともにその関わり方に教育的配慮ができる力を養う。コミュニケーションの基礎となる人間関係論を学ぶ。
教育学	教育の諸分野(理論・教授法・学級運営・カリキュラム)に関する基礎知識、最近の教育課題、および学校現場での実践について学ぶ。
コンピュータ情報処理演習	コンピュータによる情報処理の基本操作、及びデータの情報化を看護に活用するための基本技術を学ぶ。
倫理学Ⅰ・Ⅱ	社会的存在としての人間共存の規範・原理から、社会的合意により成り立っている倫理に基づいた看護実践の根拠を学ぶ。
コミュニケーショントレーニングⅠ・Ⅱ・Ⅲ	対人援助の基礎となる自己理解・他者理解、およびグループ活動に必要なコミュニケーション・スキルを学ぶ。また、実習時には自己評価・他者評価(患者・指導者・教員)により自己のコミュニケーション能力の自己分析をし、新人看護師として自分の意見や感情をアサーティブに表現できる能力を身につける。
人体の構造学Ⅰ・Ⅱ	看護観察、看護判断、看護技術を根拠に基づいて実施するために人体の構造を系統立てて学ぶ。
人体の構造学Ⅲ(演習)	解剖体の目視により人体の構造を系統的に形状・位置関係を確認し、解剖学用語で説明するとともに、科学的看護の根拠について学ぶ。
疾病治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ	症状観察、看護判断、看護ケアを科学的に根拠に基づいて実施するために、人体に起きている当該領域にかかわる疾患の臨床症状、検査所見、画像所見などについて学ぶ。
リハビリテーション論	病院や施設だけでなく在宅療養者や地域で生活している人を対象にリハビリテーション計画を把握し、チームの一員として活動・調整できる基礎的技術を学ぶ。
看護と法律(保険法・関係法規)	看護実践において生じている様々な問題を制度・法律との関連、及び人々の健康問題の解決に必要な社会資源の開発や保健医療福祉サービスを評価し調整するために必要な、保健医療福祉の法的基盤を学ぶ。
社会福祉・社会保障論	生活者の保健・医療・福祉サービスを効率的で質の高いものとするために、社会福祉・社会保障の理念・法制度・体系及び生活支援のあり方を学ぶ。
保健指導論	人々の心身の健康、疾病・障害予防、疾病の発生・回復及び改善過程と社会的条件との関連を学ぶ。健康を維持するための自然治癒力・ホメオスタシスの考えを基に病気の科学的な見方を学ぶ。患者家族の生活習慣等行動変容への支援の在り方、および健康な生活を維持・改善・創造するために必要な社会資源の活用方法を学ぶ。
基礎看護技術論Ⅰ・Ⅱ	看護展開の基礎となる対人関係技術、感染予防、バイタルサイン技術の基礎を学ぶ。
基礎看護方法論Ⅱ(清潔)	対象の個性性をふまえた清潔援助を実施するための基本的技術・観察力・判断力を演習を通して学ぶ。
臨床援助技術論Ⅰ(与薬)	既習の知識を活用し、薬物療法を受ける対象のニーズに即した、正確かつ安全な与薬技術の基本を学ぶ。
看護研究Ⅰ・Ⅱ	最近の研究の動向や研究方法の特徴などについて理解し、研究論文の書き方について学ぶ。看護研究Ⅰ及び、これまでに習得した知識・技術・態度を統合して、看護研究の進め方について学ぶ。
救急蘇生法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	根拠に基づいた心肺蘇生を中心とした救急看護の理論と基礎的技術を学び、多様な救急場面において速やかに行動できるよう心肺蘇生について継続的に学習する。
地域看護学	「地域コミュニティを軸とした協働のまちづくりの実践について」行政担当課による講義を踏まえて、コミュニティの意義とあり方が理解でき、看護師が行う地域看護活動について学ぶ。
看護演習Ⅰ～Ⅺ	既習学習を総合し、模擬患者に必要な看護援助を根拠に基づいて実践する。臨床実習で受け持った患者への看護を振り返り考察し、対象に必要なより良い援助のための一般原則や実践理論について学びを深める。看護を学生間・教員と探求する。

歯科衛生学科 [3年制／女子]

AP

入学者の
受け入れ
方針

アドミッション
ポリシー

歯科衛生学科では、卒業認定・専門士授与の方針（DP）および教育課程編成・実施の方針（CP）に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 歯科衛生士に必要な知識や技術を修得するうえで、高等学校の教育内容を学修している人
- 3 人に関心を持ち、自らが気づく感性を磨き、支援や問題解決に向けて誠実に対象者と向き合う対応力や人間性を有するための努力ができる人
- 4 歯科衛生士として歯科疾患の予防と口腔衛生の向上を図ることを目的に、医療・福祉・地域で幅広く社会に貢献しようとする意欲のある人

CP

教育課程
編成・
実施の方針

カリキュラム
ポリシー

歯科衛生学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- 1 生命科学について理解し、人と心理および情報処理について深く学ぶことにより、人間理解を育成し対人コミュニケーション力を高めるような実践的授業を実施する
- 2 臨床歯科医学の知識を体系的に学び、予防に関わる社会の仕組みや福祉についても幅広く統合しながら授業を実施する
- 3 歯科予防処置技術の基礎から応用を、技術力の高い教員の指導のもと、学内演習と相互実習で段階的に習得し、より実践的な実習を実施する
- 4 人々の歯と口腔の健康を守り支援するために、問題発見と問題解決ができる総合的な力を身につけられる医療・福祉・地域の臨地実習を実施する

DP

目指す
人材像

ディプロマ
ポリシー

歯科衛生学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 命の大切さとホスピタリティの心を持ち豊かな感性と人間性で人と関わることができる
- 2 歯科衛生士に必要な知識と高い歯科予防処置技術を習得し、口腔衛生管理の担い手として地域社会と国際社会に貢献できる
- 3 歯科衛生士として根拠に基づく専門的歯科衛生知識を統合し、わかりやすく伝え多職種と協働するための協調性を身につけている
- 4 口腔だけでなく全身や対象者の心理、ライフステージや背景など広い視野で捉え考えながら柔軟に対応できる力を身につけている

目指す資格

- 歯科衛生士 [国家資格]
- 救急法救命員

	1 年 次		2 年 次		3 年 次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	歯科衛生士の3大業務「歯科予防処置」「歯科保健指導」「歯科診療の補助」の基礎とともに、解剖学や病理学など基礎分野の知識を習得する。	前期の基礎知識とともに演習を通して技術を身につけるとともに、臨床基礎医学分野の知識も習得する。さらに心理学や教育方法論など医療人としての自覚も身につける。	歯科補綴学や高齢者歯科学などの臨床歯科医学の専門知識を習得するとともに、後期からの臨床実習に備えた技術を身につける。臨床における歯科保健指導の技法を身につける。	一般歯科医院や大学病院での臨床実習を通して歯科衛生士としての基礎技術を学び、専門的な能力や医療人としてのマナーやコミュニケーション能力も身につける。	臨床実習での経験を積み、多職種によるチーム医療について学び、連携できるスキルを身につける。専門的な知識、技術および態度の習得を行う。	歯科衛生士としての知識の集大成として歯科臨床分野について深く理解し、就職後、即戦力として働けるスキルを身につける。国家試験に合格できる知識を習得する。
カリキュラム	講義 解剖学・組織発生学 講義 生理学 講義 口腔解剖学Ⅰ 講義 口腔組織発生学 講義 病理学 講義 口腔病理学 講義 口腔生理学 講義 口腔衛生学Ⅰ 講義 歯科衛生士概論	講義 栄養と代謝 演習 歯牙解剖学 講義 薬理学 講義 微生物・口腔微生物			講義 衛生学・公衆衛生学 講義 衛生行政・社会福祉論 演習 口腔衛生学Ⅱ（統計学含む） 演習 歯科衛生学の統合と実践 演習 専門職連携演習 演習 救命救急法	
		演習 歯科保存学 講義 小児歯科学 講義 歯周治療学	講義 口腔外科学・麻酔学 講義 歯科矯正学 講義 歯科補綴学 講義 障害者歯科学 講義 高齢者歯科学 演習 臨床検査	演習 口腔機能管理学		
		講義 歯周病予防法Ⅰ 演習 歯周病予防法実習Ⅰ 演習 う蝕予防法 演習 歯科保健指導論Ⅰ 演習 栄養指導 演習 歯科材料学	演習 歯周病予防法Ⅱ 演習 歯周病予防法実習Ⅱ 演習 歯科保健指導論Ⅱ 演習 歯科診療補助論Ⅱ 実習 臨地実習Ⅱ 実習 臨地実習Ⅲ		演習 歯科予防処置実践実習 演習 歯科保健指導論Ⅲ	
	講義 歯科予防処置論基礎 講義 歯科保健指導論基礎 演習 歯科診療補助論Ⅰ 実習 臨地実習Ⅰ	演習 人間関係論 講義 心理学 演習 教育方法論 講義 社会人基礎講座Ⅰ 講義 情報処理Ⅰ	講義 文章表現法	講義 歯科英語	実習 臨地実習Ⅳ 実習 臨地実習Ⅴ	演習 総合歯科医学セミナー
スケジュール	入学前学習 入学式 新入生オリエンテーション 新入生歓迎行事 穴吹祭 夏休み スポーツ大会 冬休み 春休み 医療系海外研修（※希望者）		新入生歓迎行事 穴吹祭 夏休み スポーツ大会 冬休み 春休み 小学校保健指導	臨床実習 戴帽式	新入生歓迎行事 穴吹祭 夏休み スポーツ大会 冬休み 臨床実習 歯科衛生士国家試験 卒業式	

主な科目内容	
人間関係論	患者と向き合い、不安や緊張を安心へと導くコミュニケーションの基本知識と実践力を身につける。教育理念であるホスピタリティ実現に向けた土台作りをする。
歯科英語	国際化、情報化社会に対応しうる能力として歯科英語の基礎を学び、現場で簡単な会話ができるよう英会話についても学ぶ。
解剖学	全身構造と各器官・機能を理解する。特に口腔を含む顔顔面部は独立して存在するのではなく、全身の一部であることを理解する。
栄養と代謝	歯科衛生士として必要な栄養学の基礎知識と栄養素の基本的な役割を学び、歯科保健指導ができる能力を養う。また、予防や教育の支援を行う能力を養う観点から、疾病の予防と回復過程に関する知識を培う。
口腔解剖学Ⅰ・歯牙解剖学	口腔内の構造や歯、および歯周組織を解剖学的見地から学び、その知識を身につけ、形態的特徴を説明できるようにする。
口腔病理学	口腔病変の診断、治療、ならびに予防に關しての知識を身につけ、歯科衛生士として将来患者への説明などが行えるようになる。
薬理学	歯科臨床における薬物療法の基礎概念、ならびに歯科薬物作用と薬物使用の実態についてその知識を身につける。
歯科衛生士概論	歯科衛生を実施する健康支援者としての将来像をイメージし、保健医療人としての態度について理解する。
口腔衛生学Ⅰ・Ⅱ	個人・集団に対する歯科予防処置、健康の保持、増進、歯科保健指導を実施するための口腔保健に関する基礎的な知識を習得し、ヘルスサービスを提供する能力を身につける。
衛生行政・社会福祉論	人々の健康に関するセルフケア能力を高めるために必要な教育的役割を知り、各関係諸機関等との調整能力を高める態度を養う。
歯科保存学	齲蝕などによる硬組織の欠損、歯髄疾患、根尖性歯周炎など歯周組織の病変の進行を抑制し、治療および機能回復を図る治療法の知識を学ぶ。
歯周治療学	歯周疾患患者における歯科衛生士の役割と基礎的な知識を学ぶ。
歯科補綴学	歯科補綴臨床の基本的知識、治療の流れを理解し、診療補助および術前、術後の口腔ケア指導も行える知識と技術を習得する。
高齢者歯科学	高齢者の歯科医療に関わる技術と高齢者の心と身体にどう接するかを学び、口腔の健康維持増進のため高齢者の生活の場への関わり方を身につける。
歯周病予防法Ⅰ・Ⅱ	歯周病予防に関する基本的知識と予防処置技術の基礎を身につける。
歯科予防処置実践実習	歯科衛生士に必要な手技における基本操作を習得する。段階的に習得できるよう基本、総合的、実践的な実習を行う。
歯科保健指導論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	高齢社会に目を向け、高齢者、障害者を対象とした対象者別の歯科保健指導ができる能力を養う。
歯科保健指導演習	小集団指導の実践と、各ライフステージにおける集団保健指導を行うために、グループ学習で企画力やコミュニケーション能力を身につける。
歯科診療補助論Ⅰ・Ⅱ	歯科診療補助の業務体系を法的に理解し、チーム医療の実現、臨床における様々な状況に対応しうる判断力、倫理観を身につけるための知識を習得する。
歯科診療補助演習	歯科診療補助の業務の基礎を理解し、歯科医師と円滑なチーム医療を実現するために必要な知識と技術を演習によって身につける。
臨地実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ	歯科衛生士の役割を理解し、基礎技術から専門技術やチーム医療まで体系的に学び、コミュニケーション能力や保健指導も含めて臨床の場で知識と技術を習得する。
口腔機能管理学	口腔機能の管理と指導を行うため、専門的知識、技術および態度を習得する。
専門職連携演習	医療チームの一員としてまたは、医療の包括的な支援サービス提供の場において他職種と連携できる歯科衛生士となるために必要な知識、技術および態度を習得する。
歯科衛生学の統合と実践	歯科衛生士業務に関わる学問をさらに体系的に学べるよう、歯科衛生過程の内容をより実践的に学ぶ。
社会人基礎講座Ⅰ・Ⅱ	円滑な就職活動のために社会人としての基本的マナーや、主体的に自己のキャリアデザインに取り組む姿勢を身につける。
心理学	人と関わる業務を行うために知っておいた方が良い知識として、一般的な心理学の基本的な枠組みを学び、発達心理学についても学習する。
解剖学・組織発生学	人体の構造や機能とともにその成り立ちについても学び、歯科衛生士に必要な口腔の組織、発生について理解する。
衛生学・公衆衛生学	公衆衛生の基本概念を理解し、個人および集団に対する、健康の保持、増進および歯科保健指導を実施するための仕組み、口腔保健に関する基礎的な知識を習得する。
小児歯科学	心身の発育変化と生理的特徴および口腔領域の正常な発育と異常・疾患、小児歯科独特の歯冠修復法・歯内療法・咬合誘導の概要を学び、歯科衛生士の役割である小児の口腔保健管理を学ぶ。
口腔外科学・麻酔学	口腔外科学は、口腔および顔顔面に現れる先天性または後天性または後天的疾患について、その原因、病理、症状、診断、治療、予後などを学ぶ。
歯科矯正学	不正咬合（咬合異常）や咀嚼障害の原因・治療法およびその予防法についての知識と技術を身につける。
障害者歯科学	身体的、知的、あるいは精神的な障害のある人に対する理解と知識を身につけ、摂食・嚥下障害などに対するライフサポートができる。
う蝕予防法	個人および集団に対する歯科予防処置、健康の保持、増進および歯科保健指導を実施するための口腔保健に関する基礎的な知識を習得する。
歯科材料学	歯科衛生士としての職責をもって歯科臨床においてコ・デンタルスタッフとして歯科材料の知識を備え基本的な使用方法を実践できるようにする。
総合歯科医学セミナー	3年次の知識の集大成として、歯科臨床分野について深く理解する。臨床実習とともにふり返ることで知識の定着を図る。

アドミッション
ポリシー

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲をある人
- 2 保険請求事務知識を習得するために、高等学校の教育内容を幅広く学修している人
- 3 患者に誠実に向き合う人間力、接遇を真実に獲得しようとする人
- 4 地域医療のために役割を果たす医療人へと成長しようとする意欲をもった人

カリキュラム
ポリシー

- 1 「医科」「歯科」「調剤」「介護」「ドクター秘書」の診療報酬請求事務知識と保険知識ならびに関連法規を体系的に学び、検定試験に合格できる授業構成とする
- 2 病院の顔となる医療事務員やドクター秘書として対応できる接遇、事務員としてはパソコン操作スキルや文書作成等を演習を中心として授業を実施する
- 3 社会人として即戦力となるべきコミュニケーション力を高め、チーム医療の一員として活躍できる他職種連携を意識した主体的・対話的な授業を実施する
- 4 医療現場と連携をとりながら、法改正等社会に変化に対応した内容の授業を実施する

ディプロマ
ポリシー

- 1 医療と福祉のすべての施設で働けるように「医科」「歯科」「調剤」「介護」「ドクター秘書」の5つの分野の知識を習得し、地域社会・国際社会に貢献できる
- 2 日本の保険制度の全体像と各種保険制度の知識から診療報酬請求事務知識とパソコン技能などの現場対応力を身につけている
- 3 他職種と連携を取りながらメディカルスタッフの一員として常に患者とその家族に安心感を与えられる接遇を身につけている
- 4 入職後も校訓「日々は前進」の精神で変化する社会や法改正に対応できるように自ら学ぶ続ける力を身につけている

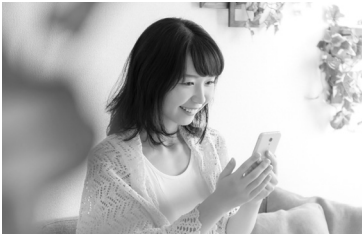
- メディカルクラーク（医科）
- 歯科医療事務管理士
- 調剤事務管理士
- 介護事務管理士
- ドクターズクラーク
- サートファイ認定（Word・Excel）
- 診療報酬請求事務能力認定試験
- 医療秘書検定

主な科目内容	
医療事務Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	医療保険制度・診療報酬算定・公費負担制度を理解し、医科点数表をもとに診療録から診療報酬明細書の作成を学ぶ。
調剤事務Ⅰ・Ⅱ	薬剤に関する基礎知識と各疾患別の投薬に関する知識を学ぶ。また、調剤報酬請求の知識をもとにレセプトの書き方を学び、レセプトコンピュータの操作技術も学ぶ。
メディカルマナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ	受付事務員としての接客マナーの重要性を理解し、基本知識・技能を学び、患者とのやり取りの中での受け答えがロールプレイングを通してできるようにする。
簿記	簿記を学習することにより社会に出てから役立つ計数感覚を身につけ、基礎的な簿記原理・記帳・決算などに関する初歩的な経理実務を理解し身につける。
コンピュータ演習Ⅰ・Ⅱ	Wordを使った一般的な文書作成の基礎と文書表現の方法、またExcelソフトの基礎を理解し、パソコンを使った表およびグラフが作成できる技能を学ぶ。
コミュニケーショントレーニング	コミュニケーションの大切さを学び、ビジネスシーンにも通用するプレゼンテーション技法の基礎を身につける。より効果的な相互コミュニケーションの取り方を主体的に学ぶ。
医療関連法規	医療保険制度、診療報酬算定、公費負担制度など法の概念と制度の仕組みを理解し、保険請求事務業務の意味を知る。
歯科事務Ⅰ・Ⅱ	歯科診療の基礎となる口腔の知識も合わせて学び、歯科のレセプトが作れるだけでなく、幅広い歯科の知識を習得する。
医療秘書	医療秘書として必要な秘書的技能、医学関連知識、医療用語の知識を身につける。
医師事務作業補助Ⅰ・Ⅱ	医師事務作業補助者の業務内容と役割を理解し、各医療文書を作成できるようにする。
社会人基礎講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	就職活動の面接に対応できるような自己分析や業界研究を行い、また一般教養の基礎知識やマナーを習得し、就職試験に対応できる力をつける。
介護事務	介護保険制度の仕組みを理解し、居宅サービスおよび施設レセプトを作成できる。
プレゼン演習	PowerPointによる資料の作成、発表、講評を行うことで、実践的な理解およびコミュニケーション能力を高める。
医療コンピュータ演習Ⅰ・Ⅱ	基本的な医療保険請求事務と手書きレセプト演習の知識をもとに医療事務コンピュータでの操作技術を学び、レセプトコンピュータソフトを使いこなせる技術を身につける。
手話	聴覚障害の特性や聴覚障害者の生活およびコミュニケーション方法を理解することを目的とし、手話技能を学ぶ。
病院管理学	医療事故、院内感染防止対策や個人情報保護対策などの安全管理対策に関する法令等の知識や、医療機関で働くにあたっての医療従事者等の職業理解を深める。
介護コンピュータ演習	介護保険コンピュータソフトを操作しながら問題演習を解くことにより、介護保険制度自体の理解を深め、介護保険コンピュータソフトを使いこなせる技術を身につける。
歯科助手演習	歯科助手として活躍できる人材を目指し、実際の歯科医院を想定して診療助技術を学ぶ。
電子カルテ演習	診断書などの文書作成補助、診療録記録への代行人力等電子カルテシステムで利用する技術と知識およびDPCに対する理解と知識も身につける。
研究課題演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	グループごとにテーマを決めて研究、発表を行う。医療事務職として学会等で発表する機会に向けて、そのスキルを身につける。
医療機関実習Ⅰ・Ⅱ	医療機関における医療事務員の働きや役割を知るとともに業務の流れを理解し、実際の窓口業務を実習を通して学ぶ。
人体構造・機能論	人体の基本的仕組みを系統的に理解すること(解剖学・組織学)と、その動き(生理学)を学び、生命の「いとなみ」の基本を学ぶ。
医学用語	人体の構造・機能、症状、診断名、医療行為などの必要な専門用語を習得し、特にチーム医療の要となる診療録に記載されることの多い、よく使用される略語を中心に学ぶ。
臨床医学各論Ⅰ・Ⅱ	医療事務員として業務に必要な疾病について基本的な知識を学ぶ。

学 習 ・ 就 職 サ ポ ー ト

1 新しい時代の学びの環境整備

これからの教育は、新しい時代に対応した学びの環境整備が求められています。穴吹カレッジでは、その時々々の状況に対応しつつ、遠隔授業の導入や、ガイドラインに沿った実習・実技科目の実践などを行い、どんな状況下でも学生に同じ内容の教育を提供できるよう努めています。社会が求める専門的な知識や技術と人間力を在学中に育むことで、自ら主体的に学び生涯にわたり学生が成長を続けられる教育を提供します。



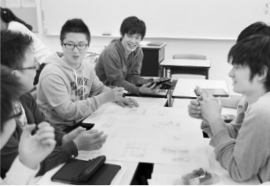
2 資格合格への道筋

日々変化する社会情勢の中、資格は大きな武器です。穴吹カレッジは、学生の資格・検定取得指導において、長年実績をあげてきたノウハウを持っています。また、カリキュラムに検定試験対策を組み込んでいるので、授業の中で無理なく勉強することができます。国家資格などの難関資格は、自主学习時間や放課後の補講でしっかり対策をとっています。



オリジナル教材

理解しやすいように、教員が独自に作成しています。



アクティブラーニング

学生が主体的に教え、学び、記憶の定着力を高めます。



授業にアプリを利用

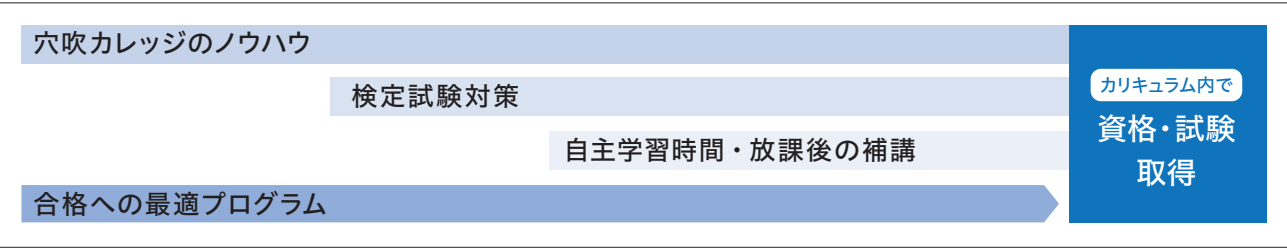
アプリを使い、リアルタイムで解答や解説を理解できます。



タブレットの活用

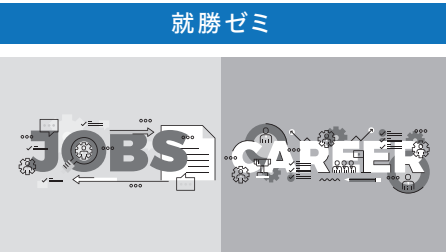
無線LAN環境で、タブレットを使って学べます。

「積み上げた実績」と「合格への最適プログラム」



3 就職を勝ち取るサポート

学生が学んだことが活かせる仕事に就けるように、バックアップします。



大手企業や志望企業への内定を勝ち取るために、テキストと動画で学ぶオリジナル教材を活用した就勝ゼミを行います。自分自身をさらに成長させ、自信を持って就職活動に挑めます。



オンラインでリアルタイムに行われるWEB面接。WEB面接を行う企業への就職を考えている学生に指導を行っています。



コロナ禍で企業の採用活動が鈍る中、1日に数十件の企業へアプローチ・企業訪問を行い、就職への窓口を拡充しています。

学生ポータルサイトの活用	求人票の検索や質疑応答をはじめ、学校からの連絡事項をスマホなどのモバイル端末に配信しています。
社会人基礎講座	自己分析や就職活動に必要な知識など、社会人としての基本的マナーを身につけられます。
就職ガイダンス・講演会	穴吹カレッジに寄せられる多くの求人票の中から希望に合う企業の紹介やアドバイスなど受けられたり、各業界や卒業生の講演を受けられます。

他にも [インターンシップ](#) [就職研修](#) [美容講習会](#) [企業説明会](#) など

2018年度 卒業生就職先一覧

就職内定率 **100%** ※就職希望者内定率 2018年度卒業生 **525名** 就職希望者 **495名** 就職内定者 **495名** (公務員学科の公務員就職除く) 業界内就職内定率 **94%** 就職希望者 **495名** 就職内定者 **466名**

就職先	所在地
穴吹コンピュータカレッジ 情報システム学科	
ウェブシステムテクノロジー株式会社	香川県
株式会社トスバックシステムズ	香川県
株式会社ミトラ	香川県
株式会社四国電子計算センター	香川県
株式会社日本テクニクス	香川県
株式会社百十四システムサービス	香川県
CTCシステムマネジメント株式会社	東京都
ネット・インフォメーション株式会社	東京都
株式会社エジソン	東京都
株式会社アウトソーシングテクノロジー	東京都
株式会社都築ソフトウェア	東京都
穴吹コンピュータカレッジ ネットワークセキュリティ学科	
ニチエイスチール株式会社	香川県
株式会社STNet	香川県
株式会社アクシス・クリエイト	香川県
株式会社四国イエローハット	香川県
株式会社インテックソリューションパワー	香川県
株式会社タダノシステムズ	香川県
株式会社ロジック	香川県
株式会社日本テクニクス	香川県
株式会社IJJエンジニアリング	東京都
株式会社日本ブレースメントセンター	東京都
株式会社アソウ・アルファ	福岡県
穴吹コンピュータカレッジ 情報ビジネス学科	
NTTデータカスタマサービステクノロジ株式会社	香川県
株式会社DynaxT	香川県
株式会社四国イエローハット	香川県
株式会社カーボフードマネジメント	香川県
株式会社クールジャパン	香川県
株式会社たかせんテレコム	香川県
株式会社タケダ	香川県
香川日野自動車株式会社	香川県
四国段ボール株式会社	香川県
春日堂株式会社	香川県
穴吹ビジネスカレッジ ホテル学科	
オークラホテル株式会社	香川県
株式会社中央	香川県
株式会社JR四国ホテルズ	香川県
株式会社穴吹カレッジサービス	香川県
株式会社三貴商事	香川県
ホテルニューアワジグループ	兵庫県
ANAクラウンプラザホテル大阪	大阪府
株式会社近鉄・都ホテルズ	大阪府
穴吹ビジネスカレッジ 企業ビジネス学科 経営ビジネス専攻 (現企業ビジネス専攻)	
ノーリツ住設株式会社	香川県
アオイ電子株式会社	香川県
サンコー株式会社	香川県
伊勢丸食品株式会社	香川県
株式会社マルナカ	香川県
株式会社喜代美山荘 花樹海	香川県
株式会社川西水道機器	香川県
株式会社さくら 新鮮市場さくら	香川県
株式会社たかせんテレコム	香川県
株式会社タケダ	香川県
株式会社ネクシイズ	香川県
株式会社ホンダ四輪販売四国	香川県
株式会社マルヨシセンター	香川県
株式会社香川ダイハツモータース	香川県
株式会社百十四銀行	香川県
観音寺信用金庫	香川県

就職先	所在地
香川トヨペット株式会社	香川県
西村ジョイ株式会社	香川県
西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社	香川県
日本エネルギー総合システム株式会社	香川県
株式会社レディ薬局	愛媛県
株式会社ビッグモーター	福岡県
穴吹ビジネスカレッジ 企業ビジネス学科 不動産ビジネス専攻	
株式会社穴吹ハウジングサービス	香川県
株式会社グローバルセンター	香川県
穴吹興産株式会社	香川県
エースカンパニー不動産株式会社	大阪府
穴吹ビジネスカレッジ 公務員ビジネス学科	
香川県任期付職員	香川県
高松市消防局	香川県
徳島県(臨時職員)	徳島県
東京国税局	東京都
陸上自衛隊一般曹候補生	
穴吹ビジネスカレッジ 公務員学科	
丸亀市職員	香川県
香川県警察	香川県
香川県任期付職員	香川県
高松市職員	香川県
高松入国管理局(入国警備官)	香川県
裁判所一般職(高松高等裁判所)	香川県
坂出市職員	香川県
税務職員(高松国税局)	香川県
国立大学法人徳島大学	徳島県
高知市職員	高知県
国家一般職(法務省大阪法務局)	大阪府
税務職員(大阪国税局)	大阪府
税務職員(東京国税局)	東京都
海上自衛隊一般曹候補生	
航空自衛隊自衛官候補生	
陸上自衛隊一般曹候補生	
日本通運株式会社 高松航空支店	香川県
穴吹デザインカレッジ グラフィックデザイン学科	
ナベプロセス株式会社	香川県
ばいこう堂株式会社	香川県
株式会社ヘルツ	香川県
株式会社ネスト	香川県
株式会社メディアミックス研究所	香川県
株式会社ラブラボ	香川県
株式会社大日機鋼	香川県
小松印刷株式会社	香川県
南海プライウッド株式会社	香川県
有限会社猪子デザイン研究室	香川県
株式会社マーキュリー 香川営業所	香川県
株式会社エスプロット	大阪府
株式会社green giraffe.	東京都
株式会社ラデックス	東京都
株式会社アウトソーシングテクノロジー	東京都
株式会社エイジエック	東京都
穴吹デザインカレッジ マンガ・コミックイラスト学科	
アイル・パートナーズ株式会社	香川県
ネットヨタ高松株式会社	香川県
株式会社いちのや	香川県
株式会社久本酒店	香川県
株式会社中央	香川県
株式会社志満秀	香川県
丸善織物株式会社	香川県
合同会社アシカン	香川県

就職先	所在地
四国段ボール株式会社	香川県
大倉工業株式会社	香川県
有限会社稲沢金属標銀工業所	香川県
穴吹デザインカレッジ トータルインテリア学科	
アックス株式会社	香川県
プランアーク建築事務所	香川県
株式会社四国ダイケン	香川県
株式会社菅組	香川県
株式会社ヒカリ	香川県
株式会社マルトク	香川県
株式会社ヤマトマネキン・ウエスト	香川県
株式会社高松大洋工芸	香川県
株式会社谷本建設	香川県
株式会社日進堂	香川県
株式会社木村建設	香川県
中庭住宅株式会社	香川県
有限会社唐渡木工所	香川県
有限会社富士木工所	香川県
有限会社中村建築設計事務所	香川県
株式会社四季彩	徳島県
株式会社ナイスリフォーム	徳島県
穴吹デザインカレッジ ゲームクリエイター学科 (現ゲームクリエイター学科)	
さぬき丸一製麺株式会社	香川県
株式会社テクノプロ テクノプロ・IT社	香川県
株式会社ロジック	香川県
株式会社日ノ丸急送	香川県
西村ジョイ株式会社	香川県
日新製袋株式会社	香川県
株式会社AVOCADO(アボカド)	高知県
株式会社ケーツ	大阪府
株式会社トーセ	京都府
株式会社日本ブレースメントセンター	東京都
穴吹ビューティカレッジ 美容学科	
Amouroad Hair(アムロードヘア)	香川県
Atelier ecru(アトリエ エクリュ)	香川県
Hair Stage Drop	香川県
Y's Blue(イースブルー)	香川県
eito(エイト)	香川県
株式会社KEIM(カイム)	香川県
株式会社Palette PORTEBLEUE UTRILLO	香川県
株式会社のむら Hair Make SHIN'S	香川県
株式会社マリエ・ア・モード	香川県
有限会社ソールHAIR&FACE	香川県
有限会社美容室さかもと	香川県
有限会社美容室トップヘアーズ	香川県
株式会社アースホールディングス	兵庫県
株式会社クラフト・ワークス	兵庫県
ピアス株式会社	大阪府
株式会社モードケイズ	大阪府
株式会社Lee(リー)	大阪府
株式会社グランジュ fizelle(フィゼル)	大阪府
有限会社ゼファー	大阪府
穴吹ビューティカレッジ ビューティコーディネーター学科	
Nail Salon Feminine(ネイルサロンフェミニン)	香川県
株式会社高松三越	香川県
株式会社コーセー	香川県
有限会社カールズジャパン	香川県
有限会社センコヤ本店	香川県
株式会社アルビオン	東京都
株式会社ソシエ・ワールド	東京都

就職先	所在地
穴吹ビューティカレッジ 国際エステ学科(現トータルエステティック学科)	
TBCグループ株式会社	東京都
株式会社スリムビューティハウス	東京都
株式会社ソシエ・ワールド	東京都
株式会社不二ビューティ	東京都
穴吹ビューティカレッジ ブライダル学科	
株式会社ベルモニー	香川県
株式会社花由	香川県
株式会社高松三越	香川県
株式会社アケボノスタジオ	香川県
株式会社フォーシスアンドカンパニー	香川県
株式会社寿や貸衣裳	香川県
BIJOUPIKOグループ	大阪府
株式会社クレールコーポレーション	愛知県
穴吹工科カレッジ 自動車整備学科	
トヨタカラー香川株式会社	香川県
ネットトヨタ香川株式会社	香川県
株式会社ビッグモーター	香川県
株式会社スズキ自販香川	香川県
株式会社ホンダ四輪販売四国	香川県
香川ダイハツ販売株式会社	香川県
香川トヨタ自動車株式会社	香川県
香川三菱自動車販売株式会社	香川県
香川日野自動車株式会社	香川県
徳島石油株式会社	香川県
株式会社四国イエローハット	香川県
香川トヨペット株式会社	香川県
いすゞ自動車中国四国株式会社	広島県
大阪トヨタ自動車株式会社	大阪府
UDトラックス株式会社	愛知県
株式会社ネクステージ	愛知県
株式会社ケーユーホールディングス	東京都
穴吹リハビリテーションカレッジ 理学療法学科	
やまじ呼吸器内科クリニック	香川県
医療法人仁寿会 吉田病院	香川県
医療法人財団博仁会 キナシ大林病院	香川県
医療法人社団おか整形・リハビリクリニック	香川県
医療法人社団雅友愛会 太田病院	香川県
医療法人社団健愛会 あきやまクリニック	香川県
医療法人社団健仁会 岩本病院	香川県
医療法人社団高杉会 介護老人保健施設 香南苑	香川県
医療法人社団慈愛会 介護老人保健施設 八栗の里	香川県
医療法人社団寿愛会 羽崎病院	香川県
医療法人社団純心会 介護老人保健施設 ハートフルこくぶん荘	香川県
医療法人社団西山脳神経外科病院	香川県
医療法人社団藤井外科胃腸科・整形外科	香川県
医療法人社団和風会 橋本病院	香川県
医療法人社団葆光会 広瀬整形外科医院	香川県
医療法人社団たけお会 岩佐病院	香川県
医療法人社団光風会 三光病院	香川県
株式会社シニアライフアシスト	香川県
社会福祉法人サンシャイン会	香川県
独立行政法人地域医療機能推進機構つりりん病院	香川県
番丁クリニック	香川県
医療法人清仁会 宇多津病院	香川県
医療法人和光会 前田病院	香川県
医療法人社団温裕会 たかはし整形外科医院	香川県
医療法人社団研宣会 広瀬病院	香川県
医療法人社団重仁 まるがめ医療センター	香川県
医療法人社団仁泉会 介護老人保健施設 渡の里	香川県
医療法人社団谷本内科医院	香川県
医療法人社団こくぶりた こくぶ脳外科・内科クリニック	香川県
医療法人社団永井整形外科医院	香川県

就職先	所在地
香川医療生活協同組合	香川県
社会福祉法人香東園	香川県
社会福祉法人かがわ総合リハビリテーション事業団	香川県
社会福祉法人すみれ福祉会	香川県
西高松グループ	香川県
医療法人芳越会 ホウエツ病院	徳島県
医療法人財団尚温会 伊予病院	愛媛県
医療法人野毛会 もとぶ野毛病院	沖縄県
穴吹リハビリテーションカレッジ 作業療法学科	
医療法人圭良会 永生病院	香川県
医療法人ブルースカイ 松井病院	香川県
医療法人社団雅友愛会 太田病院	香川県
医療法人社団五色会 こころの医療センター五色台	香川県
医療法人社団伸萌会 介護老人保健施設 ハビネス	香川県
医療法人社団仁泉会 介護老人保健施設 鮎の里	香川県
香川医療生活協同組合	香川県
財団法人三宅医学研究所 附属三宅リハビリテーション病院	香川県
三豊総合病院企業団	香川県
独立行政法人地域医療機能推進機構つりりん病院	香川県
番丁クリニック	香川県
有限会社 エイトビルズ・コーポレーション デイサービス嵐	香川県
医療法人平成博愛会 博愛記念病院	徳島県
医療法人医誠会 児島中央病院	岡山県
医療法人平野同仁会 総合病院 津山第一病院	岡山県
穴吹バティシエ福祉カレッジ こども保育学科	
香番街ドーム保育園	香川県
学校法人古高松学園 つくし幼稚園	香川県
学校法人聖母学園	香川県
三豊市嘱託職員	香川県
社会福祉法人守里会	香川県
社会福祉法人カナン福祉センター	香川県
社会福祉法人こぶし福祉会	香川県
社会福祉法人岡山千鳥福祉会	岡山県
穴吹バティシエ福祉カレッジ 保育食育学科(現こども保育学科)	
みどり合同税理士法人グループ	香川県
学校法人古高松学園幼児進携型認定こども園 サンシャインこどもの森	香川県
学校法人聖母学園	香川県
株式会社ソニック	香川県
社会福祉法人らく楽福祉会	香川県
社会福祉法人長尾福祉会	香川県
社会福祉法人すみれ福祉会	香川県
社会福祉法人もえぎの会	香川県
社会福祉法人大樹福祉会 障害福祉サービス事業所サン	香川県
社会福祉法人未知の会	香川県
特定非営利活動法人クリア	香川県
有限会社カールズジャパン	香川県
幼保連携型認定こども園 和光こども園	香川県
穴吹バティシエ福祉カレッジ 介護福祉学科	
あなぶきメディカルケア株式会社	香川県
さぬき市職員	香川県
一般社団三豊・観音寺市医師会 三豊市立西香川病院	香川県
社会福祉法人花園福祉会 特別養護老人ホームはなぞの園	香川県
社会福祉法人香川県社会福祉事業団 香川県ふじみ園	香川県
社会福祉法人三野福祉会	香川県
社会福祉法人さぬき 特別養護老人ホーム さぬき	香川県
社会福祉法人もえぎの会	香川県
社会福祉法人共済会 特別養護老人ホーム 楽々苑	香川県
医療法人誠和会 倉敷記念病院	岡山県
穴吹バティシエ福祉カレッジ バティシエ・ベーカリー学科	
株式会社アゴラ	香川県
株式会社きさざぎ	香川県

就職先	所在地
株式会社ちきりや	香川県
株式会社ブラン	香川県
株式会社ルーヴ	香川県
株式会社香西物産	香川県
社会福祉法人多度津さくら会	香川県
有限会社サンファソン	香川県
有限会社昭和堂	香川県
株式会社ババベル	徳島県
株式会社渋谷食品	高知県
医療法人和楽会 介護老人保健施設 倉敷あいあいえん	岡山県
株式会社ワールドフーズ	兵庫県
ビルボードライブ大阪	大阪府
ラッシュ株式会社 (Qu'il fait bon)	静岡県
株式会社HUGE	東京都
穴吹バティシエ福祉カレッジ 製菓衛生学科	
お菓子の工房 リンドン	香川県
穴吹動物看護カレッジ 動物看護総合学科	
有限会社社将基農産 鮎滝ファーム	香川県
あい犬猫病院	香川県
さぬき動物愛護センター	香川県
すぎき動物病院	香川県
まく動物病院	香川県
みずしま動物病院	香川県
株式会社ケン&1	香川県
株式会社ベッツウェイ たかせ動物病院	香川県
株式会社ユエミック	香川県
犬床屋and犬宿屋	香川県
有限会社動物病院光晃堂	香川県
有限会社佐野 佐野獣医科病院	高知県
穴吹動物看護カレッジ 動物衛生看護学科 動物看護師専攻(現動物看護総合学科)	
アルタム動物病院	香川県
すぎき動物病院	香川県
砂川犬と猫の病院	香川県
有限会社四国動物医療センター	香川県
國重動物病院	香川県
木村どうぶつ病院	高知県
穴吹動物看護カレッジ 動物健康管理学科 ペット美容・グルーマー専攻	
サカイ商事株式会社 (ペットハウスブーキー)	香川県
ドッグガーデン志度	香川県
有限会社Coo&RIKU	香川県
株式会社Plus生活 ぱびぶべっと	香川県
株式会社ケン&1	香川県
株式会社たかせんテレコム	香川県
株式会社ドッグアドベンチャー	香川県
アンジュ株式会社	兵庫県
ドッグプレイス神戸店	兵庫県
株式会社淀川中央動物病院	大阪府
ドッグビューティーヒロ	京都府
新成ビル有限会社 ワンボックス	京都府
穴吹動物看護カレッジ 動物健康管理学科 しつけインストラクター専攻	
株式会社AHB (PetPlus)	香川県
大協建工株式会社	香川県
有限会社Coo&RIKU	香川県
有限会社PURENESS	大阪府
有限会社ドッグ・アミューズメント迎賓館	大阪府
有限会社桂商事	栃木県
穴吹医療大学校 看護学科	
さぬき市職員	香川県
香川県厚生農業協同組合連合会	香川県

就職先	所在地
高松赤十字病院	香川県
国立大学法人香川大学 香川大学医学部附属病院	香川県
独立行政法人国立病院機構 高松医療センター	香川県
香川医療生活協同組合	香川県
香川県病院局	香川県
坂出市職員	香川県
三豊総合病院企業団	香川県
独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター	香川県
独立行政法人地域医療機能推進機構つりりん病院	香川県
徳島県厚生農業協同組合連合会 阿波病院	徳島県
社会医療法人社団更生会 村上記念病院	愛媛県
社会医療法人石川記念会 HITO病院	愛媛県
独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	愛媛県
愛媛県職員	愛媛県
松山赤十字病院	愛媛県
岡山医療生活協同組合	岡山県
医療法人沖縄徳洲会 神戸徳洲会病院	兵庫県
大阪府済生会泉尾病院	大阪府
淀川キリスト教病院	大阪府
独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター	大阪府
済生会横浜市南部病院	神奈川県
小田原市立病院	神奈川県
IMS (イムス) グループ	東京都
東京医科大学病院	東京都
穴吹コンピュータカレッジ 情報システム学科	
株式会社マルナカ	香川県
株式会社トスバックシステムズ	香川県
株式会社ミツ	香川県
株式会社ロジック	香川県
株式会社穴吹カレッジサービス	香川県
株式会社日本テクニクス	香川県
中央コンピューター株式会社	香川県
BEENOS株式会社	東京都
株式会社ティーピーエス	東京都
株式会社ベージック	東京都
穴吹コンピュータカレッジ ネットワークセキュリティ学科	
株式会社たかせんテレコム	香川県
株式会社テクノプロ テクノプロ・IT社	香川県
大倉工業株式会社	香川県
中央コンピューター株式会社	香川県
株式会社東洋	京都府
CTCシステムマネジメント株式会社	東京都
株式会社IIJエンジニアリング	東京都
株式会社シャフト	東京都
株式会社日本プレースメントセンター	東京都
穴吹コンピュータカレッジ 情報ビジネス学科	
パナソニックSSサービス株式会社	香川県
株式会社ハマダフードシステム	香川県
株式会社ゴーフールド	香川県
株式会社サカイ引越センター	香川県
香川県信用組合	香川県
生駒学税理士事務所	香川県
西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社	香川県
日本メディアシステム株式会社	香川県
日本フネン株式会社	徳島県
ELJグループ (ILJソーラーコーポレーション)	愛知県

就職先	所在地
東京女子医科大学東医療センター	東京都
沖縄県病院事業局 (沖縄県立病院)	沖縄県
沖縄赤十字病院	沖縄県
医療法人沖縄徳洲会 中部徳洲会病院	沖縄県
医療法人タビック 沖縄リハビリテーションセンター病院	沖縄県
社会医療法人敬愛会 中頭病院	沖縄県
穴吹医療大学校 歯科衛生学科	
医療法人なないろ歯科・こども矯正歯科クリニック	香川県
医療法人社団育成会 鈴木歯科クリニック	香川県
医療法人社団グローバル会	香川県
医療法人社団しん治歯科医院	香川県
医療法人社団丸亀町ハビット歯科クリニック	香川県
医療法人社団耕寿会 河田歯科医院	香川県
医療法人社団小野歯科医院	香川県
岩田歯科医院	香川県
高松駅前アルファ歯科クリニック	香川県
植松歯科クリニック	香川県
武田歯科医院	香川県
長井歯科医院	愛媛県
浮田歯科医院	愛媛県
しんご歯科	岡山県
医療法人社団Kデンタルクリニック	兵庫県
穴吹ビジネスカレッジ ホテル学科	
株式会社高松三越	香川県
株式会社JR四国ホテルズ	香川県
東洋テックス株式会社	香川県
ホテルニューアワジグループ	兵庫県
ボトマックグループ	兵庫県
コアグローバルマネジメント株式会社	東京都
穴吹ビジネスカレッジ 企業ビジネス学科 経営ビジネス専攻(現企業ビジネス専攻)	
ネットトヨタ香川株式会社	香川県
株式会社ハマダフードシステム	香川県
株式会社アメニティ 高松営業所	香川県
株式会社ウッドホーム	香川県
株式会社ホンダ四輪販売四国	香川県
株式会社香川ダイハツモーターズ	香川県
株式会社百十四銀行	香川県
四国興業株式会社	香川県
小笠原保税理士事務所	香川県
西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社	香川県
有限会社四国温水器サービスセンター	香川県
有限会社電マーク	香川県
スズカ電工株式会社	大阪府
穴吹ビジネスカレッジ 企業ビジネス学科 不動産ビジネス専攻	
BLUNO不動産株式会社	香川県
株式会社コスモ不動産	香川県
株式会社穴吹ハウジングサービス	香川県
株式会社ナイスリフォーム	徳島県
穴吹ビジネスカレッジ 公務員ビジネス学科	
厚生労働省 香川労働局	香川県
裁判所一般職 (高松高等裁判所)	香川県
坂出市職員	香川県
航空自衛隊自衛官候補生	

就職先	所在地
医療法人輝笑会 いちき歯科	大阪府
医療法人翼翔会	大阪府
穴吹医療大学校 医療事務・ドクター秘書学科	
さんごの海整形外科	香川県
医療法人なないろ歯科・こども矯正歯科クリニック	香川県
医療法人社団山本内科クリニック	香川県
医療法人春風会 樫村病院	香川県
医療法人社団しん治歯科医院	香川県
医療法人社団みどり会	香川県
医療法人社団吉田内科医院	香川県
医療法人社団琴佳会 中央クリニック	香川県
医療法人社団功寿会 アイシークリニック	香川県
医療法人力正会 小林整形外科医院	香川県
株式会社福祉山臨床検査センター	香川県
高松市職員	香川県
社会医療法人財団大樹会 総合病院 回生病院	香川県
西高松グループ	香川県
穴吹医療大学校 病院事務・診療情報学科	
株式会社ニチイ学館	香川県
穴吹ビジネスカレッジ 公務員学科	
丸亀市職員	香川県
香川県警察	香川県
香川県職員	香川県
香川県任用職員	香川県
税務職員 (高松国税局)	香川県
高松市消防局	香川県
高松市職員	香川県
坂出市職員	香川県
三観広域行政組合消防本部	香川県
三豊市職員	香川県
大川広域消防本部	香川県
東かがわ市職員	香川県
東京消防庁	東京都
海上自衛隊一般層候補生	
航空自衛隊一般曹候補生	
陸上自衛隊一般曹候補生	
大塚整形外科医院	香川県
株式会社多田文房堂	香川県
株式会社王将フードサービス	香川県
日本インターシステムズ株式会社	大阪府
日本メディケア株式会社	大阪府
穴吹デザインカレッジ グラフィックデザイン学科	
インテリア竹内	香川県
くりや染店	香川県
ナベプロセス株式会社	香川県
株式会社ヘルツ	香川県
株式会社テルミ・エンタープライズ	香川県
株式会社モンジグラフィックス	香川県
株式会社ラブラボ	香川県
株式会社福家写真館	香川県
小松印刷株式会社	香川県
有限会社デザイン工房エム	香川県
株式会社ツアーバンクシステム	沖縄県

就職内定率**100%**

※就職希望者内定率

2019年度卒業生
就職内定者 **459名**

就職希望者 **459名**
就職内定者 **459名**
(公務員学科の公務員就職除く)

業界内就職内定率**96.7%**

就職希望者 **459名**
就職内定者 **444名**

就職先	所在地
穴吹デザインカレッジ マンガ・コミックイラスト学科	
サヌキ印刷株式会社	香川県
株式会社タケダ	香川県
株式会社イーグル	香川県
株式会社たかせんテレコム	香川県
株式会社ラブラボ	香川県
株式会社三和	香川県
香川県農業協同組合	香川県
瀬戸内名物 Taining (ダイニング)	香川県
大倉工業株式会社	香川県
株式会社サーバントップ 大阪支店	大阪府
穴吹デザインカレッジ トータルインテリア学科	
あなぶきホーム株式会社	香川県
すぎやま家具	香川県
セキスイハイム東四国株式会社	香川県
株式会社フソウリブテック	香川県
株式会社植原建設	香川県
株式会社奎創社	香川県
株式会社ガイナ	香川県
株式会社小竹組	香川県
株式会社大河内工務店	香川県
株式会社日進堂	香川県
有限会社道井工芸	香川県
高陽建設株式会社	香川県
株式会社アイム・コラボレーション	岡山県
佐藤建設株式会社	岡山県
株式会社テレフィット	東京都
穴吹デザインカレッジ ゲームクリエイター学科（現ゲームクリエイター学科）	
株式会社ジーン	香川県
株式会社タナベ刺繍	香川県
株式会社日進研	東京都
有限会社タキオン	東京都
穴吹ビューティカレッジ 美容学科	
Amare株式会社 (アマーレ)	香川県
HAIR MAKE LUSSO (ルッソ)	香川県
株式会社HACKERS & Co.is land Raymond	香川県
株式会社KEIM (カイム)	香川県
株式会社Palette PORTEBLEUE UTRILLO	香川県
株式会社のむら Hair Make SHIN'S	香川県
株式会社ビューティトップヤマン	香川県
有限会社リッツ	香川県
株式会社シラク 美容室たいふーん	徳島県
株式会社GRAND BEAUTY (グランビューティー)	岡山県
株式会社メロウ	岡山県
株式会社アンテリーベ	兵庫県
株式会社ハイル (KHAIR)	大阪府
株式会社エール	奈良県
株式会社ハビネス	奈良県
穴吹ビューティカレッジ ビューティコーディネーター学科	
Qa by Annie & Gino キュアバイアニーアンドジーノ	香川県
株式会社高松三越	香川県
株式会社エキップ	香川県
株式会社コーセー	香川県
株式会社ネイルズユニークオブジャパン	兵庫県
株式会社Diva (ディーバ)	大阪府
株式会社O (レンタル着物&Hair Make first)	京都府
株式会社アルビオン	東京都
資生堂ジャパン株式会社	東京都
穴吹ビューティカレッジ 国際エステ学科（現トータルエステティック学科）	

就職先	所在地
医療法人社団哲樹会 真弓愛メディカル美容皮膚科・真弓内科呼吸器科医院	香川県
株式会社スリムビューティハウス	東京都
株式会社ソシエ・ワールド	東京都
株式会社不二ビューティ	東京都
TBCグループ株式会社	東京都
穴吹ビューティカレッジ ブライダル学科	
株式会社G-WORKS アクアビジョンズ事業部	香川県
株式会社ベルモニー	香川県
株式会社二蝶	香川県
株式会社TMN2 フラウ神戸・ブルードア京都	香川県
株式会社アイアイイズHD	香川県
株式会社ときわ	香川県
株式会社三貴商事	香川県
株式会社レック KSGグループ	兵庫県
株式会社アルカンシエル	東京都
穴吹工科カレッジ 自動車整備学科	
エムラインオート株式会社	香川県
コマツカスタマーサポート株式会社	香川県
トヨタカラー香川株式会社	香川県
ネットヨタ香川株式会社	香川県
花園特殊車輛株式会社	香川県
株式会社JA香川県オートエナジー	香川県
株式会社スズキ自販香川	香川県
株式会社ハヤシ (くるまのハヤシ)	香川県
株式会社ホンダ四輪販売四国	香川県
株式会社ヤナセ	香川県
株式会社香川ダイヤツモータース	香川県
株式会社星城モータース	香川県
東四国スバル株式会社	香川県
香川マツダ販売株式会社	香川県
UDトラックス株式会社	香川県
株式会社ビッグモーター	香川県
ヤマトオートワークス株式会社	香川県
香川いすゞ自動車株式会社	香川県
香川トヨペット株式会社	香川県
瀬戸内陸運株式会社	香川県
愛媛トヨタ自動車株式会社	愛媛県
いすゞ自動車中国四国株式会社	広島県
株式会社ユウキ自動車	兵庫県
株式会社レゾリューション	大阪府
大阪トヨタ自動車株式会社	大阪府
フォーシーズズ株式会社	大阪府
滋賀ホンダ販売株式会社	滋賀県
穴吹リハビリテーションカレッジ 理学療法学科	
医療法人社団恵生会 通所リハビリテーション 桃源郷	香川県
医療法人社団健愛会 あぎやまクリニック	香川県
医療法人社団弘徳会 マオカ病院	香川県
医療法人社団大杉脳神経外科医院	香川県
医療法人社団東高松クリニック	香川県
医療法人社団仁樹会 オサカ病院	香川県
医療法人社団永井整形外科医院	香川県
香川医療生活協同組合	香川県
財団法人三宅医学研究所 附属三宅リハビリテーション病院	香川県
社会福祉法人祐正福祉会 介護老人保健施設 ヌーベルさんがわ	香川県
西高松グループ	香川県
独立行政法人地域医療機能推進機構りつりん病院	香川県
医療法人圭良会 永生病院	香川県
医療法人弘仁会 三条整形外科スポーツクリニック	香川県
医療法人ブルースカイ 松井病院	香川県
医療法人財団博仁会 キナシ大林病院	香川県
医療法人社団温裕会 たかはし整形外科医院	香川県
医療法人社団新進会 おさか脳神経外科病院	香川県
医療法人社団西山脳神経外科病院	香川県
医療法人社団大杉脳神経外科医院	香川県
株式会社シニアライフアシスト	香川県

就職先	所在地
高松南整形外科スポーツクリニック	香川県
社会医療法人財団大樹会 総合病院 回生病院	香川県
社会福祉法人正友会	香川県
社会福祉法人かがわ総合リハビリテーション事業団	香川県
医療法人松風会 江藤病院	徳島県
医療法人財団尚温会 伊予病院	愛媛県
穴吹リハビリテーションカレッジ 作業療法学科	
医療法人社団雅友愛会 太田病院	香川県
医療法人社団五色会 こころの医療センター五色台	香川県
医療法人社団重仁 まるがめ医療センター	香川県
医療法人社団西山脳神経外科病院	香川県
医療法人社団和風会 橋本病院	香川県
一般社団三豊・観音寺市医師会 三豊市立西香川病院	香川県
株式会社シニアライフアシスト	香川県
高松赤十字病院	香川県
国立大学法人香川大学 香川大学医学部附属病院リハビリテーション部	香川県
社会福祉法人かがわ総合リハビリテーション事業団	香川県
悠悠有限会社	香川県
医療法人絃友会 福山友愛病院	広島県
穴吹バティシエ福祉カレッジ こども保育学科	
NPO法人子育てネットくすくす 児童デイサービスまいる	香川県
アートチャイルドケア株式会社	香川県
のぞみ幼稚園	香川県
学校法人古高松学園 つくし幼稚園	香川県
学校法人古高松学園幼保連携型認定こども園 サンシャインこどもの森	香川県
学校法人新田学園幼保連携型認定こども園 新田幼稚園	香川県
株式会社チャイルドケアニ（24）	香川県
社会福祉法人和光福祉会	香川県
社会福祉法人田村やまびこ会 Doやまびこ	香川県
平成レグス株式会社	香川県
社会福祉法人澄心 ステップbyすてっぷ	愛媛県
株式会社モード・プランニング・ジャパン 雲母保育園	東京都
穴吹バティシエ福祉カレッジ 保育食育学科（現こども保育学科）	
学校法人聖母学園	香川県
学校法人青山幼稚園あおやま保育園	香川県
社会福祉法人銀星の家	香川県
社会福祉法人守里会	香川県
社会福祉法人すみれ福祉会 さくら伏石保育園	香川県
穴吹バティシエ福祉カレッジ 介護福祉学科	
あなぶきメディカルケア株式会社	香川県
さぬき市職員	香川県
医療法人社団五色会 介護老人保健施設 五色台	香川県
株式会社ハッピーライフ愛	香川県
社会福祉法人福寿会	香川県
社会福祉法人さぬき 特別養護老人ホーム さぬき	香川県
穴吹バティシエ福祉カレッジ パティシエ・ベーカリー学科	
アントアント	香川県
株式会社Ciel Patisserie Ciel	香川県
株式会社バババベル	香川県
株式会社島醸	香川県
株式会社名物かまじ	香川県
株式会社アゴラ	香川県
株式会社かわよし	香川県
株式会社ちきりや	香川県
株式会社なかむら	香川県
株式会社ひぐち	香川県
株式会社ブラン	香川県
株式会社ルーヴ	香川県
有限会社カズ	香川県
有限会社サンファソン	香川県
株式会社エースワン	高知県

就職先	所在地
有限会社ツマガリ	兵庫県
有限会社菓樂 パティスリー カラン	京都府
穴吹動物看護カレッジ 動物看護総合学科	
うらら動物病院	香川県
すぎき動物病院	香川県
ドッグサロン ナナ	香川県
はるひな動物病院	香川県
自衛隊香川地方協力本部	香川県
株式会社ぱお	徳島県
MIRU動物病院	愛媛県
はな動物病院	愛媛県
トリミングサロン& ペットホテルLuLuDog	大阪府
有限会社関空ペット	大阪府
有限会社桂商事	岩手県
穴吹動物看護カレッジ 動物衛生看護学科 動物看護師専攻（現動物看護総合学科）	
アシル動物病院	香川県
あまり動物病院	香川県
たまも動物病院	香川県
株式会社松本エイエイチ・まほろば動物病院	香川県
株式会社ベッツウエイ たかせ動物病院	香川県
大平大猫病院	香川県
大林動物病院株式会社 KOKOどうぶつ病院	香川県
大クスどうぶつ病院	徳島県
きたむら動物病院	高知県
穴吹動物看護カレッジ 動物健康管理学科 ペット美容・グルーマー専攻	
DOG・COTTAGE・RAN-RAN	香川県
うらら動物病院	香川県
サカイ商事株式会社 (ペットハウスブーキー)	香川県
ペットサロンジュリアン株式会社	香川県
有限会社Coo&RIKU	香川県
株式会社タイム	香川県
株式会社ケン&1	香川県
大林動物病院株式会社 KOKOどうぶつ病院	香川県
有限会社ワンラブ	香川県
ドッグ・セブン	岡山県
ドッグサロンリレイズ株式会社	大阪府
穴吹動物看護カレッジ 動物健康管理学科 しつけインストラクター専攻	

2020年度 卒業生就職先一覧	就職内定率 ※就職希望者内定率	100% 555名	2020年度卒業生 就職内定者	511名 511名	就職希望者 就業内定者	511名 477名	業界内 就職内定率	93% 就職希望者	511名 477名	就職希望者 就業内定者	511名 477名	公務員学科の公務員就職数（）
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

穴吹コンピュータカレッジ 情報システム学科	
ウェブシステムテクノロジー株式会社	香川県
株式会社トスバックシステムズ	香川県
株式会社日本テクニクス	香川県
南海ブライウッド株式会社	香川県
富士通エフサス四国カスタマーサービス株式会社	香川県
株式会社松本コンサルタント	徳島県
株式会社ソフテム	神奈川県
NHNテコラス株式会社	東京都
コペルコンソフトサービス株式会社	東京都
株式会社アウトソーシングテクノロジー	東京都
株式会社日本ブレースメントセンター	東京都
穴吹コンピュータカレッジ ネットワークセキュリティ学科	
株式会社MISTsolution	香川県
株式会社たかせんテレコム	香川県
株式会社ロジック	香川県

就職先	所在地
株式会社ひびこペットフレンドリー	香川県
株式会社フジコー	香川県
有限会社ワンラブ	香川県
ラブドッグスクール	岡山県
有限会社キャナップ	大阪府
有限会社ドッグ・アミューズメント迎賓館	大阪府
株式会社バウムクーヘン	福岡県
DogFarmSHINYA	岩手県
穴吹医療大学校 看護学科	
さぬき市職員	香川県
香川県厚生農業協同組合連合会	香川県
香川県病院局	香川県
高松市病院局 高松市立みんなの病院	香川県
国立大学法人香川大学 香川大学医学部附属病院	香川県
坂出市職員	香川県
香川県済生会病院	香川県
小豆島中央病院企業団	香川県
医療法人社団雙和会 クワヤ病院	香川県
医療法人社団玉藻会 馬場病院	香川県
香川医療生活協同組合	香川県
香川県病院局	香川県
高松赤十字病院	香川県
社会医療法人財団大樹会 総合病院 回生病院	香川県
独立行政法人国立病院機構 高松医療センター	香川県
医療法人凌雲会 稲次病院	徳島県
医療法人凌雲会 稲次整形外科病院	徳島県
医療法人きたじま倚山会 きたじま岡病院	徳島県
徳島健康生活協同組合	徳島県
神戸赤十字病院	兵庫県
大阪府済生会泉尾病院	大阪府
済生会横浜市南部病院	神奈川県
医療法人社団宏和会 エビハラ病院	千葉県
医療法人徳洲会 成田富里徳洲会病院	千葉県
社会医療法人敬愛会 中頭病院	沖縄県
社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	沖縄県
おおもと会グループ 大浜第一病院	沖縄県
医療法人友愛会 豊見城中央病院	沖縄県
沖縄医療生活協同組合	沖縄県
沖縄県病院事業局 (沖縄県立病院)	沖縄県
社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	沖縄県
医療法人沖縄徳洲会 中部徳洲会病院	沖縄県

就職先	所在地
穴吹医療大学校 歯科衛生学科	
うすき歯科医院	香川県
まちのはいしゃ	香川県
むね歯科クリニック	香川県
医療法人社団育成会 鈴木歯科クリニック	香川県
医療法人社団グローバル会	香川県
医療法人社団しん治歯科医院	香川県
医療法人社団なかつか歯科	香川県
医療法人社団ゆづか こうざと矯正歯科クリニック	香川県
医療法人社団小野歯科医院	香川県
夏見歯科医院	香川県
香川県病院局	香川県
こんどう歯科医院	愛媛県
医療法人松木歯科クリニック	愛媛県
倉敷医療生活協同組合	岡山県
医療法人心和会 Welcome dental clinic	岡山県
医療法人社団アップル歯科クリニック	兵庫県
田中歯科クリニック	大阪府
医療法人スマイル会 よしだ歯科	大阪府
医療法人ゆめはんな会 ヨリタ歯科クリニック	大阪府
医療法人志朋会 やまむら歯科	愛知県
医療法人社団健歯会 東小金井歯科	東京都
医療法人LOVE&SMILE 友枝歯科クリニック 博多駅前	福岡県
穴吹医療大学校 医療事務・ドクター秘書学科	
あおば内科クリニック	香川県
医療法人歯っぴー 丸亀ごうだ歯科医院	香川県
医療法人財団博仁会 キナシ大林病院	香川県
医療法人社団つばき会 牟礼病院	香川県
医療法人社団宝樹みやの会 宮野病院	香川県
医療法人力正会 小林整形外科医院	香川県
株式会社ニチイ学館	香川県
株式会社社レディ薬局	香川県
株式会社西日本ファーマシー	香川県
社会医療法人財団大樹会 総合病院 回生病院	香川県
西高松グループ	香川県
社会医療法人川島会 川島病院	徳島県
穴吹医療大学校 診療情報管理士専攻学科	
社会医療法人財団大樹会 総合病院 回生病院	香川県
医療法人康生会 淀川平成病院	大阪府

株式会社エフシーアールシステム 株式会社メンバーズ	東京都 東京都
穴吹ビジネスカレッジ ホテル学科	
株式会社共立メンテナンス	香川県
株式会社二蝶	香川県
株式会社京都ホテル	京都府
穴吹ビジネスカレッジ 海外ビジネス学科（現外語ビジネス学科）	
株式会社たかせんテレコム	香川県
四国航空株式会社	香川県
四国旅客鉄道株式会社 (JR四国)	香川県
穴吹ビジネスカレッジ 企業ビジネス学科（現企業ビジネス専攻）	
ネットヨタ香川株式会社	香川県
株式会社香川銀行	香川県
株式会社百十四銀行	香川県

就職先	所在地
讃州電気工事株式会社	香川県
穴吹ビジネスカレッジ 企業ビジネス学科 不動産ビジネス専攻	
セクスイハイム東四国株式会社	香川県
株式会社穴吹ハウジングサービス	香川県
株式会社和田コーポレーション	香川県
丸吉不動産株式会社	香川県
司法書士村上事務所	香川県
ハウス・トゥ・ハウス・ネットサービス株式会社	東京都
穴吹ビジネスカレッジ 公務員ビジネス学科	
直島町職員	香川県
航空自衛隊自衛官候補生	
株式会社エスケイ電業	香川県
穴吹ビジネスカレッジ 公務員学科	
税務職員（高松国税局）	香川県
善通寺市消防本部	香川県
岡山県警察	岡山県
京都府警察	京都府
香川ダイハツ販売株式会社	香川県
四国テクニカルメンテナンス株式会社	香川県
穴吹デザインカレッジ グラフィックデザイン学科	
ヴィレッジヴァンガード イオンモール高松	香川県
マルシマ印刷株式会社	香川県
ラベル工業株式会社	香川県
ワールド印刷株式会社	香川県
株式会社ヘルツ	香川県
株式会社広真	香川県
株式会社tao.	香川県
株式会社トップグラフィックコミュニケーションズ	香川県
株式会社フジブラン	香川県
株式会社ミヤプロ	香川県
株式会社メディアミックス研究所	香川県
株式会社人生は上々だ	香川県
小松印刷株式会社	香川県
有限会社ドリームネットワークアクティビティ	香川県
株式会社ENG I	岡山県
穴吹デザインカレッジ マンガ・コミックイラスト学科	
オー・エル・エス有限会社	香川県
ずきや株式会社	香川県
メディアプレス瀬戸内株式会社 坂出工場	香川県
株式会社ツゲ	香川県
株式会社ベルモニー	香川県
株式会社大西鉄工所	香川県
株式会社ユニオン・グラビア	香川県
西村ジョイ株式会社	香川県
大倉工業株式会社	香川県
株式会社エイジェック	大阪府
株式会社シナリオテクノロジ－ミカガミ	東京都
穴吹デザインカレッジ トータルインテリア学科	
エヌケー建設株式会社	香川県
ファンホーム株式会社	香川県
株式会社奎創社	香川県
株式会社ウッドホーム	香川県
株式会社タカネ設計	香川県
株式会社トーヨーキッチンスタイル	香川県
株式会社ヘンミ	香川県
株式会社ヤマトマネキン・ウエスト	香川県
株式会社小竹組	香川県
株式会社石田工務店	香川県
株式会社富山総合建築	香川県

就職先	所在地
株式会社木村建設	香川県
建築工房ライズ株式会社	香川県
池田設計室	香川県
有限会社西岡家具店	香川県
有限会社道井工芸	香川県
有限会社中村建築設計事務所	香川県
株式会社ヤマダホームズ	群馬県
穴吹デザインカレッジ ゲームクリエイター学科（現ゲームクリエイター学科）	
株式会社MISTsolution	香川県
株式会社エイジェック	香川県
株式会社日ノ丸急送	香川県
株式会社ステアシステム	大阪府
株式会社トーセ	京都府
株式会社ジュビター	京都府
株式会社タムソフト	東京都
株式会社アウトソーシングテクノロジー	東京都
株式会社サイバーコネクトツー	福岡県
穴吹ビューティカレッジ 美容学科	
Amvi	香川県
B-first株式会社	香川県
briller（ブリエ）	香川県
DAYS	香川県
GEEK（ジーク）	香川県
salon Lamp（サロンランプ）	香川県
Y’s Blue（イースブルー）	香川県
株式会社HACKERS & Co.is land Raymond	香川県
株式会社MAQUIA	香川県
株式会社エスワン	香川県
株式会社のむら Hair Make SHIN'S	香川県
有限会社リアライズ 美容室ラファンス	香川県
有限会社Prism Create	香川県
株式会社美容室ゼロ	香川県
有限会社富士子美容室（ラジョールFujiko）	香川県
株式会社コレット	香川県
株式会社zeze	徳島県
株式会社ひまわり	徳島県
株式会社BiBi	高知県
株式会社y.be（ワイビー）	大阪府
株式会社アルイー・トータルビューティーサロン Hair Make rise;	大阪府
株式会社グランジュ fizelle（フィゼル）	大阪府
フーチャークーチャー	大阪府
株式会社ROOT	京都府
hair's BEAU group（ヘアーズ ボウ グループ）	滋賀県
ruf hair design	愛知県
株式会社エルエスモード	東京都
穴吹ビューティカレッジ ビューティコーディネーター学科	
Lotta Nail+Foot（ロッタネイルプラスフット）	香川県
Nail Salon Feminine（ネイルサロンフェミニン）	香川県
スタジオMONA-JU/カジュアルスタジオhome	香川県
医療法人力アセス	香川県
株式会社ヴィエリス（脱毛サロンKIREIMO）	香川県
株式会社コーセー	香川県
有限会社花もり	香川県
株式会社Champ	大阪府
株式会社メディビューティー	東京都
株式会社エキップ	東京都
穴吹ビューティカレッジ トータルエステティック学科	
TBCグループ株式会社	香川県
株式会社不二ビューティ	東京都
穴吹ビューティカレッジ ブライダル学科（現穴吹ビューティカレッジ）	
株式会社アダストリア	香川県

就職先	所在地
BIJOUPIKOグループ	香川県
etowa WEDDING TOTAL SUPPORT（エトワ）	香川県
株式会社デコ	香川県
株式会社ベルモニー	香川県
株式会社アイアイスズHD	香川県
株式会社インターナカツ（JEANSFACTORY）	香川県
株式会社ウェブブレンディング	香川県
株式会社ケントハウス（スタジオ・ケント）	香川県
株式会社たかせんテレコム	香川県
株式会社ときわ	香川県
株式会社花嫁衣裳ことぶき マリアージュKOTOBUKI	香川県
株式会社桂	香川県
株式会社寿や 貸衣裳	香川県
株式会社クルーズ	香川県
有限会社末広衣装店ブライドル Costume 末広 星のチャペル	香川県
有限会社ウェディングボックス みつわ	香川県
株式会社インテ 森の邸宅 彩音	岡山県

穴吹工科カレッジ	
自動車整備学科	
エムラインオート株式会社	香川県
ネットヨタ香川株式会社	香川県
ネットヨタ高松株式会社	香川県
株式会社ビッグモーター	香川県
株式会社ヤマウチ	香川県
香川マツダ販売株式会社	香川県
香川日野自動車株式会社	香川県
日産プリンス香川販売株式会社	香川県
有限会社岩崎商事 PARTSLANDイワサキ	香川県
SGモータース株式会社	香川県
サカイ自動車販売株式会社	香川県
ヤマトオートワークス株式会社	香川県
株式会社ドリームホンダ（Honda Cars 観音寺 吉岡店）	香川県
香川いすゞ自動車株式会社	香川県
香川三菱自動車販売株式会社	香川県
株式会社みずしめモータース	岡山県
福山通運株式会社	広島県
いすゞ自動車中国四国株式会社	広島県
トヨタカラーラ南海株式会社	大阪府
大阪トヨタ自動車株式会社	大阪府
滋賀ホンダ販売株式会社	滋賀県
株式会社ネクステージ	愛知県
エフエルシー株式会社	愛知県
株式会社中田モータース	富山県
株式会社キノシタ	静岡県
有限会社中部自動車（ダイハツ岡谷）	長野県
株式会社カーライフ	熊本県

穴吹リハビリテーションカレッジ	
理学療法学科	
医療法人仁寿会 吉田病院	香川県
医療法人ブルスカイ 松井病院	香川県
医療法人社団新進会 おさか脳神経外科病院	香川県
医療法人社団谷本内科医院	香川県
医療法人圭良会 永生病院	香川県
医療法人力正会 小林整形外科医院	香川県
一般社団三豊・観音寺市医師会 三豊市立西香川病院	香川県
社会福祉法人すみれ福祉会	香川県
西高松グループ	香川県
医療法人社団愛有会 岩崎病院	香川県
医療法人社団西山脳神経外科病院	香川県
医療法人社団聖心会 阪本病院	香川県
医療法人社団永井整形外科医院	香川県
香川医療生活協同組合	香川県
財団法人三宅医学研究所 附属三宅リハビリテーション病院	香川県
有限会社インプロ	香川県
医療法人若草会 松村病院	徳島県
特別養護老人ホームふたばの森	愛媛県
医療法人社団栄宏会 土井病院	兵庫県

就職先	所在地
穴吹リハビリテーションカレッジ	
作業療法学科	
医療法人日昭会 岡病院	香川県
医療法人社団以和貴会 いわき病院	香川県
医療法人社団新進会 おさか脳神経外科病院	香川県
医療法人社団和風会 橋本病院	香川県
医療法人社団光風会 三光病院	香川県
医療法人社団彰志会 介護老人保健施設 ボタラの森	香川県
医療法人社団聖心会 阪本病院	香川県
一般社団三豊・観音寺市医師会 三豊市立西香川病院	香川県
株式会社シニアライフアシスト	香川県
株式会社創心會	香川県
財団法人三宅医学研究所 附属三宅リハビリテーション病院	香川県
社会医療法人財団大樹会 総合病院 回生病院	香川県
社会福祉法人サンシャイン会	香川県
社会福祉法人三野福祉社会	香川県
医療法人徳寿会 鴨島病院	徳島県
医療法人順風会 天山病院	愛媛県
医療法人仁友会 南松山病院	愛媛県
社会医療法人栄公会 佐野記念病院	大阪府
一般財団法人信貴山病院 ハートランドしぎさん	奈良県
医療法人社団健育会 ねりま健育会病院	東京都

穴吹パティシエ福祉カレッジ	
こども保育学科	
医療法人然 みのりクリニック	香川県
学校法人日吉学園 もみのき幼稚園	香川県
株式会社チャイルドケア二四（24）	香川県
株式会社ニチイ学館	香川県
高松市（臨時職員）	香川県
社会福祉法人ゆたか	香川県
社会福祉法人鶴足津福祉社会	香川県
社会福祉法人恵愛福祉事業団	香川県
社会福祉法人真理亜福祉社会	香川県
社会福祉法人聖愛財団 土庄保育園	香川県
社会福祉法人弘善会	香川県
幼保連携型認定こども園 和光こども園	香川県

穴吹パティシエ福祉カレッジ	
保育食育学科（現こども保育学科）	
愛染興業株式会社	香川県
学校法人古高松学園 つくし幼稚園	香川県
株式会社ニチイ学館	香川県
観音寺市職員	香川県
高松ライフシステム株式会社	香川県
高松市職員	香川県
坂出市職員	香川県
社会福祉法人守里会	香川県

穴吹パティシエ福祉カレッジ	
介護福祉学科	
医療法人社団健愛会 あぎやまクリニック	香川県
株式会社SUN	香川県
社会福祉法人楽笑福祉社会	香川県
社会福祉法人人恵愛福祉事業団	香川県
社会福祉法人香川県社会福祉事業団 香川県ふじみ園	香川県
社会福祉法人仁尾福祉社会	香川県
社会福祉法人正友会	香川県
社会福祉法人牧羊会	香川県
大川広域行政組合	香川県
有限会社介護支援サービスセンター 御徳	香川県
有限会社マエダメディカルコーポ	香川県
あなぶきメディカルケア株式会社	香川県
医療法人社団みどり会	香川県
株式会社あい介護サービス	香川県
株式会社ケア・ステーション	香川県
社会福祉法人光志福祉社会	香川県
社会福祉法人瑞祥会	香川県

就職先	所在地
穴吹パティシエ福祉カレッジ	
パティシエ・ベーカリー学科	
株式会社Air・cap MIXER MAN	香川県
株式会社マルシン	香川県
株式会社ルーヴ	香川県
乃が美	香川県
有限会社バイクショップゲルン	香川県
洋菓子の店 フランセ	香川県
株式会社パティシエ エス コヤマ	兵庫県
株式会社アクア・グリーン ホテルふたり木もれ陽	静岡県
フランス菓子16区	福岡県

穴吹動物看護カレッジ	
動物看護総合学科	
うらら動物病院	香川県
たま犬猫病院	香川県
株式会社リヤン 久保動物病院	香川県
株式会社七星食品	香川県
砂川犬と猫の病院	香川県
晴れたひ動物病院	香川県
有限会社四国動物医療センター	香川県
有限会社動物病院光昇堂	香川県
有限会社ペットサロン松山	愛媛県
清岡動物病院	高知県
こくたいちょう動物病院	岡山県
特定非営利活動法人ピースウィズ・ジャパン ピースワンコ・ジャパン	広島県
株式会社エルザクライス	兵庫県

穴吹動物看護カレッジ	
動物健康管理学科 ペット美容・グルーマー専攻	
うたづ動物病院	香川県
うらら動物病院	香川県
株式会社Plus生活 ばびぶべっと	香川県
株式会社アミーゴ	香川県
株式会社ケン&1	香川県
株式会社ひごペットフレンドリー	香川県
株式会社ミネルバ	香川県
有限会社Coo&RIKU	香川県
ロビンス動物病院	徳島県
トリミングサロンFREESTYLE	高知県
KERA vita	岡山県
ペットサロン poco a poco（ポコ ア ポコ）	岡山県
株式会社TDSP	兵庫県

穴吹動物看護カレッジ	
動物健康管理学科 しつけインストラクター専攻	
サカイ商事株式会社（ペットハウスブーキー）	香川県
株式会社ドッグアドベンチャー	香川県
有限会社和田電器商会 ドコモショップ宇和店	愛媛県
ふじさく動物病院	愛媛県

穴吹医療大学校	
看護学科	
高松市病院局 高松市立みんなの病院	香川県
国家公務員共済組合連合会 KKR高松病院	香川県
社会福祉法人かがわ総合リハビリテーション事業団	香川県
香川県済生会病院	香川県
さぬき市職員	香川県
香川県厚生農業協同組合連合会	香川県
香川県病院局	香川県
国立大学法人香川大学 香川大学医学部附属病院	香川県
独立行政法人労働者健康安全機構 香川労災病院	香川県
独立行政法人国立病院機構 高松医療センター	香川県
医療法人きたじま倚山会 きたじま岡病院	徳島県
徳島健康生活協同組合 徳島健生病院	徳島県
社会医療法人川島会 川島病院	徳島県
徳島県厚生農業協同組合連合会 吉野川医療センター	徳島県
岡山済生会総合病院	岡山県
高槻赤十字病院	大阪府
大阪府済生会泉尾病院	大阪府

就職先	所在地
社会医療法人高清会 高井病院	奈良県
社会医療法人白鳳会 鷲見病院	岐阜県
医療法人宏和会 あさい病院	愛知県
医療法人社団葵会 AOI国際病院	神奈川県
IMSグループ 医療法人社団明芳会 新戸塚病院	神奈川県
済生会横浜市南部病院	神奈川県
社会医療法人社団三思会 東名厚木病院	神奈川県
医療法人社団松和会 池上総合病院	東京都
国家公務員共済組合 三宿病院	東京都
東京都済生会中央病院	東京都
ちゅうざん病院	静岡県
沖縄県病院事業局（沖縄県立病院）	沖縄県
医療法人野毛会 もとぶ野毛病院	沖縄県
医療法人友愛会 豊見城中央病院	沖縄県
公益社団法人北部地区医師会 北部地区医師会病院	沖縄県
社会医療法人敬愛会 中頭病院	沖縄県
社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	沖縄県
特定医療法人沖縄徳洲会 南部徳洲会病院	沖縄県

穴吹医療大学校	
歯科衛生学科	
いろのみ歯科	香川県
にこにこ歯科	香川県
にしくぼ歯科医院	香川県
ひらの歯科	香川県
まんのう町国民健康保険造田歯科診療所	香川県
むね歯科クリニック	香川県
医療法人歯ッピー ごうだおとなこども歯科	香川県
医療法人昭和会 川上矯正歯科医院	香川県
医療法人社団しん治歯科医院	香川県
医療法人社団タカシ歯科クリニック	香川県
医療法人社団ゆづか こうざと矯正歯科クリニック	香川県
医療法人社団丸亀町ハビット歯科クリニック	香川県
医療法人社団宿南歯科医院	香川県
医療法人社団さくら健美会 さくら歯科医院	香川県
医療法人優心会 大塚歯科医院	香川県
高松駅前アルファ歯科クリニック	香川県
三豊総合病院企業団	香川県
大石歯科クリニック	香川県
浪越歯科医院	香川県
すまいる総合歯科クリニック	愛媛県
福田歯科クリニック	京都府

穴吹医療大学校	
医療事務・ドクター秘書学科	
医療法人みどりの歯科医院	香川県
医療法人明世社 白井病院	香川県
医療法人ブルーム みねやまクリニック	香川県
医療法人財団博仁会 キナシ大林病院	香川県
医療法人社団うえだ眼科	香川県
医療法人社団ゆづか こうざと矯正歯科クリニック	香川県
医療法人社団横田外科医院	香川県
医療法人社団百石病院	香川県
医療法人社団葆光会 広瀬整形外科医院	香川県
医療法人団社団永井整形外科医院	香川県
永井循環器内科医院	香川県
株式会社アイ・エム・シー	香川県
株式会社トーカイ	香川県
株式会社ニチイ学館	香川県
株式会社ファーマシー	香川県
株式会社西日本ファーマシー	香川県
社会福祉法人明和会 特別養護老人ホームあづき	香川県
有限会社久間薬局	香川県